



Dai MIKURUBE:

Mar 21 ▼

Hack For Japan (hack4jp) 2日目 (20日) "Ideathon" Wave

3日目Hackathon用の新しいWaveを用意しました。2日目のまとめもあります。

2日目 Ideathon 用に、新しい Wave を用意しました。昨日の Wave がかなり重くなったようですので。

まずはこの真下の箱に 3/19 のまとめを用意してあります。



Hayato Ito: まだ、アイデアソンの途中ですが、明日のハッカソンに向けて、プロジェクトを開始した Mar 20 ▼
い・もしくは既に開始しているという方が見られますので、進行中・または明日開始予定のプロジェクトの一覧・スプレッドシートを作成しました。ぜひ登録お願いいたします。

<http://goo.gl/BH4BK>

似たようなプロジェクトがあるかどうかのチェック・協力できることがないかどうか・どこに参加したらよいかの判断にお使いいただければと思います。

プロジェクトが、Google ModeratorのアイデアあるいはWaveでの議論に基づいているなら、Google ModeratorあるいはWaveの議論に軽く既にプロジェクト登録済みです。とコメントいただけると幸いです。

もちろん、似ているプロジェクトが既にあるからといって、新たなプロジェクトをはじめることを躊躇する必要はないかと思いますが、協力できることがあればぜひ協力をお願いできたらと思います。



Catfood mami: 聴覚障害を持っている私達からのお願い。聴覚障害を持っている Mar 20 ▼
報格差により、正しい情報を受け取れなくなることが考えられます。でもTwitterでは様々な情報がRTされるので、これを利用して、まず信用できるアカウントを登録し
報、地域での炊き出しの情報、スーパー、ガソリン、などの情報を自動収集し
はろう者がいる家庭に自動でFAXするプログラムがあればと思っています。いかがでしょうか？



萩原崇之: Twitterによる、公式な公式アカウントのリストがあります。公的な情報の結構な部 Mar 20 ▼
分がこれでとれて、メンテナンスはTwitterがやってくれて保証までつけてくれるのでとてもお勧めです

<https://twitter.com/#!/twj/earthquake>



Catfood mami: あ、それはいいですね！良い情報をありがとうございます。 Mar 20 ▼



Rkyaizu@googlewave.com: とても良いと思います。Twitterを重視した新しい形のNPO・ボランティ Mar 20 ▼
アと連携して、その団体が信用できるものとしたものをFAXするという流れではいかがでしょうか。完全自動では信頼できる情報確保にまだステップが必要かもしれません（ここにいる皆さんが自動でできる！というのであればそれにこしたことはありません）し、団体と連携した方が確実プラス安否情報などと一緒にいけるかもしれません。

また視覚障がい者へのものを同時に考えたのですが、各障がい者の方々の自動音声読み上げシステム（これは既存のものです）の方に、上記団体が信頼できる情報を発信し、それを読み上げてもらう、というものはいかがでしょうか。ご検討ください。



Catfood mami: そうですね、こちらでは、例えばNHKや自治体のアカウントのみをプログラムに登録 Mar 20 ▼
させて、そのプログラムに必要な単語を拾わせ、それを自動で被災地や聞こえない方がいる家庭に自動でFAX送

信するプログラムを考えていました。**NPO**や自治体にお願いしても良いのですが、**24時間**へばりついてもらうのも限界があるかなと思って。それで、プログラムで一度にできればと。もちろん、**Twitter**のツイートから単語を拾う精度も高めることが必要ですが。

 **Rkyaizu@googlewave.com:** あ、そのプログラムに登録するのが自治体・NPO・ボランティアという Mar 20 ▼
のもいいかもしれないですね。それこそ見知らぬ第三者任せですと信頼性を欠くでしょうし、今回の**Twitter**の流れを見ても、次々と有力アカウントが新たに登場しましたから。

 **Catfood mami:** そうですね。そのアカウントはこちらでプログラムに登録しないといけないと思いま Mar 20 ▼
す。その後に、例えば炊き出しの情報なら、炊き出しに関するツイートだけをプログラムが取得して、画面に出す。それを私が見て、必要なツイートを選択し、そのツイートを自動で一括で被災地や各家庭に**FAX**送信する、のであれば、いけそうですね。そういうプログラムを考え出すことはできませんか？

 **Rkyaizu@googlewave.com:** 技術的なご返答（プログラマの知人から）です。 Mar 20 ▼
TwitterのTLからアカウント、キーワードでフィルタした情報だけ抽出、は可能で、それをメール及び**FAX**するのも可能だそうです。（当然**FAX**は回線が必要ですが。）

ただし一斉送信は**FAX**だと難しいので、大変回線を圧迫し時間もコストもかかってしまいます。
もし**mami**さんの顔が浮かぶ対象の方々がメールでの対応が可能であれば、そちらの方がハードルが低いですし大変オススメです。

 **Catfood mami:** なるほどです！ふと思ったのですが、ネット**FAX**を使っても一斉送信は難しいのでは Mar 20 ▼
しょうか？

 **Rkyaizu@googlewave.com:** 可能は可能です。 Mar 20 ▼
ただ自分の知る限りだとネット**FAX**は自分にしろ代行にしろ最終的に**FAX**機が送受信を行うはずなので、件数と時間が増えると考えられると思います。もしより詳しい&有効的な使い方を知る方がいれば教えていただきたいところです。

 **Catfood mami:** なるほど、それもそうですね。ではそれをこちらでも話し合ってみますので、 Mar 20 ▼
もしよろしければこちらのメールアドレスを渡しても良いでしょうか？

 **Rkyaizu@googlewave.com:** 今後の相談や交流ということであればぜひ。今すぐの開発であれば、よ Mar 20 ▼
り協力が必要になります。
こちらの、メール以外のリアルタイムの連絡先はこちらに記してあります。 [Hack For Japan \(hack4jp\) 2日目 Wave](#)

 **Catfood mami:** ありがとうございます。こちらは、**skypeID**は、**catfood_mami**です。**Twitter**も同じく Mar 20 ▼
です。あとで友人と話し合ったのちまた連絡させていただきます。

 **Rkyaizu@googlewave.com:** 【報告】 Mar 21 ▼
登録アカウントからの特定キーワードTLを自動メール送信→PC及び携帯でのメール受信（今回は設定時間内のTLとしてまとめ、数件分のTLが一通にまとまって入りました）、成功しました！まずメールに関しては、提案者の**mami**さんやお知り合いの方々と詰めれば実装できそうです。
FAX等との連携や、メールが見れない方向けのサービス、キャリアのPCからのメール拒否の限定解除などの発展につきましては、ぜひ明日の**hackson**や今日の参加者の方々からのアイディアに期待したいです。

僕の方はこんな感じでできるところから実現していきたいので、一緒にやってみたい方はスプレッドシートの連絡先からぜひ交流していきましょう。
宜しくお願いします。

  **Dai MIKURUBE, 弘智 松浦 o3_ and 3 others:** 3/19 時点のまとめ Mar 20 ▼

ちなみにこのまとめに、情報が足りないと思ったらぜひ追記してください。あとで見やすくするために編集はかけるかもしれません。

[アイディア] 技術に詳しくない人(例えばお年寄り)でも、Webの必要な情報に簡単にアクセスする手段を

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+1XFBzIzIG>

電話番号プッシュで特定のページに繋がる。ボタン一つでSOS。Twitterの登録をもっと簡単に。実用的な公的メーリングリスト。そのMLはどこで持つ、何で管理する? 動画配信。情報の整理、モデレーション。

<http://jishin-omimai-2011.atwiki.jp/> <http://jishin-shien-2011.atwiki.jp/> <http://jishin-gien-2011.atwiki.jp/>

[アイディア] ガラケーからIへ動画配信

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+1XFBzIzIT>

自治体が緊急時に使えるワンセグ放送装置。Ustreamとの連携。Ustream→ワンセグへの変換。

[アイディア] 救援物資の必要量などを Google Maps などの地図上で一元管理。

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+70Ed-oxRH>

現時点での実態把握が課題。読むのは全員が読めるとして誰が情報を書き込む? 情報の混乱。通信キャリアからのリアルタイム情報。アマチュア無線の効果は? 被災地からのみしか書けなくすれば絞れるかも。

[アイディア] PDFで公開される自治体情報などをガラケーで見えるには

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+70Ed-oxRN>

情報を表形式で自治体などが入力できるシステムがあれば後は見せる側が工夫できる。単純なWebフォーム。

[アイディア] ガラケーによるネットラジオ

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+70Ed-oxRP>

電力の問題? 受信する側は普通のラジオとして受信するほうが電力消費が抑えられる。配信する側はガラケーから可能か。緊急時ラジオ局でネット配信とラジオ受信の両立。

[アイディア] 各携帯キャリアが個別に持っている被災者情報を統合

https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+JSRisv_hC

Person Finder との連携はある。APIで実装を! 似たような情報を持つサービス同士の情報交換・体系化。開発者とサービスプロバイダの連携。コミュニティ。市場の競合関係は考えない :) 「公的」への働きかけ。

[作ってる] スマイルホープ: ニュースなどが暗い中で被災者の方たちが笑顔を取り戻すためのアプリやサービス - 日本Androidの会関西支部より

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+G3UZ3OxAC>

笑顔対決。赤ちゃん泣き止ませ。ヨガ解説。育成ゲーム。精神診断。カヤックの笑い袋。

[他での議論] 日本Androidの会・東北&関西支部のチャリティーアイデアソンまとめ

<http://togetter.com/li/113093>

[作ってる] 「デマだったー」アプリ。デマTweetをランキング投稿。「このTweetは245人の人がデマだと言っています。」 - 日本Androidの会 チームこれから

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+rsaAWpb5B>

デマTweetを登録、検索できるサーバ。APIを用意。クライアントにボタンを実装。

[アイディア] テレビでは不安な情報ばかり流れるので、テレビ以外の、テレビ以外の「付けっぱなし&リアンツを

https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+_ahiESBfJ

子供はきつい。情報の一覧化。ITリテラシの低い人との共有。被災地に必要な情報をテレビで。テレビで上手に情報を見られるインターフェース。緊急時の情報の分類整理。操作性。全チャンネルを一度に。デマの扱い。

[アイディア] 安全地帯にいる人が「支援できること」と、被災地にいる人が「支援してほしいこと」の、マッチングができるシステム

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+1nT69ziYB>

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+ixknnsUYC>

支援表明企業も多数。支援の重複は避けたい。リアルタイムに情報共有。一部地域に支援が集中、逆に一部地域には一週間何も届かなかった。どう効率的に人とお金を配分するか。

[アイディア] 被災地の避難所一覧と、必要な物資、補給の為にロジスティック等を支援

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+Zp-cUBJkA>

<https://sites.google.com/site/japancoop/hisai-chi-betsu-hinan-sho-joutai-risu-to/fukushima-ken>

必要な物資のリアルタイム収集。それに対する寄付の支援。

[作った] 東日本大震災用ツイートテキストジェネレーター **Android** アプリ。少ない入力で震災に関わる**140**文字以内の文章を作成。

https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+_OisqLJMA

http://androapp.jp/lib/soft/detail.php?soft_id=1898

[作った] 避難所の状態を把握して、情報を皆で共有し、支援の進捗に応じて、携帯やiPhoneなどから情報が更新。皆で使える避難所共有リスト

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+yUfKruoGA>

<https://sites.google.com/site/japancoop/hisai-chi-betsu-hinan-sho-joutai-risu-to/fukushima-ken-1>

避難所の状態を把握。携帯から更新。(03.20.15:38更新)

[作った] **Twitter**のタイムラインをリアルタイムに解析し、地震関連の注目されているURLを抽出するサイト **QuakeMeme**

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+ttBeTDAOA>

<http://quakememe.jp/>

[アイディア] 買い占め防止アプリ - 家にあるモノを把握してつい買い過ぎるのを防止 ~ 広い範囲でどの街にどれだけモノがあるかを可視化、罪悪感を持ってもらう

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+f2ROyGw9A>

図書館などでやっている「在庫」の共有が参考に? 可視化で逆効果になることもある。トラックの流れを可視化して安心を。買う人は少ないのを見て思わず買ってしまう。スーパーに物資窓口を設置。

[アイディア] 被災地域外の人に継続的に支援に興味を持ってもらい続けるための情報提供

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+wtzofzwPA>

中長期的な関心が必要。TVのDASH村のような感じで各所の復興情報を流す。チャリティイベントマップとかカレンダーとか。Latitudeでチェックイン。

[アイディア] 被災地の人に、瓦礫の山の写真や、避難所の写真とか、動画を携帯のメール添付で送信してもらい、**Twitter**などで配信。被災者自身による情報発信を

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+zMI9z0EVA>

復興していく様子を記録し続けて数年後に見る。**Maps**に投稿して時系列に閲覧。衛星写真。おそらくガラケーがメイン。位置情報などは取れるか。写真をとればGPS情報が入る。<http://blog.goo.ne.jp/311goo>

[アイディア] 被災地に多いお年寄りの方向けの、確かめやすい表示の仕方や、音声の伝え方。きっと老眼鏡とか補聴器とかがないのでは

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+AjBORRc7A>

被災地にはお年寄りが多い。

[アイディア] お年寄りの方に、若いころの昔の曲が聴けるサイト。若いころの曲を聴いて気分を明るくしたり、元気を取り戻したりできるのでは

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+AjBORRc7B>

[アイディア] スマートホンで常時**Twitter**を更新するよりも電力消費の少ない方法。地震直後はバッテリーの温存と情報の収集のバランスが難しい

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+zo8QNYTeD>

必要な情報を取得するためのキーワード。プッシュでスマートフォンに配信。利用シーンがわかるといい。Googleアラートをもっと汎用的に。筑波から京都への帰還経験。

[アイディア] 被災地から親戚・友人へ向けてのビデオメッセージ。TVでやっているが、見逃しそう。ビデオメッセージのまとめサービスを。

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+AM80T7k-I>

<http://www.youtube.com/shousoku> TBSから提供。テレ朝、日テレも。 <http://bit.ly/fyWsti>

[質問] 被災地におけるネットワークや電源の状況、携帯端末の普及や使える人はどのくらいいるのか。状況は？

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+DmL7LgnPA>

情報端末の数。電源。回線、共有。端末を扱える人。モデム、無線ルータ、Android端末、電源タップなどをセットで送る。復旧段階によって決まりそう。WDSで繋がるエリアが広がれば。

[情報提供] I Am Alive (IAA) Alliance が過去に解散。ここから学べることがあるかも

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+zo8QNYTeE>

<http://www.iaa-alliance.net/>

[アイディア] 震災におけるこころのケア。スクリーニングツール (チェックシート) の提供や、東京都福祉局の資料などを携帯端末でも見やすく

https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+8D_cTQbcA

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/chusou/video/leaf/files/saigai.pdf>

Google スプレッドシートで可能? Visualization API? Sites? 経過観察や治療に必要な機能は?

[アイディア] 家庭で余っている古い携帯のバッテリーを、充電して被災地に送れないか。電源の不足は深刻

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+Wlqd224WA>

余った携帯バッテリーを必要な人にマッチング。au ポータブルバッテリーチャージャー。ZAGG sparq 2.0。フレッツが停止。イー・モバイルやWiMaxが役に立った。バスパワーで接続。

[アイディア] ガラケー向けの最適化が必要? 被災地の人がスマートフォンを持っている可能性は低い

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+Wlqd224WB>

ガラケーで <http://sinsai.info/> → <http://ushahidi-m.appspot.com/>

[アイディア] 安否確認の仕組みに第三者的、ソーシャルな方法を - 名前だけでなく顔写真などによるマッチング、髪型などの特徴による検索

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+a25KfK7eA>

"近所で見た", "よく見るパン屋の店員" などは覚えている。非言語情報、文字以外の情報の提供・検索。パツと見の記憶からメタデータを集める。はじめにポストされた情報をソーシャルで詳細化。第三者による提供。

[作った] 既に開発済みのサイト、アプリ一覧

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+Q95ymYodA>

↓にコピーしてもらいました。

[アイディア] 原発関連の話が一人歩きしている。実際の放射線量や、その危険値をGoogleMap 描画ライブラリなどで直感的に可視化できないか

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+INBk7UkzA>

物流が来ず孤立。風評被害を無くしたい。Google Data APIは。花粉。WebGLは。専門家のアドバイスなしでこの手の情報を出すことには考慮が必要。誤差をシビアに考慮する必要。

可視化の例 <http://kuippa.sakura.ne.jp/nuk.html> <http://atmc.jp/> <http://erd-radmon.appspot.com/> <http://ganbare-tepcو.appspot.com/fukushima1>

<http://oku.edu.mie-u.ac.jp/~okumura/stat/data/> ... (ほかたくさん)

[アイディア] 被災地の各病院の、どういう薬品が足りない、どういう問題がある、どういう機材が使える、どういう診療はできる、を共有検索。被災地以外への搬送にも有効。

https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+8D_cTQbcB

医療従事者向けのサイトで動き始めているところがある。

[アイディア] Person FinderにPicasaから入力するのを支援するブラウザ拡張

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+9auzh4AGA>

[アイディア] CSV ファイル, xlsファイル, pdfをアップロードすれば、自動的にPerson Finderに登録する Web アプリ

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+Xq-xHNwuA>

Person Finder APIを。前日以前のデータとの差分入力。同一人物判定。

まとめ [Hack For Japan \(hack4jp\)](#) PersonFinder登録アプリ プレーンストーミング

[アイディア] 電車の混雑具合をリアルタイムに地図にプロット。車両の走行位置と込み具合をリアルタイム計測。今きた電車は激込みだけど次の電車はガラガラとか...

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+9auzh4AGC>

駅探APIが使えるかも。Twitterから拾える? ハッシュタグ。

[作った] 人手による翻訳 - メールで翻訳ボランティアに翻訳依頼し、メールで結果が帰ってくる仕組みを作った。人手翻訳を組み合わせると良いものがあるだろうか?

https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+XdHqAi_JA

<http://www.finite-field.com/isometry-2-0-ja/volunteer>

Google Talkなどとも連携。Skypeが役に立った。Skype<->Google Talkがあると便利。避難所にいる人同士の会話や連絡に翻訳が要ることが。

[アイディア] もう使わないiPadとかを優先的に避難所に送って使ってもらう

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+9auzh4AGF>

[アイディア] 電池の売ってる場所や電源がある場所ががわかるMapsサービス

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+4q7qGxWqL>

買い占め発生のリスク。

[アイディア] 震災時によく使う単語の外国語翻訳リスト。逆の立場なら、表現したいが言えないってことが多々あるだろうと思う

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+FTsTipAzE>

まとめPDFやHTMLがあればとても便利。リストを上げてくださっています。英語-ローマ字 <http://mohawk.sakura.ne.jp/english-romaji> タガロク(フィリピン)語 リンク多数

<https://spreadsheets.google.com/ccc?key=0AtK5QLiYWYUIdHo0ekptbE42Vmo3NVI0REVVcmxnUUE&hl=en>

[アイディア] 今回のHack For Japanの試みの英語版を。海外からもアイディア・開発者募集。その前に、日本の現状を知ってもらう英語サイトを。

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+pFxbvC79A>

海外で使われて日本で使えそうなサービス。放射能に関する日本への風評被害。正確なデータを英語で提供。

[アイディア] 震災前の建物の位置や形状をGoogle Earthなど3Dモデルを使ってARで携帯電話から見れるように

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+9auzh4AGH>

[アイディア] Twitterの情報発信元を追跡できるサービス。特に非公式RTが追いかけられるような

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+KgvRMmsnF>

リアルタイム検索。オリジナルの発言者自体の信用?

[アイディア] 現地のリクエストをシンプルに収集してざっくり分類して検索可能に表示するサービス。被災地のニーズを明らかに

https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+3sPO_-xjD

ボランティアさんに聞くとわかるかも。ガラケーの勝手サイト。

[アイディア] 被災地域への「営業店止め」の宅配便配送が再開されつつある。誰／どこに荷物が届けられたか／られなかったかを溜めておけば、被災情報のアンテナにもなるのでは

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+lJF-4qcwA>

[アイディア] 郵便局と連携の可能性は？ クロネコヤマトさんとか、佐川急便さんとか、地元の人とつながりのあるところとの情報連携を

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+KJBu4UMTB>

ドライバーさんにスマホをもってもらう。配達可否確認、安否確認。

[アイディア] 自分の周囲一定以内の半径で地震があると、登録した人のメールアドレスに、SMSやメールでアラートが行くサービス

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+4q7qGxWqW>

[アイディア] 避難場所の方向を矢印でARで表示。土地に不慣れな海外の人には有用。Google Mapsのナビゲーションで可能かも

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+4q7qGxWqW>

[アイディア] 長期間に渡るボランティア活動に向けて、ATNDなどのイベント参加登録サイトで参加者一覧を作れば、現場での混乱を防げるのでは。ATNDをベースに何か考える

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+mPR85tEnA>

準備不足のボランティアが現地入りするのは避けたい。食事や寝る場所の確保。現地の人と必要そうな装備、日程などの詰め。

[アイディア]

- 1) 今あるWebサービス、Web情報の補完サービス
- 2) 今あるサービスの携帯電話対応（含ガラケー/Android/iPhone）
- 3) ボランティアのマッチング / 支援物資のマッチング
- 4) Google AdSense/AdWords のような募金プラットフォーム
- 5) 被災者向けに必要なサービス／被災地外の人向けのサービス
- 6) 複数に拡散している似たようなサービス／データを統合する仕組み
- 7) 今ある有益なサービスの多言語対応

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+B4qgZPSLA>

翻訳支援ツール。 <https://chrome.google.com/webstore/detail/ofpplbngolaannppkgaojbegonjhead>

ボランティアマッチング <http://d.hatena.ne.jp/gatonews/> 東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）「災害ボランティア情報」まとめサイト

<http://www45.atwiki.jp/volunteermatome/pages/45.html> @volunteermatome ボランティアの募集

[アイディア] 災害時サービスでUser Interface (UI) + User Experience (UX) デザイナーができること

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+B4qgZPSLB>

<http://www.slideshare.net/yukio.andoh/crisis-response-ui-20110318-7301165>

[注意喚起] デジタルなサービスに頼りすぎて、誰かがケガしたり、混乱を招いたりしないよう、深く考える必要がある。サービスの押し付けではなく

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+B4qgZPSLC>

[アイディア] よくRTされるつぶやきをTracみたいに管理。Tweetの流れ、関連ツイート、タグづけ、Good/Bad投票...など。Twitterでの、情報の真偽、解決・未解決、情報の古さなどによる不正確さに対処

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+HTLgBV6LA>

つぶやきにTrac的なもののURLを付けてRTされたあとも現状を一元管理。解決された情報が流れ続けることもない。近いTweetをまとめる。どう対象Tweetを選定するか。解決の判定は。Tweetやプロフィールの位置情報をデマ判断のヒントに。

[アイディア] 多くの学生さんたちに思い出となるような卒業式、入学式をネット上で支援

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+c7ZOcxqA>

[アイディア] 被災地での犯罪を抑制するようなもの

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+IAQ7MgWoB>

[作った] iPhone用 地震対策音声読み上げ

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+uEN42ug2A>

<http://goo.gl/rG5rH>

避難時に文字を読む手間がないので有用。音声なら周囲の人に情報を伝えやすい。アイディア募集。

[紹介] PinQA: 位置情報ベースのQ & Aサービス、日本語／英語対応、ガラケー対応

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+LJxcPoqNA>

<http://pinqa.com/>

[作った] 公的な情報をまとめるページ

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+qIJEGo2GD>

<http://om-logs.appspot.com/>

[アイディア] 登録した人を一定時間GPSで追えるアプリケーション。方向や移動の動向を追いかけて合えば避難所での心細さが解消。落ち合うのにも

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+sxdnjmGsQ>

Latitude で共有。災害現場でどうだったか聞いてみたい。Androidは野良アプリが作れる。

[アイディア] OLPCのように大企業が小中学生にノートPCを配布する動きは？ 阪神大震災で授業の再開が遅れ。教科書、教材もなくなってしまった。オンラインでの授業へ

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+sxdnjmGsV>

[アイディア] 避難所ごとに公式のTwitterアカウントを作成し情報発信・共有を。役場の人・避難所のリーダー・ボランティア (可能であれば被災者) 間の情報共有に有用

https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+5_wCENovB

外部の人にも避難所の現状が伝えられる。避難所情報をまとめるサービスにも。

[アイディア] 避難所にWebカメラ。避難所から情報を発信できないから、というのが多くの問題の原因。1分くらいの動画を避難所から発信出来てタグ分けできれば

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+tQmeI8fbD>

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+wcHRKzXCD>

テレビ局はプライバシーを懸念。通信回線の圧迫が怖い。カメラつけっぱなしで敷居を低く発信。ビデオレター用PC。細かい動画をサーバに貯めるようにすれば圧迫も少ない？ 一般回線は全滅？ イリジウム衛星電話。「きずな」

[アイディア] 被災地の方が電話で【〇〇が困ってます】と録音。それを延々と流すラジオのようなこと

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+j2jLiYsmC>

[アイディア] 災害時の支援もちろん大切だが、復興時の支援も。被災地の方が自立した生活ができるようになるためにできる、通常の経済活動は？ 東北の野菜を食べるだけでも支援に

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+WIMTHORSA>

義援金のつぎのステップ。現地の自立へ。「〇〇店営業再開しました!」マップ。メッセージをまとめて。**Web**通販。営業再開は地元の人の役にも。福島の状況次第? 風評被害をどう避けるか、改善するか。

[アイディア] 仮設トイレ情報などをツイッターレベルで情報収集できるようなシステム。水とトイレがすごく困ったと聞いた。短期的に非常に助かるのでは

https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+bNkRmy_IA

<http://news.nicovideo.jp/watch/nw42357>

[アイディア] 農家の方が直販でものを売りやすいように、ショッピングサイトを手軽に構築。またはフラッシュマーケティング的なサイトの方が賞味期限的にいい? 対風評被害へ

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+KBUKbDGsB>

グリーポ的なサービスがマッチ? 先払いですぐに収入にも繋がられそう。いいことだからプッシュしやすい。中の人にどう伝えよう? →

Twitterでmentionしました。農協で対応?

[アイディア] まずは、通信インフラと端末の整備を。腕時計用の電池で稼動するWi-Fiのアンテナなど。スマートフォン端末を一定数配布。サーバーへ直通するアプリ内蔵で、被災者情報DBへ

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+6Riw30ucD>

スマートフォンを使い慣れない人のために、タブレット型PCくらいの大きさで、手書き認識。欲しいもののリストなど → 紙媒体とネットを繋げて情報共有、提供

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+6Riw30ucE>

被災地電波状況確認のための位置登録実績MAP | 株式会社コロプラ <http://pl.colopl.jp/c/c/map/>

ネットが繋がっている家族->避難所にいる家族宛のメール->手紙サービス。配達が大変。郵便局に協力を依頼? 電報API。OCR。

[作った] 給水所マップと、そのアンドロイドアプリ

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+0irUalmsA>

<http://kyusuisho.appspot.com/>

<http://ow.ly/4hlw5>

[アイディア] 支援物資の避難所までの経路を中継地点ごとにビジュアルで表示し、支援物資の需要と供給を一元管理できるような仕組み

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+90fqbi4TA>

物資を送りたい人、配送する人に現在の流れを可視化して支援。

[アイディア] ラジオやテレビと、インターネットの間で情報をスムーズに循環させる仕組みを。本当に困っているお年寄りなどはラジオ・テレビを通じてしか情報のやりとりが難しい

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+GFI6fQnWA>

被災者の方が求めている情報。安否情報。この辺りを繋げたい。RFIDつきの名札やペンダントを配ってゲートを設置。

[アイディア] オレオレサービスのポータルサイト。いろいろな人が実装していて重複が多そう。一呼吸を置いてタグを組む時期?

https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+_jm-yk-rA

例: 発言者の方が作ったサービス: <http://kuippa.sakura.ne.jp/>

[アイディア] ガソリンスタンドの整理券発行サービス。各地で給油を求める列が渋滞を引き起こして、間接的に被災地への支援の妨げになっているのでは

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+FX8ZoqW2A>

ユーザーはナンバーと連絡先を登録。ガソリンスタンドは給油可能な量と対象台数を登録。メールで整理券発行。ガソリン以外でも適用可能。

[アイディア] Google Maps上に自分の位置とメッセージを貼付けるサービスとか。Twitter, Facebook, Mixiのソーシャルグラフで繋がってる人だけを表示すると安否確認に

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+OdSkpgsdA>

[アイディア] 仮設住宅.com とか、統一したサイトを

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+JPWMLVrmA>

[アイディア] 避難による一時的な雇用の需給の増減を吸収できるようなマッチングシステムってできないでしょうか？例えば東北地方で家を失った方が1年関西に住むとして、その一年だけ雇用契約を結んで、一年後に東北にある、競合しない同業他社（飲食など）に移行できるように3者（避難者・避難先・避難元）間での合意がとれるように。必要以上に避難先の雇用情勢を圧迫せず、避難元の復興もスムーズにできるようにしたいです。

1. 電力の回復地域が判るGoogle Map (携帯から読めれば better)

2. 同様に水道の回復マップ

3. 救援物資にきつとデコボコがある。どの拠点には何が多少あまっているのか、何が足りないのかが判る避難所ごとのリスト。Google Maps のプレイスページの様なイメージ

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+aqlcmR3RB>

[アイディア] 利用者のリテラシをもっと高めるような活動も？ テレビのように受動的に情報を受け取るのに慣れている方々に、少しずつ能動的な情報取得を。

https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+OhN_QAgzA

とりあえず現在の現地ではもっと身近な情報。ネットの情報を紙に落とすなど。

[アイディア] 生活物資のネットショッピング。寄付・支援のための生活物資購入を。モノごとに目標数などを決めて、各ユーザがそのうちいくつかを「購入」→まとめて被災地へ配送

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+GiQYGGXcB>

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+i5sqFqoZD>

情報共有。避難所にネットに繋がるパソコンを配布。必要物資の確実な把握。

[アイディア] 避難による一時的な雇用の需給の増減を、吸収できるようなマッチングシステム。例えば東北地方で家を失った方が1年関西に住むとして、その1年だけの雇用契約を

https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+_hZuaSCUB

1年後には東北に戻って競合しない同業他社に移行するよう合意が取れる。

[作った] パーソンファインダーで名前を検索して、最後の場所が登録されていたらプロットする地図

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+rBWh0qbXB>

<http://goo.gl/5TzyN>

救助要請ハッシュタグ (#j_j_helpme) を含むツイートをプロットする地図

<http://goo.gl/dAJap>

[他での議論] 避難者リスト画像からパーソンファインダーへの登録支援ツールについて議論

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+rBWh0qbXD>

[注意喚起] 実装の際は、ぜひ同じようなサービスが無いかわけて、いっただけ連絡して協力体制を。一番最初にアイデアを実現した人が取り残されると、とても悲しい気持ちになるかもしれない。

これは決して「もうすでに同じようなサービスがあるから、本プロジェクトで作る意味が無い」ということを言っているのではありません。

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+FYme7uXyA>

[アイディア] Smiley Street View - 被災地のStreetViewを、道路事情が安定したらアップデート。ソーシャルな更新の仕組みも入れて、復興の折々に記念の写真なども入れられるように。

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+lehJjRC9A>

iPadなどで近所の様子を。お年寄りにも使えるかも。震災前のストリートビューをとっておいてほしい!

[アイディア] メールをインターフェイスにして何か情報を得るいい方法は? メールだけは使える方向け。電池の持ちにも貢献できるかも。メールでのリクエストに対する返信として、情報の提供を

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+LIYnKNS0B>

Yahoo! JAPAN のキーワード抽出APIは形態素解析して重要語を返してくれる。メール本文に名前を入れて送るとPerson Finderの結果を。インドネシアでFacebookが流行るのはSMSで安価に使えるから?

[アイディア] できる限り多くの人簡単に使える、複数人で情報共有できる、普段から使えるもサービス。平常時からメールのように使っていて、災害時でも繋がり易いもの。

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+VAwiJsZMA>

参考: <http://htn.to/UaGTXo> 先日ExciteNewsに出ていた記事: 「インターネットをよく理解していない家族と、Twitterで連絡を取る方法」



OYAJ I: 初めまして。ご紹介いただいた

Mar 20 ▼

Person Finderテキスト化&登録まとめWiki

の代行編集などをさせて戴いている者です。

昨日のwaveでしたか、年配者へ対しての取り組みに関してのお話が
あったかと思いますが、現在、仙台在住の方が

<http://lib.baidu.jp/view/d5d27075a417866fb84a8efa.html>

こういった紙ベースで「被災地の方に配っておける」

パーソンファインダー依頼用紙というものを作成しております。

ボランティア様がこういうツールを自由に利用していただいて

高齢者の方にも役立ててもらいたいと考えております。

また、その際に、携帯が扱える方にも便利のように

<http://lib.baidu.jp/view/048aa717866fb84ae45c8dfa.html>

こちらは↑叩き台です。こちらを作成中で

<http://jbbs.livedoor.jp/bbs/read.cgi/internet/11875/1300581283/>

こちらの掲示板にて意見交換・アドバイス受付をしております。

また、個人的には Facebook 上にて

「災害用伝言板情報（携帯地震情報）」 <http://www.facebook.com/311dengon>

というFacebookアプリを作成し震災関連情報を表示出来るアプリを共有して戴きながら

(携帯でもウォールは閲覧可能ですので) ウォール上では携帯で見られる

災害情報サイトをご紹介させていただいております。

よろしくお願い致します。



Rkyaisu@googlewave.com: Dropboxとかのクラウドで、こういうの各ボランティアと自治体と連

Mar 20 ▼

携できませんかね。

下でもこの案書いてます。ご参考にどうぞ。

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+ilM6EJJC/~conv+root/b+nHF3EWFBJ>

[作った] ホープ茨城ではドメインをとって地元のNPOセンターと連携し茨城と周辺情報をまとめる予定でいます

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+hAgznmeUA>

<http://hope-ibaraki.org>

[アイデア]避難所への手紙サービス

0) twitterで各避難所宛のメッセージを集める

1) 100メッセージ集まったら PDFになる

2) netprintに投稿->IDが発行される

3) 避難所の最寄りの7-elevenでメッセージを印刷(ボランティア)

4) 配達(ボランティア)

5) 配達人が1)のサービスに返信メッセージを投稿->そのメッセージがtwitter全員に返信される



OYAJ I: 初めて使うツールでここへの参加そのものに非常に悩んでしまいました・・・。

Mar 20 ▼



弘智 松浦 o3_: 2日目(3/20)はこの下から↓↓ですかね、今日もよろしくお願いします(明日は京都9時にチャットと出現予定)

Mar 20 ▼



Yoshitake SHIMO:

Mar 20 ▼



Dai MIKURUBE: はい、よろしくお願いします :)

Mar 20 ▼



弘智 松浦 o3_: よろしくお願ひします。どこに書いたらいいかわからず一度投稿を消してしまったので「1日目まとめ」直しました。失礼しました^^;

Mar 20 ▼



弘智 松浦 o3_: [Wave500件超えると重くなる...メモメモ]

Mar 20 ▼



弘智 松浦 o3_: [要望(?)] 国際的なSMSサービス。SMS寄付く法的に何か表示させなくていけないことが邪魔しているらしい

Mar 20 ▼



Shuhei.kagawa@googlewave.com: これは海外から SMS で寄付を受け付けるということでしょうか? アメリカでは赤十字など SMS で寄付ができるところがいくつかあります。

Mar 20 ▼

<http://nonprofit.about.com/b/2011/03/13/how-to-text-a-donation-to-help-japan.htm>

電話代と一緒に後で請求されるようです。



弘智 松浦 o3_: [アイディア] 位置情報あり、な総合支援サイト連携 sahana.jp や sinsai.info など連携

Mar 20 ▼



弘智 松浦 o3_: [アイディア] [節電] 見てないテレビ、無人の部屋のエアコンの自動OFF化義務付け

Mar 20 ▼



Soh: [アイディア] [節電] コンセントの電気使用量などをモニターし、その情報をPCや携帯に送ったり、逆に指示を送って電源を落したり制御できるような装置とアプリ。

Mar 20 ▼



Akitoshi.ono@googlewave.com: 技術的に出来ると言う実証例はいくつか見るのですが、製品って余り見ないですね。

Mar 21 ▼

<http://side2.256byte.com/2010/02/android-arduino-ir-remote-controller/>

上記赤外線リモコンの作例を使用して、汎用的な電源スイッチも作れます。

http://www.geocities.co.jp/arduino_diecimila/use/index.html#_ac_sw

ハードウェアを伴うので、仕様を決めたら、量産してくれる工場を上手く見つけるのがカギかも。



荒川 正義: 既にあります。

Mar 20 ▼

Energy Literacy Platform

<http://www.sassor.jp/elp/>

筑波大の中内靖氏の

インテリジェントテーブルタップも同様です。

ON・OFFは無理かもしれませんが、
富士通からも同様のものがあります。
<http://www.fcl.fujitsu.com/release/2011/20110307.html>



Soh: [アイディア] [節電] Android自体の低消費電力化。バッテリーを長持ちするように。Android を使
うことで簡単に携帯端末やアプリを構築できるようになっても、freeで提供されているためか、消費電力の仕組み
がまだまだ甘い。 Mar 20 ▼



弘智 松浦 o3_: [アイディア] 献血ったー：血液の不足や、逆に献血への殺到を調整・献血から献血の間は一
定期間空くのでそこを最適化。血の気が多い時に「献血しない？」とお誘い Mar 20 ▼



Yamaguchi Ikunori: 前回の献血日から3か月経過したら、献血できますよと教えてくれるサービスか
アプリとかはどうでしょう。友達で献血可能の人同士の情報が共有できれば、一緒に誘っていくこともできま
すね。血液の少ない日には血液型別でお誘い通知がとどくとか。血の気が多いのはどうやって検出しようかな。Twitterな
どのメッセージが過激な人？ Mar 20 ▼



Rkyaizu@googlewave.com: このアイディアいいですね！大賛成します。 Mar 20 ▼
下の方でも書きましたが、WEB、DS、もちろん携帯で、楽しみながら使える（もしくはヘルス方面の）ソフト
& サービスにできればと願います。
日赤のデータベースと連動できれば理想中の理想ですけどね。



近藤俊彦: 医療系関係者の監修が必要かと思います、体がどういう状態の時に献血が出来るのかとかそう
いった簡単なチェック出来たりとかするといいですね Mar 20 ▼



Rkyaizu@googlewave.com: 同時に、日赤の献血センターで行うような機械問診（選択式）で、自分
が献血できるかどうか、その際制限があるかどうか最低限分かって使い勝手良さそうですね。医療関係者監修と
なると、それこそDSの得意分野かと思います。
また献血に限らず、体調管理ソフト（選択問診式。緊急時に限りドクターへの送信可など）としても使えると発展的か
なと思います。
忙しくても採血した血の状態＝体内の健康状態は教えてくれますので、それを登録できるとなお良いです。ますます日
赤と協力できればと思ってきました。 Mar 20 ▼



Shinjiro watanabe: 似たようなアプリを福岡会場で作ることになりましたー Mar 21 ▼



Rkyaizu@googlewave.com: 期待しています！！ Mar 21 ▼



Taketo Takashima: このアプリ欲しいです！献血すると次の献血が可能な日がはがきで送られてくる
んですけど忘れてしまうので、スマートフォンみたいないつも持っているデバイスで確認できるといいですね。
あと、血液の状態(?)みたいなのも郵送されてきます。これには健康診断の結果のように前回の献血との比較もあるの
ですが、こういった情報もアプリでみれるといいと思います。 Mar 20 ▼



Rkyaizu@googlewave.com: 本当日赤との連携ができればすごい広がりができますね。ニーズの高さ
も感じます。ぜひ実現して欲しいです。 Mar 20 ▼



Tohru HANAI: 連携できたならば献血手帳のオンライン化を夢見ます。
普段持ち歩かないので、ふと街で献血の気が起きても、「手帳を家に置いたままだからまたの機会に」とかいつ
て献血の機会を逃している数、けっこうあるかと思ってます。
モバイル端末とかが手帳の代わりになれば。 Mar 20 ▼



Rkyaizu@googlewave.com: 先日献血した時に献血カードを紛失した状態で臨んだのですが、保険証
で日赤ネットワークから照合できました。前回貧血した情報なども残って（笑
連携さえ取ればオンライン化は比較的簡単に実現できそうです。あらゆる角度から「献血したくなる」気持ちにつな
がってくれるといいですね。



Yamaguchi Ikunori: 最後の献血から10年近くたって、別の県で献血したのにちゃんと過去の献血記
録と照合されました（表彰された記録も残ってたw）。日赤には凄いデータが管理されていそうです。アプリ自体
は簡単に出来そうですが、問題はやはりデータ照合が可能かどうかですね（医療関係のデータは難しいです）。使い勝
手は落ちるかもしれませんが、自分で登録するのだったら何とかなりそうですが、PC版は検索
で<http://www.vector.co.jp/soft/winnt/home/se367841.html> が見つかりました。



Rkyaizu@googlewave.com: あーこのソフトよさげですね。データベース連携できない場合、これ
ベースに組めそうですね。



Akiko.pusu@googlewave.com:

Mar 20 ▼



Soh: [アイデア][情報メンテ]「解決済み」になった問題でも、時間が経てば状況や最適解などが変わって
いることもある。そういったものを更新していくような仕組み。「解決済み」だけ閲覧数が多く、かつ、ユーザが解に不
満があるときに起動して、解を集めにいって、情報更新するようなもの。



Shuhei.kagawa@googlewave.com: [その他] 同時に複数のトピックをチェックできるように Google Wave
を 3 カラムで閲覧できる HTML をつくってみました。 <http://shuheikagawa.com/waves/> 現状一日目を二つ、二日目を一
つ表示していますが、ダウンロードすればカスタマイズ可能です。



Kamatamadai, Fumikazu Fujiwara and 6 others: [作った] 既に開発済みのサイト、アプリ一覧
<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+Q95ymYodA>

Ks さんが1日目に作成されたリストを、こちらにもコピペしておきます
いろいろと、追加しました

災害関係のサイト一覧。APIは含めてない。このプレストで言及されてないものも含む。
どこか別の場所においたほうがよければ適宜コピペしてください。

<<総合情報>>

Google 災害情報ページ (Crisis Response page)

<http://www.google.com/intl/ja/crisisresponse/japanquake2011.html>

Yahoo! JAPAN - 地震・津波災害に関する情報

http://weather.yahoo.co.jp/weather/2011sanrikuoki_eq.html

Yahoo! JAPAN - 地域別まとめ情報

<http://shinsai.local.yahoo.co.jp/>

東北沖地震 震災情報サイト sinsai.info

<http://sinsai.info/>

ガラケー閲覧 (東日本大震災に関する情報 -ケータイでUshahidi-)

<http://ushahidi-m.appspot.com/>

<<Google関連>>

Google Person Finder(消息情報)

<http://japan.person-finder.appspot.com/>

テキスト化&登録まとめWiki

<http://www45.atwiki.jp/ganbare-tohoku/pages/>

パーソンファインダー名簿画像未入力写真検索(画像からPF登録時支援ツール)

<http://rss.rmij.jp/pf/index.cgi>

略字、旧字、クセ字など：避難者名簿をテキスト化している有志の皆さんへ | makewisteriaのブログ -

<http://ameblo.jp/make-wisteria/entry-10833265279.html>

パーソンファインダーで名前を検索して最後の場所が登録されていたらプロットする地図。

<http://japan-person-finder-map.appspot.com/>

参考:hack4jp1日目

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+rBWh0qbXB>

画像ごとに表示されるコメント内容でダブルチェック完了の判断が出来る

<http://jsdo.it/noga/gtk1/fullscreen>

コメント内容の検索

<http://ganbare.takyam.com/>

コメント内容の検索 (携帯版)

<http://ganbare.takyam.com/m/>

Person Finder一括登録用テンプレート

[https://spreadsheets8.google.com/ccc?authkey=CJ6Zv5QG&hl=en&key=tQ-](https://spreadsheets8.google.com/ccc?authkey=CJ6Zv5QG&hl=en&key=tQ-PL5gF1uhWPG_xuOpMBXA&hl=en&authkey=CJ6Zv5QG&pli=1#gid=0)

[PL5gF1uhWPG_xuOpMBXA&hl=en&authkey=CJ6Zv5QG&pli=1#gid=0](https://spreadsheets8.google.com/ccc?authkey=CJ6Zv5QG&hl=en&key=tQ-PL5gF1uhWPG_xuOpMBXA&hl=en&authkey=CJ6Zv5QG&pli=1#gid=0)

避難所名簿共有サービスのアルバム、写真のリストをテキストで表示

<http://jsdo.it/tenkao/3mjh/fullscreen>

[作ってる]避難所名・避難所の住所、GoogleMAP上の位置URLをリスト化し、避難所の皆様が携帯から検索して見れるようにするプロジェクト (作業を手伝ってくださる方を募集)

<http://meibo-finder.bbs.fc2.com/?act=reply&tid=10451387>

Picasaのコメント欄から、パーソンファインダーの検索画面にリンクを張るブックマークレット

<http://namutaka.github.com/PersonFinderBookmarklet/>

上記、Google Person Finder まとめWikiのツール集Linkより

<http://www45.atwiki.jp/ganbare-tohoku/pages/33.html>

Google Crisis Response(避難所情報)

http://www.google.com/intl/ja/crisisresponse/japanquake2011_shelter.html

Google ヘルプフォーラム震災関連ページ Google Person Finder、Google Crisis Responseへの要望

<http://www.google.com/support/forum/p/websearch/label?lid=1ee04ed23559849d&hl=ja>

<<まとめ>>

Official and Media Logs：東北地方太平洋沖地震のメディア・公式情報のまとめと動画・ニュース・Twitterの横断検索を提供

<http://om-logs.appspot.com/>

参考:hack4jp1日目

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+qIJEGo2GD>

東北関東大震災（東北地方太平洋沖地震）@ウィキ

<http://www46.atwiki.jp/earthquakematome/>

東北地方太平洋沖地震動画まとめ

<http://www47.atwiki.jp/100311/>

東日本(東北地方太平洋沖)地震情報まとめ

<http://saigai01.web.fc2.com/>

<<災害対策>>

災害対策WIKI*東北地方太平洋沖地震

<http://saigaitaisaku.wiki.fc2.com/>

iPhone用 地震対策音声読み上げ

<http://www.bathtimefish.com/html5/eqtaisaku/>

参考:hack4jp 1日目

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+uEN42ug2A>

<<義捐金>>

義援（義捐）金・寄付支援まとめ@ ウィキ

<http://www47.atwiki.jp/gienkin311/>

<<ボランティアマッチング>>

東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）「災害ボランティア情報」まとめサイト

<http://www45.atwiki.jp/volunteermatome>

twitter (@volunteermatome, #volunteerjp) 上で、ボランティアの募集状況がつぶやかれています

東北地方太平洋沖地震ボランティアマップ

<http://goo.gl/maps/UAwc>

<<物資支援マッチング>>

被災地支援表明サイト できること

<http://dekirukoto.fm/>

ボランティアマッチングも予定

<<疎開マッチング>>

ソフトバンクによる支援情報（孫さんやりましょう系）

支援協賛企業の情報

<http://bit.ly/hTvUH7>

一般個人からの支援情報

<http://bit.ly/ewjOwa>

<<特定施設の被災情報・救援情報>>

savemuseum @ ウィキ-東日本大地震によるミュージアムの被災情報・救援情報

<http://www45.atwiki.jp/savemuseum/>

savelibrary @ ウィキ - 東日本大地震による図書館の被災情報・救援情報

<http://www45.atwiki.jp/savelibrary/>

savearchives @ ウィキ-東日本大地震によるアーカイブズ関連施設の被災情報・救援情報

<http://www47.atwiki.jp/savearchives/>

<<救済要請>>

We help us: ツイッターの発言と地図をつなげることでどこで誰がなにを必要としているのかを可視化

<http://kuippa.sakura.ne.jp/>

救助要請ハッシュタグ (#j_j_helpme) を含むツイートをプロットする地図

<http://j-j-helpme.appspot.com/>

参考:hack4jp:1日目

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+rBW0qbXB>

<<避難所状況>>

Google Crisis Response(避難所情報)

http://www.google.com/intl/ja/crisisresponse/japanquake2011_shelter.html

japancoop：被災地別避難所状態リスト（福島）

<https://sites.google.com/site/japancoop/hisai-chi-betsu-hinan-sho-joutai-risu-to/fukushima-ken>

hack4jp:1日目

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+yUFKruoGA>

<< 地域別ポータルサイト >>

ホープ茨城ではドメインをとって地元のNPOセンターと連携し茨城と周辺情報をまとめる予定でいます

<http://hope-ibaraki.org>

参考:hack4jp:1日目

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+hAgznmeUA>

<<給水所>>

給水所マップ <http://kyusuisho.appspot.com/>

-最も近いマップAPI <http://kyusuisho.appspot.com/apis/nearest.xml?lat=0.0&lng=0.0>

-掲載市町村API <http://kyusuisho.appspot.com/apis/areas.xml>

-Android版 https://market.android.com/details?id=com.appspot.kyusuisho.android&feature=search_result

hack4jp:1日目

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+0irUalmsA>

<<道路状況の可視化>>

自動車・通行実績情報マップ

http://www.google.co.jp/intl/ja/crisisresponse/japanquake2011_traffic.html

<<航空運航状況の把握>>

航空会社運行状況横断把握システム(日本国内線用)

<http://f.sigdia.jp/>

<<消息関係：動画>>

TBS

<http://www.youtube.com/shousoku>

日テレ

http://www.dai2ntv.jp/infotainment/message/000001236z_01.html

<<ツイッター>>

Journalist Wall of Shame：デマ関係

<http://jpquake.wikispaces.com/Journalist+Wall+of+Shame>

東北沖地震震災 リアルタイム情報 **QuakeMeme.jp**: Twitterのタイムラインをリアルタイムに解析し、地震関連情報を抽出

<http://quakememe.jp/>

参考:hack4jp1日目

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+ttBeTDAOA>

災害ったー: 東日本大震災用ツイートテキストジェネレーター **Android** アプリ。少ない入力で震災に関わる**140**文字以内の文章を作成。

http://androapp.jp/lib/soft/detail.php?soft_id=1898

参考:hack4jp:1日目

https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+_OisqLJMA

Google東北地方被災地マップ+Twitterの位置情報付き安否情報(**#anpi**)検索。

<http://jsdo.it/shunito/fSQx/fullscreen>

<<データマイニング・自然言語処理>>

ANPI NLP：東日本大震災のためのデータマイニング・自然言語処理に関する情報のページ

http://trans-aid.jp/ANPI_NLP/index.php/%E3%83%A1%E3%82%A4%E3%83%B3%E3%83%9A%E3%83%BC%E3%82%B8

<<笑顔を取り戻す>>

[作ってる]「デマだったー」アプリ。デマTweetをランキング投稿。「このTweetは**245**人の人がデマだと言っています。」 - 日本Androidの会 チームこれから

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+rsaAWpb5B>

デマTweetを登録、検索できるサーバ。APIを用意。クライアントにボタンを実装。

笑ってもらう：参考に

<https://kayac.com/service/original/704>

写真はflickrとかウィキメディア・コモンズで手に入ると思う

<<翻訳関係>>

honyaquake

<http://www.facebook.com/pages/honyaquake/158201144237646>

人手による翻訳のツールとして、メールで翻訳ボランティアに翻訳依頼し、メールで翻訳結果が帰ってくる仕組み

<http://www.finite-field.com/isometry-2-0-ja/volunteer>

参考:hack4jp1日目

https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+XdHqAi_JA

ローマ字

<http://mohawk.sakura.ne.jp/english-romaji>

簡単な翻訳一覧表の例

<https://spreadsheets.google.com/cc?key=0AtK5QLiYWYUIdHo0ekptbE42Vmo3NVI0REVVCmxnUUE&hl=en>



Kamatamadai: 情報共有のため、追記/訂正などをお願いします。

Mar 20 ▼

私のほうは書き終わりました。他の方でも、クリックして「Edit」ボタンを押すことで、上記を編集できるみたいですよ。



Takao Funami: パーソンファインダー名簿画像未入力写真検索を追記しました

Mar 20 ▼



Shunsuke Ito: Google東北地方被災地マップ+Twitterの位置情報付き安否情報(#anpi)検索を追記しました

Mar 20 ▼



Yasuakiouchi@googlewave.com: 航空運航状況把握システムについて追記しました。

Mar 25 ▼

各航空会社とのやり取りを別Waveに掲載していたのですが、現時点で経緯を公開するのはデリケートな状況になっておりますので、一旦削除しました。
後日経緯は公開したいと考えています。



Kenta shimada:

Mar 21 ▼



Fumi Yamazaki:

Mar 25 ▼



Fumihiko Kato:

Mar 20 ▼



Shigenori kamata: 災害支援している企業系のサービスもウォッチしていったほうが良さそうですね。その辺追記しておきました。

Mar 20 ▼



U.matsumura.e46@googlewave.com: [アイディア]今は避難所、被災地対策が主ですが、次に来るのは復興支援です。復興を主導するのは自治体（県、市町村）ですが、今回は複数の自治体にまたがる災害ですので、自治体間で上手く情報を共有しうるツールがあればと考えます。

旧来の方法では、偉い方が連絡会議を開き、その結果を下達するのですが、これでは現場の担当者に伝わるまでのタイムロスや現場にしか分からない問題や悩みが共有できません。



荒川 正義: 連絡会議自体をこのWaveのようみ見える化してしまうのもありかもしれませんね。

Mar 20 ▼

この電力不足化で物理的に集まって議論するよりも、ネット上での議論に変わってくるかもしれませんね。



Saeki512000@googlewave.com: 音声入力ソフトとか使って議事録をリアルタイムで入れるとか可能かもしれません。

Mar 20 ▼



荒川 正義: そういえば、ありました。

Mar 20 ▼

NECから

議事録作成支援ソフトウェアVoiceGraphy

<http://www.nec.co.jp/techrep/ja/journal/g10/n01/100117.html>



Rkyazu@googlewave.com: 自治体の情報が迅速に、かつ状況問わず皆に配布できるディスカッションを19日から行っていました。
こちらにまとめてありますので是非ご参考どうぞ。

[Hack For Japan \(hack4jp\) 2日目 Wave](#)



Rkyazu@googlewave.com: クラウドとボランティアとの連携がツボかと思っています。 Mar 20 ▼



Fumikazu Fujiwara: [アイデア]ネットに繋がる家族->ネットに繋がらない家族への手紙サービス Mar 20 ▼

0) ネットに繋がる家族がGMailログイン

- 1) PersonFinder APIで避難所、家族を検索
- 2) メッセージを投稿
- 3) 避難所の最寄りの7-elevenでメッセージをまとめて印刷(ボランティア)
- 4) 被災物資ルートにのせる(ボランティア)
- 5) 避難所の家族に配達 返信メッセージを受け取る(ボランティア)
- 6) 配達人が1)のサービスに返信メッセージを投稿->0)の人に返信される



Nukinuki: おはようございます！はじまってますね。このアイデアは、副次的な効果もあると思います Mar 20 ▼
す！チリの鉱山事故のとき、メンバーは各人、役割をあたえられることで、活力を得たそうです。今回も、配る人、メールを打ちこむ人、組織を運営する人など、役割を共有することで活力が得られるかもしれませんね！



Fumikazu Fujiwara: かつてにはじめちゃいました (^_^) Mar 20 ▼

役割を当てるって大事ですね

3,4,5がは可能なんでしょうか？ それいがは技術的にはかのうだとおもうのですが



Nukinuki: 救援物資の輸送に詳しい人のご意見がほしいですね。どなたかいらっしゃいませんか？？ Mar 20 ▼



Fumikazu Fujiwara: 返信きました Mar 20 ▼

救援物資に乘せるのは行き先が直前まで確定じゃないので他の手段がいいと思います、＜高速バスとか、でも誰が取り次ぐのが課題です(°Д°)さっきNHKで郵便すら配達できないと配達員の方が困ってました。



Nukinuki: そうですか、、、やっぱり7-eleven→配達人で独立ですかね Mar 20 ▼



Nukinuki: というか、ひょっとすると救援物資の配布をオペレーションするのは、自治体そのものなのかもしれませんね。それならば4,5は解決するかもです。3は7elevenさんに入っている端末メーカーさんのご意見がほしいです。 Mar 20 ▼



Fumikazu Fujiwara: そうですね twitterでも聞いてみました <http://ow.ly/4hZdC> Mar 20 ▼



Nukinuki: やりますねえ。私はあまり慣れていないもので、そういう発想がありませんでした（笑） Mar 20 ▼



Fumikazu Fujiwara: 7イレブンで印刷することは そういうサービスがすでにありますので それを使えば大丈夫です Mar 20 ▼

まとめて印刷してくれるボランティアをどのように確保するかが
可能かなとおもいました



Nukinuki: なるほど、特殊な仕組みではなく、あるもので対応ですね。昨日も話しましたね（笑）先ほどの話で自治体主導で組織的に役割を振れば、問題ないのではないのでしょうか？仮説の域をでませんが。 Mar 20 ▼



Fumikazu Fujiwara: そうですね あと 印刷する時って 一枚20円とられます その費用をどこから捻出するか Mar 20 ▼



Nukinuki: 満額かかると切ないですね。緊急用ダイヤルみたいなイメージで、お金がかからない、や、安く設定できる、、、、ということはできるのでしょうか？ Mar 20 ▼



Fumikazu Fujiwara: それはわかりませんー Mar 20 ▼



Nukinuki: シンプルに、利用枚数をカウントしておいて、払い戻しで対応するとかできればいいですね。営利の金額設定でなく、原価で考えればずっと安いはずなので、差額を月一回払い戻しなど。 Mar 20 ▼



Fumikazu Fujiwara: そうですね あとは 配達、印刷台込でボランティアを募るか ハードルが上がっちゃいますが Mar 20 ▼



Nukinuki: 一時に発生して金額が見ている寄付という活動と、定常的にお金が発生して、最終的にいくらになるかわからない活動では、ちょっと心意気としてかなり出来た人しか難しそうな気がします。そうすると個人ではない気がしますので、企業が、自治体が実費に応じて負担がいいような気がします。 Mar 20 ▼



Fumikazu Fujiwara: 個人対象だと この手紙担当 みたいな感じで 手紙に対して一対一でしょうね Mar 20 ▼



J Uekawa: Mar 20 ▼



Nukinuki: ああ、なるほど。となると、結構実績をとるのが複雑ですね。ハードルがあがりますか。 Mar 20 ▼



Fumikazu Fujiwara: 実績は 印刷数でわかりますよ たしか印刷するときにDと番号を入れて20円コピー機にいれるので Mar 20 ▼



Nukinuki: できるかもしれませんね。一箇所のコンビニを使うのではなく、いろいろあるはずなので、そこで割り当てられたIDのものを印刷するイメージですね。ただ、仮に一日100枚として、2000円毎日かかりますか。 Mar 20 ▼



Fumikazu Fujiwara: できますできます 実際にやってます <http://setsuden.tumblr.com/> Mar 20 ▼
この反響って数が実際に印刷された数だとも思います
その人が100枚担当って宣言したらそうですけど
この手紙担当！なら 該当IDいれて20円いれるだけで
手紙が機械から出てきます。
<http://setsuden.tumblr.com/post/3854548333>
例えばこれですが ネットプリント:08148450
って書いてありますが これが7-elevenのコピー機に入力する
IDになります



Nukinuki: なるほど、実務的には100人の人が印刷に行き、現地まで配達するのは煩雑なので、ということは、手紙担当でやはり募金のように募る形がベターなのではないでしょうか？ Mar 20 ▼



Fumikazu Fujiwara: そうですね ネットから配達したいor出来るものを選んで->ID発行->最寄りのセブンイレブンで20円いれて印刷->配達ですね Mar 20 ▼



Nukinuki: Mar 20 ▼



節電のポスターの活動で、かなりイメージわきました。インターネットで支払い済みにすれば、現地で硬貨をいれる必要がないようにできればベターですが。。



Fumikazu Fujiwara: いや それはできないですね

Mar 20 ▼

7-elevenで実際に20円いれないと ダメなしくみになってます <http://www.printing.ne.jp/>

ハードルを下げるために 節電広告風に この避難所にとどけたい

メッセージをという 名目で募集してみるといいかもしれないですね

人から人へは厳しいかもしれないので

どうしても人あてにしたい場合は

誰がいるかは**PersonFinder**で検索してもらう

ただ あくまでも避難所宛にとどけられて 避難所のどこかに張ってもらう



Nukinuki: **PersonFinder**は、送りたい人が有効に使う手段で、費用はみんなが負担するのができれ

Mar 20 ▼

ば、、ですね。おっしゃるとおり、避難所単位ってのがよさそうですね。一箇所に集中してはいけないので、そのあたりも見える化できてれば、、ってとこですか。ただ、20円の値段は何らかの形で下げれる（後ほど払い戻しでもいいが）といいですね。これで儲けるってのはどうかと思いますので。



Fumikazu Fujiwara: 送る人が寄付->印刷する人はそこから引き出しOKみたいなことができますかね

Mar 20 ▼

既存の仕組み以外のこと そのIDだけ値下げとかすると

7-eleven側に開発コストやオペレーションコストが掛かってきそうですね

おそらく やってもらうには 相当このサービスが有益ではないと

きびしそうですね

20円は配達人に負担してもらうのが 実現がはやいとおもいますが、

節電広告も20円はらって 善意でポスターを貼ってる人がいるので



Nukinuki: 結局配達人が負担するのであれば、手紙単位で担当割することで、費用増加を防いで、

Mar 20 ▼

ハードルをさげるということが出来なくなってしまう。数の問題ですね。負担額を減らしてあげるいい方策はありますでしょうか？



Fumikazu Fujiwara: 手紙単位なのでわずか20円ですよ 配達人一人当たり

Mar 20 ▼

1000枚担当したい人とかは2万円とIDを1000回入力する作業が発生してしまいますが



Nukinuki: おそらく、実際のオペレーションとしては、現場で誰かがまとめて出すということしかで

Mar 20 ▼

きないのではないのでしょうか？1000人分出力するのに、1000人がコンビニにおしかけることは難しいように思いますが。。



Fumikazu Fujiwara: そんなに こないと思いますよ^.^; ポスターもポスター1枚に付き せいぜい何枚

Mar 20 ▼

かなので

あとは 避難所枚にメッセージをまとめて PDFにしてあげてもいいかもしれませんね

10メッセージ追加したら 1枚の紙 IDが発行されて

だれかが このIDに対して 手を挙げる



Nukinuki: 私も、複数まとめることがいいのかなあと、考えてました。そのようにすれば、問題が

Mar 20 ▼

解決しますね。101番目になった人は翌日！はかわいそうなので、毎日のバッチ処理がいいかもしれませんね。



Fumikazu Fujiwara: あとは メッセージの集め方ですが **twitter**やメールで集めるのもいいかもしれま

Mar 20 ▼

せんね 避難所枚にメールアドレスや**twitter**IDを発行して そこにメッセージを送ってもらう

100メッセージ集まったら 一枚のPDFになる

誰かがPDF担当になって7イレブンに直行->印刷->配達

配達人のモチベーションがなにか無いといけなそうですね



Nukinuki: メッセージの集約方法は、確かにそのようにすることがかなりいいと思います。被災地の

Mar 20 ▼

外の人で、誰でも簡単に、、、、という、携帯からのメールってのは協力なツールな気がしますし。配達人のモチベーションは、やっぱり感謝されるとか、役に立っている、というのが一番じゃないでしょうか。こういう状況ですから、特に。



Fumikazu Fujiwara: 私は 埼玉スーパーアリーナ(福島県双葉町の方々)が一番最寄りなんですが 実際

Mar 20 ▼

にメッセージを集めて 印刷 配達をしてみて 様子をみたいですね どれくらい大変かやってみたいです



Nukinuki: 実現段階ですね！すぐに行動しようというところは尊敬です。私は今、山梨です。何か仕
組みにかかわれたらいいのですが、素人でありますかね。 Mar 20 ▼



Fumikazu Fujiwara: 山梨は非難されている方はいらっしゃるいませんか？もし仕組みができれば 告
知、拡散とかそのあたりも大変ですね Mar 20 ▼

twitter アカウントとかお持ちですか？



Nukinuki: 山梨は今のところ、たまに停電するくらいで、どちらかというと、救援物資を送る準備を
しているところです。twitter アカウントはSansiro_Kazamaですが、疎いので使い切れていません (T_T) Mar 20 ▼



Fumikazu Fujiwara: <https://sites.google.com/site/minnadewiki/home/kihon/accept/19-yamanashi-acc> Mar 20 ▼
受け入れ準備はあるみたいですね



Nukinuki: ほんとうですね。近くの市はいくつかあります。仕組みが構築されればやってみる価値は
ありますね！ Mar 20 ▼



Mito: 横からすみません。 Mar 20 ▼

決済についてはnanacoカードで、つてのはどうでしょう？
小銭を用意して持っていくのは現地の人にも負担がかかりますが、
カードなら1枚でOKですし。



Fumikazu Fujiwara: nanacoカードいいですね いづれにせよ 負担をお願い出来ればいいです
ね Mar 20 ▼



Rkyaizu@googlewave.com: nanacoはいいですね！賛成です。 Mar 20 ▼



Ayse.oblivion@googlewave.com: 妄想を Mar 22 ▼

メッセージの集計をマップの隅に 福島（100）宮城（200）→map 拡大 南相馬市（30）いわき市（70）
避難所データから #iwate #ibaraki #sendai とかを自動で貼り付けてbotでつぶやき
ただ地元の避難所データは古いです



のの: [アイデア] キーパーソン一覧 Mar 20 ▼

もう出ているかも知れませんが、放射線障害についてはこの人に尋ねたら良い、どこどこの避難所の責任者は誰・・・と
いった人の情報の一覧。公開OKの携帯番号やTwitterアカウントなどがあれば、それも載せる。



Rkyaizu@googlewave.com: これ大事ですね。現在でも部門別のキーパーソンはつぶやかれていま
すが、統合された場所はありません。 Mar 20 ▼

サービスとしてどういうものが良いか考えたら発展できるかも。



Toshinori Satou: Quoraみたいに上手に仕組みがまわるなら有用だと思います。同じ質問が繰り返さ
れる事への対策、キーパーソンじゃない人がキーパーソンになった場合の対策、キーパーソンの負担を軽減する
手法、キーパーソンのプライベートが犠牲にならない対策、などが組み込まれていないと、怖くてキーパーソンは回答
をくれないかもしれません。 Mar 20 ▼



Rkyaizu@googlewave.com: 仲介的なサービスは必須ですね。お互いの安心のためにも。 Mar 20 ▼



近藤俊彦:

Mar 22 ▼



Atusi nakamura: [アイデア] 町役場などの公的機関が機能を失っているところもあると聞いています。本格的な復旧までの間でそれらの機能を補助するツール（こういったニーズがあるのか知らないですが） Mar 20 ▼



Rkyaizu@googlewave.com: 今一番下の自分の枠で書こうと思っているのですが、行政とボランティアがクラウド（Dropboxなど）で情報共有し、ボランティア側が市民に見られるフォーマットにまとめて発信する、というのはありかもしれません。自分の枠の方でちょっとまとめてみます。 Mar 20 ▼



Rkyaizu@googlewave.com: 一日目は皆様とのディスカッションのお陰で大変有意義な議論ができました。 本日もし宜しくお願ひします。 Mar 20 ▼

取り敢えず**19日**のまとめにあった自分のところのディスカッションのリンクを貼りますので、ご覧頂いた上で続きのディスカッションや、新規提案書きこんでいきましょう。

[アイディア] 技術に詳しくない人(例えばお年寄り)でも、Webの必要な情報に簡単にアクセスする手段を

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+1XFBzlzIG>

電話番号プッシュで特定のページに繋がる。ボタン一つでSOS。Twitterの登録をもっと簡単に。実用的な公的メーリングリスト。そのMLはどこで持つ、何で管理する? 動画配信。情報の整理、モデレーション。

<http://jishin-omimai-2011.atwiki.jp/> <http://jishin-shien-2011.atwiki.jp/> <http://jishin-gien-2011.atwiki.jp/>

[アイディア] ガラケーからIへ動画配信

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+1XFBzlzIT>

自治体が緊急時に使えるワンセグ放送装置。Ustreamとの連携。Ustream→ワンセグへの変換。

[アイディア] 救援物資の必要量などを Google Maps などの地図上で一元管理。

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+70Ed-oxRH>

現時点での実態把握が課題。読むのは全員が読めるとして誰が情報を書き込む? 情報の混乱。通信キャリアからのリアルタイム情報。アマチュア無線の効果は? 被災地からのみしか書けなくすれば絞れるかも。

[アイディア] PDFで公開される自治体情報などをガラケーで見えるには

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+70Ed-oxRN>

情報を表形式で自治体などが入力できるシステムがあれば後は見せる側が工夫できる。単純なWebフォーム。

[アイディア] ガラケーによるネットラジオ

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+70Ed-oxRP>

電力の問題? 受信する側は普通のラジオとして受信するほうが電力消費が抑えられる。配信する側はガラケーから可能か。緊急時ラジオ局でネット配信とラジオ受信の両立。



Rkyaizu@googlewave.com: [アイディア] ガラケーからIへ動画配信

Mar 20 ▼

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+1XFBzlzIT>

自治体が緊急時に使えるワンセグ放送装置。Ustreamとの連携。Ustream→ワンセグへの変換。

で書いたことから改めて提案。

災害時の自治体の装備として、

- ・耐久性の強い、長時間駆動のポータブルPC（WEBカメラ、IEEE1394搭載）
- ・各携帯回線に切り替え可能なUSBモバイル端末（生きている回線を選択可能）
- ・ワンセグ送受信（エリア配信可能）を可能にするPCシステムとポータブルアンテナ
- ・Ustream等生配信できるサービスにワンボタンで接続・配信開始できるソフト
- ・自転車・手回しで充電できるキット

これを各自治体の必需品にして頂きたいです。

配信したものをTV・ラジオ・インターネット向けに変換する提案はリンク先で行っていますので、御覧ください。



Morishita Hiromitsu: すでに割と小型の機器はあるそうですね。 <http://www.eiden-gp.co.jp/product/1seg/1seg.html>

Mar 20 ▼

ワンセグだからTSなのか。

これらにカメラをつないですぐ放送開始出来ればほぼ実現ですが、カメラと発電機込みで旅行トランク程度の大きさにパッケージ出来れば災害時になんとか使えるのでは。



Rkyaizu@googlewave.com: 素晴らしい！！メーカー側に持ち寄って、バッテリー化できるか提案したいですね。 Mar 20 ▼



Morishita Hiromitsu: あと、ワンセグにはデータ放送もあるので、ある程度通信インフラが復旧してきてWEB上の情報が整理されてきた時点でリンクの配信等にも使えそうです。 Mar 20 ▼



Rkyaizu@googlewave.com: [アイディア] 技術に詳しくない人(例えばお年寄り)でも、Webの必要な情報に簡単にアクセスする手段を Mar 20 ▼

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+1XFBzlzIG>

電話番号ブッシュで特定のページに繋がる。ボタン一つでSOS。Twitterの登録をもっと簡単に。実用的な公的メーリングリスト。そのMLはどこで持つ、何で管理する？動画配信。情報の整理、モデレーション。

<http://jishin-omimai-2011.atwiki.jp/> <http://jishin-shien-2011.atwiki.jp/> <http://jishin-gien-2011.atwiki.jp/>

のエリアメール案にも活かせそうですね。

ワンセグのフル活用は至急・要検討課題かと感じます。Morishitaさんの視点、素晴らしいです。



Morishita Hiromitsu: ちょっと考えを整理しました。 Mar 20 ▼

想定状況

- *通信インフラが破壊されている。あるいは混雑により使えない
- *電力インフラも確保が難しい
- *災害発生直後に近隣住民に情報を発信する必要がある

このような状況下では次の要件が考えられると思います。

- 1)受信者が特殊な機器を必要としない(携帯電話は肌身離さず持っているものとは都会人の考えでしょうか?)
- 2)事前に登録や発信側が受信者の情報を知らなくても受信者が情報を受けられる
- 3)発信側が場所に縛られない(場所が破壊される可能性もあるので可搬型が必須)
- 4)扱いが簡単、準備が必要ない(あるいは準備したものが維持しやすい)

上記から災害直後の情報発信手段としてワンセグ放送の活用は有効ではと考えました。

以下のような機能を持ったものを持ち運び可能、出来れば背負ったまま使えるサイズにパッケージ出来れば有用だと考えました。

- *カメラをつないでワンボタンで放送開始できる
- *データ放送、あるいは音声のみでも発信できる
- *SDカード、USBメモリ内のファイルを放送できる
- *携帯電話で撮影した動画、静止画を放送できる。
- *動画ファイルを繰り返し放送する機能

また、通信インフラが確保できるなら次の機能もあればさらに広いエリアに情報発信できると思います

- *放送内容をUst、Youtubeにアップする機能



Takeda Masaaki: ワンセグ放送には免許が必要だったと思うので、実現はかなり困難な気がします。 Mar 20 ▼

<http://itpro.nikkeibp.co.jp/article/Interview/20070410/267888/> によると「送信機から3メートルの距離で35μV/m以

下の電界強度なら、微弱電波として免許なしに使うことができます」らしいので広域への放送はやはり免許が必要っぽいです



Morishita Hiromitsu: このリンクの機器は小さくていいですね。これにもう少し出力の高いアンテナが接続できて、免許問題が解決出来れば。。 Mar 20 ▼



Rkyazu@googlewave.com: でしたら Mar 20 ▼

- ・各自治体への免許取得の義務付け（もしくは災害時における簡易発行）
- ・インターネット配信との連携（WEBカメラ→変換→各中継局もしくは免許取得者のボランティアが発信）が現実的ですかね。



Morishita Hiromitsu: 電波も放送も総務省管轄なので災害時の運用には柔軟な対応をお願いしたいものです。 Mar 20 ▼

ただ、いざという時しか使わないのではいざという時に使えないことが起こるので、自治体や避難所となる場所には免許取得を求めるか、特例の免許を発行し普段からイベント等のコミュニティ活動にに使用してもらうようなことも必要かと思います。



Morishita Hiromitsu: Mar 20 ▼



Rkyazu@googlewave.com: Mar 20 ▼

[アイディア] PDFで公開される自治体情報などをガラケーで見るには

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/~conv+root/b+70Ed-oxRN>

情報を表形式で自治体などが入力できるシステムがあれば後は見せる側が工夫できる。単純なWebフォーム。

ディスカッションの続き。

統一フォームからのインプットはコスト・周知・運用面から難しいのではないかと、という声を頂きました。その上で、PDF問わず「行政からの発信」という観点で一つ提案を記したいと思います。

■自治体の情報源と信頼できるボランティアを連携するクラウドシステム

各自治体の、今回のケースで言えば災害向けの情報を、自治体側が発信できない・時間がかかる、PDFでいえば携帯向け情報にしていられない時にクラウドを利用して登録ボランティアと連携できるシステムです。

Dropbox的なシステムを利用し、各自治体のパブリック（登録ボランティアの制限あり）フォルダに一次情報（テキスト）を収納。これを例えば

- ・PDF化
- ・WEB化（各自治体のサブサイトを作ってもいい）
- ・モバイル情報化
- ・ワンセグ用データ情報化
- ・ブログ化
- ・Twitter化
- ・各言語翻訳化

など登録ボランティアの役割別に変換。これを自治体が共有して自分のところで発信する、もしくは緊急時のサブとして登録ボランティアが発信する、という形です。

このやり方は広報の人手・人材・能力・機器不足の各自治体に、災害に関わらず応用できます。有力な情報が迅速に、端末・サービス・言語問わず市民に発信できます。

このシステムとやり方の提案、ぜひ全国に行いたいです。ご検討ください。



Yositosi@googlewave.com: Mar 20 ▼



Rkyaizu@googlewave.com: [アイディア] Twitterの緊急専用外部サービス

Mar 20 ▼

TwitterでのSOSにおいて、もっともデマを防ぎつつ、警察消防などに負担なく情報を伝えるには、GPS情報は不可欠と
思います。Twitterの外部サービスで、

- ・GPS情報の強制取得及び表示
- ・140文字以内に最低限必須の情報を書き込める・書き分けできるフォーム
- ・公式RTのようにボタン一つで警察・消防などに報告できる。また一回行ったものは再度行われない仕組み

を用意するのは今すぐ必要とされ、さほど難しくなく実現可能と思います。ご検討ください。



OYAJ I: ただ、ガラケーからの場合は、モバイルフォースクエアや、ロケタッチなどで位置情報発信 Mar 20 ▼
は出来ますが、

その場所にそれらサイト上で登録した「登録情報」がなければ
「位置情報取得」をしても「基地局」のある位置がツイートされてしまいます。
iPhone等からでも「基地局（アンテナ）」の位置になるみたいなので
正確な位置の測定っていうのはどうなのでしょうね。



Rkyaizu@googlewave.com: ちょっと調べてみます。
皆さんからも情報あれば教えてください。

Mar 20 ▼



OYAJ I: 一応具体例を示しておきます。知り合いのお店ですがInstagram投稿の Mar 20 ▼
<http://bit.ly/fm115j> ←こちらのツイートのジオタグは正確な位置を指していますが <http://bit.ly/elezlt> ←こちら
のEchofon（おそらくiPhone）からの投稿は、近くのマンション（おそらくアンテナ）の位置がジオタグとして付いて
いるようです。最近はどうでもないですが、彼の以前のツイートはいつもそのマンションの位置のジオタグが付加され
ていました。



Rkyaizu@googlewave.com: ありがとうございます！！ちょっとDMを送ってその違いについて直 Mar 20 ▼
接お尋ねしようと思います。



Rkyaizu@googlewave.com: [アイディア]選択式のお年寄りでも操作可能なWEBサービスの実現 Mar 20 ▼

献血ルームでの登録作業はご存知ですか？あれはコンピューター上の二択質問を繰り返し入力し、献血が可能か、及び
基本データがインプットされます。
選択式のQ&Aを繰り返せば状態が分かり、またベストな対策・対応先が導かれる。これならお年寄りや小さい子どもで
も携帯の操作で可能だと思います。そういうサービスが緊急時ほど必要になるかもしれません。
ご検討ください。



Rkyaizu@googlewave.com: [アイディア]ガラケー対応のSkype

Mar 20 ▼

音声が可能でも、文字チャットだけでもいいので、ガラケー各キャリアでskype利用が可能にならないでしょうか。そ
のサービス応用、もしくはアプリ開発を提案したいです。

Twitterだとツブヤキですし、不特定多数のタイムラインに残ってしまうため、なかなかこういう時に自分の安心・娯
楽・交流のための使い方ができなかったり自粛してしまう傾向があります。Skypeだと自分が普段交流している相手、
それも特定の相手とだけコンタクトがとれますし、インしただけで安心できたり、声をかけ、声をかけられたりできま
す（もちろん文字だけでも）。

今回の臨番停電で、いつ停電されるか不安・面倒でPCを立ち上げられず、そのためSkypeが利用できずストレスがた
まっているユーザーは知り合いだけでも相当数です。ぜひガラケー対応のSkypeサービスのご検討を宜しく願いま
す。



近藤俊彦: とりあえずキャリア様に耐震・免震構造で且つ、自家発電能力を持った基地局を建てて欲し Mar 20 ▼
いです、今回一番困ったのが震災現場に近い基地局が全滅して安否確認すら出来ない状況になったのが上げられ
ると思います、これを教訓にして基地局の更新や増設を考えるより先に地震対策をお願いしたいですね



Rkyazu@googlewave.com: そうですね、それは切に願います。提案したいです。

Mar 20 ▼



近藤俊彦: 基地局に衛星電話を常に常備しておくとかも希望ですね。イメージでは非常ボタンみたいにガラスでカバーされてて破れば受話器があるって感じですね。そうすれば非常時でも使えていいと思いますね空さえ開けてれば使えますから



Rkyazu@googlewave.com: 基地局を強固にした上での衛星電話、さらに災害時用の備蓄やこの枠の上で提案した災害用PC（動画配信）・発電キットを収納しておく、とても頼りになりますね！！こんな感じの。

- ・耐久性の強い、長時間駆動のポータブルPC（WEBカメラ、IEEE1394搭載）↓タフブックいいですね！ぜひこれを機にバージョンアップして頂きたい。
- ・各携帯回線に切り替え可能なUSBモバイル端末（生きている回線を選択可能）...つまりこの場合はキット収納先の基地局の端末でOK。
- ・ワンセグ送受信（エリア配信可能）を可能にするPCシステムとポータブルアンテナ
- ・Ustream等生配信できるサービスにワンボタンで接続・配信開始できるソフト
- ・自転車・手回しで充電できるキット

近藤さんの提案素晴らしいと思います。



近藤俊彦: 災害用PCでしたらパナソニックさんのタフブックなんてもってこいですねそこに内蔵カメラ（内側・外側）付いていたらいいですね

Mar 20 ▼



近藤俊彦: 基地局の横にEDV-01付いてたら良いんですね <http://www.daiwalease.co.jp/EDV-01.html>

Mar 20 ▼



Rkyazu@googlewave.com: これは完璧すぎますね！！情報の大切さが今回痛いほど理解されたでしょうから、基地局無敵化の際とても必要だと思います。

Mar 20 ▼



近藤俊彦: 『生活の安全は基地局から』っていうキャッチフレーズ使えると思うんですよ

Mar 20 ▼



Rkyazu@googlewave.com: 素晴らしいキャッチフレーズ！！説得力と浸透性ありますね。

Mar 20 ▼



近藤俊彦: キャリアが物理的に頑張れるのってそんな感じだと思うんですよ

Mar 20 ▼



Rkyazu@googlewave.com: 確かに。この件祖母にも話しましたが大賛同でした。絶対に崩れない基地局とEDV-01、及び通信機器のセットは国民の理解を得られるのではと思います。実現してほしいです。

Mar 20 ▼



Rkyazu@googlewave.com: [アイデア]Nintendo DSのすれちがい通信を活かした被災地向け・及び被災者復興支援サービス

Mar 20 ▼

下のDS寄付のところで横から提案したらご賛同頂きましたので、改めて。
ソフトとしてはDaisukeさんが書きこんでくれましたが、

DSが情報端末としてケータイやPCよりも敷居が低いなら、以下のソフトを使うと、被災地での広報活動に使えるそうです。

<http://www.nintendo.co.jp/ds/dsiware/kg3j/what/index.html>

- ・DSi用の無料ソフト
- ・写真や音声、手書きのコンテンツを作れる
- ・DSダウンロードプレイで、作ったコンテンツを閲覧ソフトごとばらまける
- ・ネット接続は（このソフトのインストールさえ済ませれば）不要

上記が活かせそうです。

僕がDSユーザーでないで今聞いたりしながら色々考えているところですが、皆様からのご意見ぜひお願いします！！



中村比加児: 私もすれ違い通信を考えていました。

Mar 20 ▼

避難所などで緊急に必要な物資を提供して欲しい・または提供できるという方がすれちがい通信を使えば、円滑なやり取りが出来るのではないかと思います。

- ・どれくらい持っているか（どれくらい欲しいか）
- ・いつ受け渡しができるか
- ・どこで受け渡すか
- ・提供者（または受給者）の服装や髪型など目印

をDSを使うことで手軽に行えれば、避難所内での混雑が避けられると考えます。



Rkyaizu@googlewave.com: ありがとうございます！！それは素晴らしい使い方ですね！管 Mar 20 ▼

理側（情報受け取り側）と発信側の明確な線引きができれば相当有効な使い方・発展ができると思います。期待です。



Rkyaizu@googlewave.com: 節電は長期的なものになると思うの Mar 20 ▼

Mar 20 ▼

で、<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+ilM6EJJC/~conv+root/b+PZ8K-jU7E> でも書いたような電力管理・節電呼び掛けソフトを無料配信して使ってもらい、すれちがい通信でお互いの節電度が分かったり、全国ランキングしたり、そうしたDSと、おもちゃと連動した取り組みもあっていいんじゃないかと思いました。ご検討ください。



Rkyaizu@googlewave.com: 例えば沖縄の人からのメッセージが人伝いに伝わって、北海道の人に届 Mar 20 ▼

Mar 20 ▼

いたら感動的だと思いますか？
情報が距離を問わず直に届く今日こそ、そういう人と人の繋がりがわかるものが支えになると感じます。

DSのすれちがい通信とDaisukeさんの書き込みをつなげて、被災地へ励ましのメッセージが届く伝言ゲーム、被災地からのありがとうが返ってくる伝言ゲームを提案致します。実現化へ向け、ご検討ください。



Rkyaizu@googlewave.com: こういう開発者・技術者のアイデアをディスカッションするネットワークを Mar 20 ▼

Mar 20 ▼

随時行っていく提案をします。
規模は今回ほどじゃなくてもいいのですが、このように随時提案をし交流をかわしていくのはとても貴重と思います。支部別や、ワークショップのようにテーブル分けしても構いませんので、特定の現在名のある方がグループリーダーとなって、登録者とのディスカッションを行いアイデアを具体化して上げていく、というのは今後必要なのでは。Waveはぶっちゃけ見づらいたすが、リアルタイム+リンクという点では優秀ですね。

自分からアイデアをメールしたりするのは大変、という層はいます。今回も僕の案の中で二点ほどは、自分からの参加は難しいけど代理でお願いできれば...という方からのものでした。こういう機会があれば、本当に「皆」からの優れた発想が集まると思います。また、ディスカッションすることで自分の頭の中の知恵の幅が広がっていくことを実感します。

ぜひご検討ください。



Rkyaizu@googlewave.com: 僕の連絡先は Twitter: rkmanga Facebook: Daiki Tezuka Skype: Mar 20 ▼

Mar 20 ▼

doraemon1192296 になります。今後こういった案件の交流がしたい方はぜひコンタクトしてください。
みんなに必要なサービスをつくっていきましょう。



Takao Funami: [作った]パーソンファインダー名簿画像未入力写真検索

Mar 20 ▼

<http://rss.rmixon.jp/pf/>

Gooleボランティアのページにて呼びかけているパーソンファインダーに画像からデータを入力するとき、PF開始またはPF完了しているかどうかを探すためのページです

詳細:東日本巨大地震 - ボランティア -

http://www.google.co.jp/intl/ja/crisisresponse/japanquake2011_volunteer2.html

掲載されている写真について、"PF"と"登録","開始","完了"という文字が含まれないページの一覧になります。入力作業の前に「PF 開始」、完了後に「PF 完了」というコメントを残すルールですが、"PF開始"または"PF完了"以外のコメント以外のバリエーションもあるので、正規表現（"/[PP][FF].*(完了|開始|登録|終了)/"）で比較的ゆるく絞り込んでいます。すでに完了しているページがリストされることもあります。また、名簿ではない、案内表示や連絡も含まれています。



Soichirooooo5 soichirooooo5: 非常時だけでも、GoogleMapのリアルタイムな更新がもし可能であれば、 Mar 20 ▼
画像から助けを求めている人を皆で探せると良いなと。そうすると、日本語が分からなくても、現地にいけなくても、ネットが使えるひと同士が協力して人助けができるなと思います。

ネットも電気も無くても、地上絵・文字で通信できるようなイメージで。



Rkyaizu@googlewave.com: [アイディア] 救援物資の必要量などを Google Maps などの地図上で一元管理。 Mar 20 ▼

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/-/conv+root/b+70Ed-oxRH>

現時点での実態把握が課題。読むのは全員が読めるとして誰が情報を書き込む？情報の混乱。通信キャリアからのリアルタイム情報。アマチュア無線の効果は？被災地からのみしか書けなくすれば絞れるかも。

この書き込み側の制限・権限をハッキリさせれば、Googleも要検討として取り扱ってくれると思います。よければお知恵をお貸しください。



Soichirooooo5 soichirooooo5: そこは確かに難しいですね。少なくとも、twitterで「pray for Mar 20 ▼
japan」とRTしてくれるような人の善意と時間を貸してもらえたらな～と思っています。
それプラス、youtubeのように、ユーザ同士がお互いに投稿内容を評価する、といった程度ですね。

なので、twitterやfacebookアカウントでのログインにするだけで良いと思います。



Rkyaizu@googlewave.com: 投稿内容の評価、いいね！ボタン等の結果による信頼証明やソートはと Mar 20 ▼
ても良い案だと思います。GoogleMap等にも取り入れてほしいですね。



ToM: 東京電力の計画停電情報ページがアクセスが多すぎて見づらくなったような状況を自動的に回避する方 Mar 20 ▼
法はないでしょうか？



Rkyaizu@googlewave.com: 単純な負荷分散システムの導入（東電・自治体等と同じテーブルについ Mar 20 ▼
てもらう必要があります）、ミラーリング以外に、
上（[Hack For Japan \(hack4jp\) 2日目 Wave](#)）で書いた各自治体とボランティアのクラウド連携案はいかがでしょうか。



Yuichi Yoshida: 私が作ったわけじゃないですが、<http://rcdn.info/> こういうCDN経由のサービスがあります Mar 20 ▼
る > ToMさん



ToM: なるほど。とすると、各検索サービス会社が、検索結果を表示する際に、上記CDNなどにリダ Mar 20 ▼
イレクトするような切り替えを自動的に(トラフィックが非常に多くなったときに)実施してくれれば良いのでしょうか。国内ならyahooとかgoogleとかgooとかが対応すればかなりのトラフィックがCDN経由になり、例えば東電とかのエンジニアがトラフィックをさばくことに労力を割く必要がなくなりますね。



Yuichi Yoshida: 言い出したのは僕で実装したのは他人なので、なんとも言えないんですが、最初の Mar 20 ▼
アイデアはTwitterに張られたリンクへのアクセスが多すぎて、だめだから、短縮すると同時にキャッシュすればいいんじゃない？というのが元アイデアでした。



Yuichi Yoshida: イエス、そういう感じです>ToM Mar 20 ▼



Takimoto Shinya: 本格的にやるなら東京電力側がホスト名をCDN側に割り当ててあげることがいい
かもしれませんね Mar 20 ▼

いちよ無料で協力するといろいろなところが言ってますね。
http://cloud.watch.impress.co.jp/docs/news/20110316_433055.html



ToM: 「ちゃんと」やるならDNSをCDNに書き換えるのが適切というのは分かるのですが、今時のほとんどのユーザは検索エンジン経由ですし、トラフィックが大量に流れこんでいる側は、特に災害時などはそれどころではない(社内稟議とかやってる場合じゃないとか)ので。



Takimoto Shinya: たしかにGoogle側で「自動的に(トラフィックが非常に多くなったときに)実施」を判断できるのであればいいかもしれませんね！ Mar 20 ▼

検索結果先のトラフィックが多くなったときというのをどうやって計測するのがいいのかと考えましたがよくよく考えると、なんかgoogleはそのサイトにユーザが行ったかどうかを把握しているのかなあと思ったので検索サイト側が勝手に実施するのはいいかもしれませんね



ToM: CDNへリンクでもいいですし、検索サービス自身が保持しているキャッシュをユーザに見せてもよいですね。今回はPDFでの情報公開が多かったので、HTML以外もキャッシュできる必要がありますね。 Mar 20 ▼



Takimoto Shinya: ただお問い合わせ部分はCDN経由にしないなど細かい調整は必要でしょうね Mar 20 ▼



Takimoto Shinya: <http://cache.iijgio.com/> IIJとかもやってますね Mar 20 ▼



Toshiyuki hanaoka: もう少し時間がたった後の話になりますが、被災によりIDを失った方々が日常に戻るための本人確認を手助けすることはできないでしょうか？
各サービス会社への問い合わせを一括化するとか、一般的な手続きのまとめを提供するとか。



Montego-blue: [\[アイデア\]](#)
復興、被災支援の公的情報掲載カレンダーとアラーム同期 Mar 20 ▼

公共情報を一元管理し、かつ個人の行動を管理できるツール。

今後の復興に関してエリアを規定して、
配給や入浴といった予定をグーグルカレンダーで共有する（公的なオフィシャルとして随時配信）
そのカレンダーをベースに、各自予定などを書き込める。

あと、携帯のアラームって面倒なんで、かんたんに複数設定の出来るアラームも連動できればいいのではと思います

たとえば、作業してて、設定をしていた給水の時間がくるとお知らせ。
といったこまかな時報を教えてくれる。

背景：復興していくと張り紙などで色々な物が公知されるが、それをオンラインで管理していく。
場所が離れていても、統一のとれた情報を一元管理することが出来る。



ToM: 被災地、被災地以外の首都圏などの「買いだめ」を国がコントロールできるように、上記カレンダーに組み合わせて「配給」(整理券?)を、配り、(店側が)チェックして販売するような仕組みを組み合わせるのはどうでしょうか？ Mar 20 ▼



Montego-blue: そうですね。いま現在、色々な物資が配給されて始めているようですが、地域に差が生じているという報道もあるようです。
ネットワーク上での情報と実際の紙媒体の連携が取れるととてもよいと私も思いました。



Rkyaizu@googlewave.com: ユーザー（我々購入者側）ではなく、商店側の情報共有に勧められるサービスは提供できないでしょうか。地域別で、コンビニや一商店、大手デパートやスーパーが連携して、在庫管理や買いだめ等の対策の話し合いが行えるものです。この機なら協力して頂けると思うのですが、いかがでしょう。自治体や地域ボランティアも参加できると良いかもしれません。

やはりメーリングリストが現実的かなとは思いますが、上記のようなサービスと連携できるといいかもと思います。



Montego-blue: メーリングリストは現実的で即効性ありますよね。
双方向でのコミュニケーションの場合、どこかに現状が一覧して把握できる仕組みがあると、色々な方が理解しやすいことも有ると思います。
メーリングリスト上でのコミュニケーションもスムーズに行くかなとも思います。



Me: 自治体などがGoogleカレンダーに情報を記載して、それを共有するというような感じですか



Montego-blue: そうですね。管理する“仕組みがある”という前提で考えています。地方自治体といった元締めが各自治体と連携して情報を流すことで、それぞれの地域で“何がおこっていて”“今後何が必要か”が双方向で解ると思いました。

これらの情報をもとに各地域で活動をしていく人たちのために貢献できるのではと思いました。

地方自治体>>地域>>個人 というレベルでそれぞれの行動スケジュールをたてることが出来るのではないのでしょうか。



Montego-blue: 現在よく使われているアイテムをベースに利用することで、即効性につながるとおもいます。



Takeshi Kamio: [アイデア]名前やニックネームなどTwitter/Facebook/Skypeのアカウントに使われてそうな文字列で検索して、その人宛にメッセージを送る仕組みって作れないでしょうか。
携帯使えない、個人で端末持っていない、そのサービスのアカウントを持ってない、という時でも連絡できる（できそうになる）仕組み。

例えば、

- ・携帯使えない被災地の人 ⇒ 他の地域に住む家族への消息情報を送れる。
- ・親戚なんだけど、連絡したい人の電話番号とかメールアドレス知らないとか。

サービス側で用意したTwitterやFacebookの共通アカウントが相手のアカウントへメッセージを送る、みたいな感じ。

Skypeは分からないですけど、TwitterとFacebookのAPIを使えば出来そうな気がします。

<注意点>

間違い含めたスパムっぽいのが出る可能性はありますね。。。



Rkyaizu@googlewave.com: タイプは異なると思いますが、1つのサービスで（非公開アカウントでもいいので）Twitter、Skype、Facebookのアカウントが簡単に登録・操作ができるといいと思います。
今回の情報入手・安否確認・連絡手段で最も生きて役に立ったのは上記サービスでした。ですが登録していた・登録できる人が限られてしまい、例えばうちの親などはアカウントを用意してもまだITアレルギーで使っておりません。
上記サービスの強固なサーバー・通信環境を利用しつつ、限りなく登録・操作しやすいサービスの追求をしてみませんか？



Kenji matsuoka: パーソンファインダーは実名だけでなくTwitterIDやmixi IDで検索できるようにするといいと思います Mar 20 ▼



Yuri: あと、誰から検索されているかが分かった方がイイかもしれないですね。 Mar 20 ▼



Rkyaizu@googlewave.com: 1ボタンで足あとの的なものが残せるといいですね。 Mar 20 ▼



Adamrocker :: ooさんがあなたを探しています。とかいうメールが来ると「私は元気です」ってスグに返信して上げられて不安な時間が少なくてよいかも... Mar 20 ▼



荒川 正義: 『空き家の提供と住む場所に困っている方々のマッチングサービス』 Mar 20 ▼

現在の被災者を助ける方法として、物資を送っていますが、
原発が止まり、おそらく数年は電力不足が見込まれる50Hz電力地域で復興していくのは大変だと思います。
そこで、人が動かない、物を動かすという対策ではなく、
人を動かす対策がいいのではないのでしょうか？

具体的には、
現在、人の住んでいない空き家はかなりあります。
全国平均で**13%**、多い都道府県では**20%**近くあります。
なので、被災地に仮設住宅を建てるのではなく、
各地方の空き家を被災者に提供していくのがいいのではないかと思います。
電力問題のない60Hz地域で無償で空き家を提供してくれる方と、
住む家がない方々とをマッチングサービスを提案します。

これには、
仮設住宅を建てたとしても、働く場がない状態が想定されますので、
結局被災者を救うことにはならないことを回避できます。
また、被災者を空き家に住んでもらい、そこでなんらかの雇用の便宜を各地方に働きかけてもらうことにより、
被災者を実質的に助けることに繋がると思います。

もしかしたら、そのことで今まで住んでいた地域から離れてしまうかもしれませんが、
津波の被害を受けた地域では、また同様の津波の被害が来ることも想定されます。
ですので、高台に引っ越す、あるいは以上のマッチングシステムで移住先を見つけることが、
被災から立ち直るには必要かと思います。



Rkyaizu@googlewave.com: 受け入れ先に相応しい地方があるにも関わらず、意識の低さから受け入れを開始していない自治体は多々あります。（うちもそうです）
マッチングサービスの際、既に受け入れを表明している場所以外に、荒川さんの空き家・空き地案もそうですが、こちらから提案できる、相手側が確実に同じテーブルに立つ、そういったことが可能なものを提案したいです。
土地だけではなく、例えば日本郵船や商船三井への豪華客船の一時提供もマッチングサイトからの提案で行いたいものです。（あれは海上マンションレベルです） Mar 20 ▼



Tatsuya Miyoshi: 住居以外にも雇用も気になります。特に今まで数十年その土地で農業や漁業をしてきた方等、他の職種に就くことは困難な場合もあると思います。
住居探しは仕事探しとセットで考えた方がいい気がします。 Mar 20 ▼



荒川 正義: そうですね。
今までと同じ仕事に就けばいいですが、
おそらく、大半の方は職種を変えなければならないかと思います。
今までの職種が漁業や農業の場合には、元の仕事に戻るのが最善でないかもしれません。 Mar 20 ▼

北欧のように、再教育・再訓練し、産業構造の転換に結びつけるようにするのがよいかと思います。



Rkyaizu@googlewave.com: 例えば、同じ職種につける＝企業の協力が必要 ですから。

Mar 20 ▼

企業の寮に住んでいる人に一時退去してもらい（一時的引越し費用は企業・自治体が助成）、そこに被災者が移り住んでもらう、そしてその企業で正職員ではなくとも、収入が補償される仕事をする、というのはありかもしれません。

このマッチングを企業と連携してやってみたいですね。農家・



Tatsuya Miyoshi: 今、ぱっと思いついただけですが、被災者向けマイクロファイナンスみたいなもの Mar 20 ▼
があるのでしょうか？

新しい土地で農業を再開したり、船を買って漁業を再開したり。その促進サイトを作れば役にたつのでは。



Rkyaizu@googlewave.com: いいと思います。今こそその仲介・斡旋・コンサルティングが活躍しど Mar 20 ▼
きですね。



Nishimura Kazuhiko: 津波で農地を失った農家の方も多数いると思います。復興フェーズでの話だと Mar 20 ▼
と思いますが、こうした土地を改良するためにどうすればいいか、専門家の意見をまとめた情報サイトもあるとい
いかもかもしれません。



Tatsuya Miyoshi: 仙台に住んでいる知人女性から治安が急に悪くなり、夜は女性一人では外を出歩けないと Mar 20 ▼
聞きました。

海外ではtwitter情報や犯罪データから危険な道を判断し、安全な道をガイドするアプリケーションがあります。

<http://www.appsfordemocracy.org/stumble-safely/>

これはワシントンの市民アプリコンテストで応募された作品です。

日本でも同じようなアプリケーションがあるとよいと思います。



Rkyaizu@googlewave.com: この間活躍しているサービスを見ていると、日本の場合新たなサービス Mar 20 ▼
が状況別に使われるより、Tatsuyaさんの案のようなものはGoogleMapなどと連携できれば近道かと感じます。
自分の場合、各ユーザー権限の書き込みより「信頼でき・優先的になる」自治体・ボランティア権限のアカウント及び
書き込みができると良いかと思いました。

昨日その件でディスカッションを行いましたので、ぜひそちらも御覧ください。

「安心出来る道」という視点はとても良いと思います。

[アイディア] 救援物資の必要量などを Google Maps などの地図上で一元管理。

<https://wave.google.com/wave/waveref/googlewave.com/w+nMqw8yksD/-/conv+root/b+70Ed-oxRH>

現時点での実態把握が課題。読むのは全員が読めるとして誰が情報を書き込む？情報の混乱。通信キャリアからのリアルタイム情報。アマ
チュア無線の効果は？被災地からのみしか書けなくすれば絞れるかも。



Tatsuya Miyoshi: なるほど。昨日の議論でtwitterやメールでデマが広がった問題も取り上げられまし Mar 20 ▼
た。

信頼性は重要なキーワードだと思います。自治体書き込む、または管理人が裏を取って信頼度を表示するような仕組
みは必要だと私も感じます。



Makoto_inoue@infoseek.jp inoue:

Mar 21 ▼



佐々木 陽: 福島会津からですが、福島原発の影響で、かなり不安な感じです。

Mar 20 ▼

近々こまっている事は

- ガソリンがない
 - 移動できない
 - どこまでいけば給油できるかがわからない

避難先がどこもいっぱい

- 避難所があふれて、いろいろな物品が不足
- 放射性物質が怖い
 - 福島県の発表データは1時間毎に公表されるようになったが、多分みている人ほとんどいないはず
- 水道水が飲めるのかどうか
 - 川俣町の水道水で規定値を大幅に上回るヨウ素が検出
- 何が危険で、何が安全か
 - 公開データでは、いつも安全というけど、福島は今何が危険かが知りたい

などなどでしょうか。今は、

「とにかくガソリンをくれ」

です。

それともう1つ。

避難所に関してなんですが、有料の宿泊施設は避難所マップへ掲載されないようです。

無料の避難所はマップに掲載され、有料の宿泊施設はマップに掲載されないので、どこの宿が今、被災者向けに宿泊施設を安く提供しているかの情報がありません。

こんな時、楽天トラベルが被災者向け宿泊特集とかやってくれるといいのですが、今支援を名乗り出ている宿泊施設は、小さなところが多いみたいで、一度ニュースで流れたあと、情報にたどり着けないという感じみたいです。



佐々木 陽: それと、避難所は、情報入手手段が、あまりない感じですね。

Mar 20 ▼

ネット端末を避難所におければ、一時避難先の住居等の検索もできるようになると思います。

全体的に、携帯、スマホともに充電できないので、電池の減りを気にしながら、携帯いじっている人が多いですね。

それと、さっき、避難所に足りないものを新潟に買い出しにいった、持っていったのですが、避難所の場所によって、足りないものが違っているようです。

会津は、大分補充され、今度はちょっとした食事やおかしなどが、今一番不足しているそうでした。おとといまでは、生理用品とミルクが不足していたとの事です。



Rkyazu@googlewave.com: [Hack For Japan \(hack4jp\) 2日目 Wave](#) で書きましたが、

Mar 20 ▼

- ・ 耐久性の強い、長時間駆動のポータブルPC (WEBカメラ、IEEE1394搭載)
- ・ 各携帯回線に切り替え可能なUSBモバイル端末 (生きている回線を選択可能)
- ・ ワンセグ送受信 (エリア配信可能) を可能にするPCシステムとポータブルアンテナ
- ・ Ustream等生配信できるサービスにワンボタンで接続・配信開始できるソフト
- ・ 自転車・手回しで充電できるキット

は各自治体に必須のもだと佐々木さんの意見を見て改めて思いました。もはや電話とメールの時代ではないですね。情報は生命線です。



佐々木 陽: UStreamは貴重な情報源な気がします。

Mar 20 ▼

私もTVないので、UStreamだけが、映像の情報源です。

YouTubeはみないですね。今欲しいのは過去の情報よりも、今リアルタイムな情報。

特に原発はリアルタイムで事が変化しているので、そういった情報が伝わるシステムがあるといいですね。



佐々木 陽: そうだと思います!

Mar 20 ▼

避難所にいる人の情報アクセスへの環境は相当劣悪です。

福島のほとんどの避難所はネット環境ないと思います。

したがって、TVがただ一つの情報源。

これから、被災者向けの住宅など、他県で提供が始まっていますが、今は被災している人にはまったくリーチしていないと思います。

端末をおくのも手ですが、端末とプリンターをおくのも手です。ポータルサイトで収集したデータをその場で紙データとして印刷して、被災者に配るとか。

若い人は、自分で独自に動けますが、ある程度の年齢を超えたレイヤーは、情報難民になりつつあると思います。



佐々木 陽: おばさんたちは、チェーンメールを見て、避難とかしてますからね...(^^; 嘘のような本当の話です。

Mar 20 ▼



Mito: 被災者向けにメッセージを贈り、それをセブンイレブンのネットプリントで印刷、ってアイデアが出ています。

Mar 20 ▼

それに近い仕組み、個別ではなく「みんなに向けたもの」を贈り、それを現場のプリンタで大量印刷して配る、とかはあるかもしれないです。



佐々木 陽: そのアイディアいいと思います!

Mar 20 ▼

紙じゃないと情報処理できない人が、被災書の50%以上とってもらっていいと思います。



Yuya Kusakabe: 地方だとコンビニが少ないので、FAXも使えるとなおいいかと思えます。FAXを送りまくるとテロっぽいですが。

Mar 20 ▼



佐々木 陽: そうですね。コンビニはエリアにもよるのですが、結構距離があるエリアもありますね。

Mar 20 ▼

避難所にFAXで、情報伝達というのはあります。



佐々木 陽: そうそう、今思い出したのですが、

Mar 20 ▼

今避難所にいる50歳以上の人、携帯電話のドメイン拒否設定が有効になっている可能性があります。

なので、PCからはケータイメールしても届かないのです。

うちの親は、あんの上、ドメイン拒否を解除していないので、メール届かないです。多分、非常におおくの人がそうなのではと。

私は、ケータイもってないので、メールおくっても送信できないんですよ。とりあえず、避難所のドメイン拒否を全部解除してくれると、情報伝達楽になるんですがね。



Rkyazu@googlewave.com: 19日のメーリングリストのディスカッションでもそのドメイン拒否の問題が出ていましたね・・・。

Mar 20 ▼

これは行政とキャリアが同じテーブルについて解決に動くよう、今回のディスカッションからでも迅速に提案したい事項です。

これが解決されないと何やっても無駄になりますから。



佐々木 陽: そうですね。これはすぐ解決しないと、送ったのに届いてなかったというのを1週間後に知る事になります。

Mar 20 ▼

SMTPには、エラーメッセージがかえってくるのですが、GMailにはかえってこないみたいです(私の環境ではスパムにひっかかったという可能性はありますが)

ケータイ-ケータイ o

PC-ケータイ x

というのをなんとか解消できないとですね。



Musashimon@googlewave.com: モデレータのほうで、子ども向け読み聞かせ昔話、童話コンテンツをとという話もありましたが、これでも解決できそうな気がします。 Mar 20 ▼



Rkyazu@googlewave.com: 冗談抜きに伝書鳩をフル活用する時代が来たような。 Mar 20 ▼
伝書鳩と連動したサービスってありましたっけ。某映画で旧式無線が活躍したように、こうした超アナログ手段とITの連携も求められる気がします。



萩原崇之: そういえば確かgoogleは鳩をインデクシングに使用していると聞いたことが Mar 20 ▼
あるようなないようなw(※ 以前のエイプリルフールのネタです)



佐々木 陽: そう思います! Mar 20 ▼
ITリテラシーが高い人は、自分で解決できるので、あまり困っていないと思います。
ITリテラシーが低い人に、いかに情報を伝えるか、情報を吸い上げられるかが重要だと思います。



Issei KOMATSU: Mar 20 ▼



Shigenori kamata: 被災地からのご報告、こちら側の情報が足りていないなか、ありがとうございます。ガ Mar 20 ▼
ソリン情報などに関しては、ぱっと思いつくのは以下のサイトとAPIですね。

- gogo.gs
- [上記サイトのデータを引くAPI](#)

あと、ヤフーが被災地別のサイトもやっています。

[地域別震災関連情報](#)



佐々木 陽: 上記からガソリンスタンドの場所を特定できますよね。 Mar 20 ▼

ちなみにどんな状況かというと

- 会津若松
 - ガソリンスタンドに300台が並んで給油(10リッター制限?)
- 福島市
 - ガソリンスタンドに300台が並んで給油(6リッター制限)
- 磐城
 - 本日出荷、22日も入荷予定

ちなみに福島でかいです。

会津若松から磐城にいくと100km

会津若松から福島にいくと80km

とにかく移動距離が多いので、給油ができないと、隣町にも移動できないという感じです。

会津から新潟に抜けるのも80kmぐらいです。

さらに状況を悪化させているのが高速が許可証をもった車以外、使えないという事です。

避難車はいちを高速を通れるらしいのですが、警察官がPAIにいるので、避難車は申請し許可がないと高速には入れません。

磐城から会津まで車で移動する場合、高速なら1時間10分、下道では今の道路状況だと3時間程度。

これにより避難がよりいっそう困難になっているというのが現状です。



Yutaka Sato: [アイディア]乗合を奨励するようなシステムは作れないでしょうか。 Mar 20 ▼
限られた燃料の中で、1人1台のような地域はガソリン不足になりやすいと思います。

東京でも数十台並んで、数リッターを給油していくようなスタンドが沢山あります。
アイドリングによって消費されるガソリン量も考えると、
こういう時こそコミュニティの力が発揮されて欲しいと思いました。



佐々木 陽: それはいいと思います!
避難者の乗り合いシステムは、ありだと思います。

Mar 20 ▼



Shigenori kamata: 相乗りにプラスして、ガソリンスタンド間の距離を測って、ガソリンの移動可能距離も含めると良いかもしれませんね。

Mar 20 ▼



佐々木 陽: そうですね。会津から60km程度移動すると、ガソリンスタンドが平常運転になるんですよ。

Mar 20 ▼

高速が通行止めのエリアのガソリンスタンドが枯渇しているので、ここまでくれば、ガソリン補充できるてきな情報は、今一番ほしいかもです。



Yuya Kusakabe: 相乗りするサービスと聞いてタクトモを思い出したので、参考までに貼っておきます。 <http://pc.takutomo.com/>

Mar 20 ▼



佐々木 陽: これいいですね!

Mar 20 ▼

タクシーは、ガスなので、実は燃料余裕らしいです。
行政関係の人が後押しして、車無い人向けには相乗りタクシー避難というのはありかもしれないです。



Yuya Kusakabe: そういえばタクシーはガスでしたね! 関東は企業が自宅待機などをしている、タクシー需要も減っていきそうなので、タクシーも被災地に派遣して避難に使えばいいかもしれませんね。

Mar 20 ▼



Mito: もしかして、タクシーチケットの寄付を募るとかって、結構有効な手だったりするかもしれないですね。
ガソリンの輸送が結構時間も労力もかかりそうですし。

Mar 20 ▼



佐々木 陽: あ、たしかに。そんなアイディアも。
現実的な話、すべてボランティアでタクシーをとっても、地方零細のタクシー会社がそんな事すれば、すぐ倒産です。

Mar 20 ▼

こういう場合、自治体がタクシー会社に依頼をだし、自治体のお金で運行するという手があるのですが、お金がなくて、保留になる事が多いようです。

政府が、お金は国にまかせるとしてくれると、無料の宿泊施設や、無料の運送手段など増えると思うのですが、今の感じではそうはならなそうです。

タクシーチケットに限らず、宿泊施設のチケットの寄付や、温泉のチケットの寄付などなど、非常に有用な手段な感じがします。



Satoshi: 都内のタクシー会社の人に聞いたところ、個人タクシー以外のタクシーはLPガスで燃料は豊富にあるそうです。相乗りサービスの件は、被災地域での話でしょうか?

Mar 20 ▼



Yuya Kusakabe: 被災地域でガソリンが不足しており、避難ができないということで、相乗りをすればいいのではというのが、始まりだと思います。しかし、東京でもガソリンは不足しているので、どこでも相乗りした方がいいのではないかと思います。

Mar 20 ▼



Kentaro YOSHIMURA: 被災地域での再建においても、相乗りサービスは有効だと思います。北関東で来週から片づけ・点検を再開しようとしている工場・事業所でも、従業員がガソリンを確保できずに出勤できないという状況が発生しそうです。

Mar 20 ▼



Shuhei.kagawa@googlewave.com: 相乗りサービス、いいですね! 携帯アプリで現在地と行

Mar 20 ▼



き先を共有するようなイメージでしょうか。

アメリカの大都市で展開している **Uber** というタクシーサービスでは、**iPhone/Android** アプリで近くにいる車を地図上で確認してから呼ぶことができます。各車も **iPhone** アプリで位置情報の更新や会社との連絡を行っています。

www.uber.com

このような仕組みを応用して相乗りマッチングサービスを作れないですかね。



Yuya Kusakabe: タクトモの人に聞いたのですが、ドイツでは相乗りが当たり前らしいです。 Mar 20 ▼
日本もそうなるといいと思います。

Uberいいですね。どこでもタクシーを呼べるような感じでしょうか。



Shuhei.kagawa@googlewave.com: そうですね。それから位置情報を使うので一番近くにいるタクシーを呼べるのがメリットです。今回は関係ないかもしれませんが、**iPhone** アプリで呼ぶとその場では支払いをする必要がありません。登録されているアカウントのクレジットカードに後で請求されるためです。 Mar 20 ▼



Rkyazu@googlewave.com: すごいアナログな活動の普及（+WEBで登録・管理する）になる Mar 20 ▼
と思いますけど、

緊急時にヒッチハイクしてもいいですよマーク（シール）の普及とかってしたいですね。

安心できる、登録済みの車。もちろん災害時限定とかですが。

ドライバーさんは携帯からでも、必ず**WEB**接続できることを義務付け、どこからどこまで誰を乗せ、送る・送ったかを報告する。

個々の善意に任せたヒッチハイクは大変危険なものですが、相乗りはとても必要な交通手段。タクトモを周知させるよりも、若葉マーク・障害者マーク的なものを普及させる方が国としても推薦できる事業・サービスと思いました。

ご検討ください。



Mito: 報告を義務付けて、その代わりに税額控除とかあると普及するかもしれないです Mar 20 ▼
ね。

「あいり控除」みたいな感じで。

これなら一時的なボランティアから制度的に継続可能かもしれません。



Sho.toyoda@googlewave.com:

Mar 20 ▼



Yuya Kusakabe: たしかにマークなど制度的なものの方が国として普及させやすいですね。 Mar 20 ▼
携帯は運転中の使用が禁止されていますから、カーナビとの連携など自動車メーカーなどとの調整が必要そうですね。マークだけでは偽装できてしまいそうなので、免許の発行などわりと大きなものになりそうだと感じました。



Rkyazu@googlewave.com: そうですね、これは長期的なプランで、その分信頼できる事業・ Mar 20 ▼
サービスになってくれればと思います。

ヒッチハイク（相乗り）の必要性はこれでもかと感じたと思いますので...



Makotokanamoto19710512@googlewave.com: ツイッターでピエール瀧さんが、東京のタク Mar 21 ▼
シーが余っているので、行きは物資を運んで帰りは避難する人を連れて帰るというのをつぶやいていました。そのまとめ<http://togetter.com/li/113288>

道路運送法などの問題があるようですが、これこそ行政に対応してもらいたい。

Tomo.takahata@googlewave.com: 自転車への提案もありましたが、共有自転車サービスとかはど Mar 20 ▼



うでしょう？「被災地自転車」というシールを貼っておいて、だれでも置いてある自転車は自由に乗ってかまわないようにすれば、移動が楽だと思います。荷台をつけるのも、いいかもしれません。



Rkyaizu@googlewave.com: いいですね！それを回収してくれる業者との協力が得られれば、移動後 Mar 20 ▼
の特定場所へ乗り捨ても可能です。

(レンタサイクルの難点は帰って来なくちゃいけないことなので)
どこの管理の自転車かもシールに明示してあるといいですね。**WEB**でどこが自転車置き場か発信していればなおい。



Takao Funami: 被災者向けプラン、じゃらんで提供中です

Mar 20 ▼

じゃらんネット 被災者支援プランのご案内

<http://www.jalan.net/theme/shien/>

プラン名をフリーワードで検索してもできます

[http://www.jalan.net/uw/uwp2011/uww2011init.do?](http://www.jalan.net/uw/uwp2011/uww2011init.do?keyword=%94%ED%8D%D0&distCd=06&rootCd=7701&screenId=FWPCTOP&image1.x=31&image1.y=12)

[keyword=%94%ED%8D%D0&distCd=06&rootCd=7701&screenId=FWPCTOP&image1.x=31&image1.y=12](http://www.jalan.net/uw/uwp2011/uww2011init.do?keyword=%94%ED%8D%D0&distCd=06&rootCd=7701&screenId=FWPCTOP&image1.x=31&image1.y=12)

じゃらんには**Web**サービスがあるのですが、**API**では、被災者向けプランだけをレスポンスすることができないようです。

じゃらんの**HTML**をスレイピングとかで、地図にこめれば、よいのですが...

別途アイデアであげます



Takao Funami: 楽天トラベル

Mar 20 ▼

[http://kw.travel.rakuten.co.jp/keyword/Search.do?](http://kw.travel.rakuten.co.jp/keyword/Search.do?f_query=%94%ED%8D%D0%8E%D2&f_cd_application=&f_max=30&f_flg=&f_category=0&f_teikei=&f_area=&f_chu)

[f_query=%94%ED%8D%D0%8E%D2&f_cd_application=&f_max=30&f_flg=&f_category=0&f_teikei=&f_area=&f_chu](http://kw.travel.rakuten.co.jp/keyword/Search.do?f_query=%94%ED%8D%D0%8E%D2&f_cd_application=&f_max=30&f_flg=&f_category=0&f_teikei=&f_area=&f_chu)

でも、フリーワード(被災者) でできました。



佐々木 陽: これよいですね。

Mar 20 ▼

それと、もっと安い有料宿があって、その情報も入手できると被災者の人も助かると思います。



Takao Funami: 安いお宿さんは、じゃらんや楽天に掲載していない可能性もあるので、直接情報提供 Mar 20 ▼
いただけるような仕組みも必要ですね。



Musashimon@googlewave.com: 横槍失礼いたします。ほかのアイデアの雇用問題と重複するかも Mar 20 ▼
しませんが、長期に渡る滞在になる可能性があるのならば、滞在先での雇用情報がリンクされているとベター
かもしれません。



佐々木 陽: とにかく、先がみえない被災者向けには、

Mar 20 ▼

なにごとも、「安く」(できれば無料)というのが、一番重要だと思います。



Rkyaizu@googlewave.com: 宿や正式な受け入れ先に関わらず、無料は当然で「何泊くらいまでな Mar 20 ▼
ら・・・」というご家庭やボランティアとマッチングするサービスはあっていいと思います。そういうご家庭や

ボランティアの声は耳にしますが、なかなか登録したり発信したりまでいけない、善意が届かないのが現状です。
一時避難としてなら、例えば自分は静岡中部(今のところかなり安心です。東海地震の対策も県レベルで行っているの)
ですが、どんどん来ていただきたいというのが本音です。安心できて無料で、気持ちで支援できる一時避難先と
マッチングさせてあげたいです。

ご検討ください。



佐々木 陽: いいですね。宿泊先で、いろいろな情報を入手して、移転先や職場斡旋などでき Mar 20 ▼
れば、なお理想的ですね。



佐々木 陽: それと、東北の人は、おとなしいです。
従って、そういったマッチングサービスは、関西人に比べ、大きいと思います。

Mar 20 ▼

東北出身の人はわかると思いますが、自ら積極的にお願いする人は、ほんとうに少ないと思います。



Rkyazu@googlewave.com: そうですね、一時受け入れ先と正式な疎開先というか、移転先と
というか、そこまで連携できるサービスになれば強いと思います。お互い連絡もとって。一時受け入れ先が孤立することなく、宿がただ宿泊する場所にならず、連携して進められればと願います。東北の方々のためにも極力自動で（ここは是非お知恵をお貸しください！！）できるように。

Mar 20 ▼



荒川 正義: 『計画停電 → 計画的経済活動によるピーク電力消費の平準化サービス』

Mar 20 ▼

電力需要の25%が不足している現在、
従来と同じ生活・企業活動をおくることはできません。
今朝の日経では、火力発電所の再開・稼働率の引き上げをしたところでも、
震災前の7割程度の発電能力にしかならないと報道されています。
つまり、数年間は電力不足は日常的になるということです。
地震・津波の直接的被害を受けていない50Hz電力地域はでも、
同様に被災地であると思います。

電力不足を補うため、東京電力は計画停電を実施しましたが、かなりの混乱を招いています。
今まで通りの経済活動を行おうとした月曜日以降、
電車の運休や、従業員が出社出来ないこと、取引先が休業していること、大規模停電のおそれで急遽帰宅命令がでたこと、
など、やはり従来どおりの経済活動を行うことはできませんでした。

計画停電が実施されている地域以外は今までと同様に企業活動を出来るのであれば、
計画停電をする価値はあるかとは思いますが、今週を見る限り不可能でしょう。
つまり、
電力需要を抑えるため、強制的に停電を(非)計画的に停電を起こすのではなく、
計画的に電力消費を抑えるために、企業が計画的に企業活動を行う必要があると思います。
そのために、
個々え消費電力を抑えることは大切ですが、
重要なのが、
電力消費オーバーによるブラックアウトを回避するために、
電力の電力消費のピークを平準化することです。

木曜日はブラックアウトの恐れが高まったことにより、
なかば強制的に企業活動を停止させ、
幸いにも回避することができました。

以上の理由により、
計画停電にかわる施策として、
計画的経済活動が必要であると思います。
また、経済活動を下げないことが最大の被災地支援ではないかと思います。

サービスの概要としては、
個々の企業が経済活動を行う時間帯と消費電力を登録します。
その動向見て、各社自主的に電力消費が平準化するように再計画を行います。
それを再帰的に繰り返すことにより、結果として適切な経済活動計画が出来上がる。
それに則って経済活動を行えば、計画停電やブラックアウトを回避すること出来ると思います。

大前研一氏もライブ579で似たようなことを言っています。

<http://t.co/UdDX4Xq>

大前氏はサマータイムの導入や、週休5日制の選択制などを提案されています。

それ以外に関しても、参考になるので見ておかれると良いと思います。



Kentaro YOSHIMURA: 賛成します。企業、特に工場の生産ラインでは5日間連続での操業を確保することが重要です（設備の立ち上げ、シャットダウンに時間がかかるため）。オークションシステムを導入しても良いかもしれませんね。 Mar 20 ▼



Rkyaizu@googlewave.com: 大賛成です。 Mar 20 ▼
登録サービスに限らず、こういう時こそ企業の地域・規模・業種の垣根を超えた、まずは「電力」に関する情報交換とディスカッションができるサービス・仕組みができればと思います。



荒川 正義: そうですね、私も計画停電で通常の半分しか生産性が出ていないなど、聞いたことがあります。 Mar 20 ▼

重要なのは、トップダウンで計画され、それに揺さぶられるのではなく、ボトムアップで自社の意志を示し、それでうまく回っていくようになると思います。



Beauthentic@googlewave.com:

Mar 20 ▼



宮島一浩: [アイディア]「被災者向けの仕事マッチングサービス」

Mar 20 ▼

この後しばらく経つと、住む場所に困る方が多くなり、次にお金を稼ぐための仕事が必要になると思われます。airbnbのような空き部屋提供マッチングは他の方も提案されているようなので、それに繋げて仕事のマッチングもあるとよいのかなと思います。被災者が避難してきた地域に土地感がなければ、勤務地と避難地域をGoogle Mapで見たりとか。復興熱が風化してしまうと、仕事がなく避難所生活になれてしまって、やる気が出ない方も多いという話を、阪神淡路大震災の経験者からも聞いたりするので、継続的にサポートできる仕組みが必要かと思います。

さらにいうと、ネットで完結する仕事だと、全国どこからでもリモートで仕事を提供・雇用(?)できるので、デザインやエンジニアリングの仕事と、それをやったことがない人でもできる教育コンテンツなどがあるとよいのかなと。ゆくゆくは被災者だけでなく、誰でも使えるインフラのようになるとよいとおもいます。



Tatsuya Miyoshi: もし今回の震災で数十万人規模で仕事を失うことになれば、今の不景気な世の中 Mar 20 ▼
の民間需要とのマッチングだけでは職が足りないと懸念されます。

雇用を作るための政策を議論をするサイトを作ってもいいかと思いました。そのサイトに政治家も書き込んでもらいたいです。

日本では政府と市民が議論する場が少ないと思います。今回を機にITを使ったそのような場が作ればよいと思います。



宮島一浩: そうですね。仰るとおりです。なので被災者向けにこういったサービスを用意すること Mar 20 ▼
で、みんなの被災地向け雇用(?)の意識が高まるとよいのかなと思います。そういった議論やみんなの意識を継続的に復興に向けるサービスだとよりよいと思います。とにかく、復興熱の風化は防ぎたいですね。

政治家を巻き込む案は素晴らしいですね。公共事業や法令なども合わせて改善される余地があれば、ますますみんなの意識・注目も集まりそうです。なんか日本変わった感が出るといいんですが。何が必要ですかね?議論の場としてのサイトだけでは足りないような気もしてきました。



Rkyaizu@googlewave.com: 漁業従事者の被災者向けに、他の安全で漁獲高の高い地域での避難及 Mar 20 ▼
び就労支援をしてあげたいのですが、いかんせん意識の低い地域の漁協関連は「おらが漁業権」の意識が強いです。農業はそこまで強くないですが、JAがどう動かなーと。
サラリーマン・アルバイト的な就労支援も大事ですが、今回地方が大打撃を受けているので漁業・農業は従事者の方々のマッチングサービスが実現できないかと願うものです。



Makotokanamoto19710512@googlewave.com: 工業やサービス業ならば、社宅付きの仕事が良いと Mar 21 ▼
思います。

農業などで、荒れた田んぼが日本中にあると聞いています。野菜や果物、畜産などの転用の仕事を被災されたみなさん
にお願いするのが良いのでは？恐らく、たくさんの農家のかたが被災されていると思うので。



Issei KOMATSU:

Mar 20 ▼



Shumpei Shiraishi: [アイディア] 安全地帯にいる人が「支援できること」と、被災地にいる人が「支援して ほしいこと」の、マッチングができるシステム

Mar 20 ▼

についてなのですが、とある人と「こう言うの作りたいね」とちょうど話していたところなので、手をつけ始めています。
今日中にオープンソース化しますので、手が空いている人手伝えてくださいm(_ _)m

支援対象は、ITジョブに絞ります。

マイクロボランティアの手法を使って、ボランティア側の負担を容易にします。

<http://gendai.ismedia.jp/articles/-/844>



Adamrocker :: これイイですね！「支援してほしい」ことに「いいね」ボタンを付けてカウントアップして要望の強さを表示すると良いかと。と同時に、弱い要望が消えてしまうのも懸念なので良いアイデアでうまく回避したいですね。是非つだいたいです。

Mar 20 ▼



Shumpei Shiraishi: おー、それいいアイデアですね。ぜひやりましょう！あと、ボランティアミッションを細かく、誰にでもできるタスクに分割できるといいかな、と思って、ミッションに親子関係を持たせるとか考えてます。

Mar 20 ▼



Adamrocker :: タスクが終わったからと言って、別の人がそれを欲することもありそうですね。ちょっと違う味付けが必要とか…。そう言う意味ではミッションはコンプリートしないのですよね。どうハンドリングするのか。あと、支援Xを要求する人は支援Yも要求するなどの関連が見えて来ると、新たに支援Xを要求する人が出たときに支援Yも必要ないですか？とレコメンもできますね。緊急性の高い支援を事前に準備できれば、即時対応が可能になるかも。。。

Mar 20 ▼



Rkyaizu@googlewave.com: 今回ツイッター募集の在宅ボランティアに参加しているのですが、ミッションが他の参加者とかぶってしまい、自分がやろうと思ったら既に誰かがやった後だったり、変な話早い者勝ちみたいな状態で、なかなか交通整理や役割分担がうまくいっていないように思います。やる方も「あなたにはこれ！絶対頼むわ！」と言われた方が意識が高まります。ぜひその辺を汲んで頂けると利用・参加しやすいものになると思います。ご検討ください。

Mar 20 ▼



Adamrocker :: 「実施中：メンバー3人」「未実施」などあると良いですね。

Mar 20 ▼



Rkyaizu@googlewave.com: それいいですね！ちょっとTwitterボランティアの方にも提案してみようと思います。

Mar 20 ▼



Adamrocker :: いいですね！ボランティア支援団体と組めれば強いかも。このサービスを当事者に使ってもらうには普及活動も必要ですし、そこはボランティアで現地に行かれている方が強いのではないかと。もちろんボランティアスタッフを助ける「支援」もありですね。

Mar 20 ▼



Shumpei Shiraishi: 御意見ありがとうございます！多分、Yahoo!ボランティアとかを参考にしてみるのと、必要な仕様がいろいろ見えてくるんじゃないかと思います。<http://volunteer.yahoo.co.jp/> ばくも、こちらを参考にしながらいろいろコーディングしております。

Mar 20 ▼



Adamrocker :: 情報ありがとうございます。見てみました。かなり参考になりそうですね。個人の要望を吸い上げるボトムアップ形式でYahoo!ボランティアで拾いきれない部分をカバーできる可能性がありますね。気になっているのは、やはり、要望が埋もれてしまうことです。大勢が必要なくても個人がスゴく必要な支援というのもサポートできるとイイですね。

Mar 20 ▼



Tomo.takahata@googlewave.com: ボランティアをしようと思ってググってみると、いろいろあって、どこにどうアクセスしたものか・・・と迷うひとも多いと思うので、検索しやすさをお願いできればと思います。 <http://blog.goo.ne.jp/vc00000/> の情報も役立ちそうです。 Mar 20 ▼



萩原崇之: 手伝う人とタスクにはタグ付けしておけば、レコメンデーションというか精度の高いマッチングが出来るそうですね Mar 20 ▼



Naoya Makino: 自分も是非ともこのプロジェクトに参加したいです。オンライン参加ですが何か出来ることがあればご連絡下さい。お待ちしております。ちなみに自分はバックエンドです。あとアンドロイドにも興味深々ですがまだ経験浅し。だれか一緒に開発できる方がいれば是非ともお手伝いさせて頂きたいです。 Mar 21 ▼



Hiroaki SHIBUKI: [アイデア] 首都機能の健全性の維持も被災地支援・復興に重要と考えます。首都圏の電力不足が年単位で続きそうなので、Google PowerMeter の日本版を展開することってできないでしょうか？ Mar 20 ▼



Soichirooooo5 soichirooooo5: その仕組みって、一人当りの一定の電力を割り当てる、といった事ができると良いですね。 Mar 20 ▼

そうすれば、「計画停電」も「電気料金引き上げ」も必要なくなるかも。



Hiroaki SHIBUKI: 現在の電力供給能力は、夏場のピーク時の半分かくらいですので、全面回避は難しいかもしれません。でも、各世帯が電力消費量を認識することで、ピークの低減や影響範囲を低く抑えることには貢献できそうな気がします。 Mar 20 ▼



Soichirooooo5 soichirooooo5: なるほど。ある一定量の消費を超えると、電気料金が割り増しになるとかあると良いかも Mar 20 ▼



Satoshi: Google Power Meterは対応したデバイスが必要のようですね。国内にはデバイスを提供出来るベンダーはあるのでしょうか？東電とかに確認すれば分かるのかな？ Mar 20 ▼



Hiroaki SHIBUKI: 日本でもスマートメーター導入の計画は進行中のハズなんですが、ものすごい数の世帯数を相手にしなくてはならないので、企業努力だけに頼っているとスピード的な問題が (^_^; 計測デバイスに関しては、米国では既存の電気メーターに被せるタイプ（内蔵 Web カメラで電気メーターの表示を読み取り、WiFi で送信）のものがあるみたいです。電気メーターに直接機器を取り付けると、法制度面でなにか問題があるかもしれないですね。。。たとえば、自分で1時間おきくらいにスマホでメーター表示を撮像して、それを web サービスに送信して。。。的な仕組みのほうが立ち上げやすいかもしれません。（24時間監視できないので、効果も下がってしまいますが） Mar 20 ▼



Satoshi: メーターを読み取ってwifiで送信というのは良いですね。ITリテラシーのある家庭でしか使えないのが難点ですが。 Mar 20 ▼



Hiroaki SHIBUKI: Wifi 経由だとどうしても PC が扱えることが全体になってしまいますね。計測データを可視化するためにも最低限 PC は必要ですが (^_^; やば、スマホベースで人力で撮像→Web サービスに送信、が広範囲での利用には向いてそうですね。あ、人力計測ならガラケーでもできるかな？ Mar 20 ▼



Yoshitake SHIMO: 計画停電については、今のグループをもう少し細かくし、都心部の家庭も対象として2時間程度ブレーカを落とすような対策はできないでしょうか。スマートグリッドを手動やることになるのではないかと思います。病院、信号、調整が必要な機械などを持っている企業も停電は正直困ると思うので、出来るところから我慢する仕組みが必要だと思います。 Mar 20 ▼



Satoshi: 東電管轄区域全体では電力消費量のリアルタイムな見える化を来週火曜日から実施する予定 Mar 20 ▼
があるようですね。

http://twitter.com/renho_sha



Makotokanamoto19710512@googlewave.com: おっ！ついにやるのですね！すごく良いこと Mar 21 ▼
だと思います。

欲がでると、地域別と、過去の履歴も見れるといいですね。



Hiroaki SHIBUKI: おー、これはいいですね。総量でも（ほぼ）リアルタイムに消費量が見えれば、節 Mar 20 ▼
電しやすくなるはずですよ。



Rkyaizu@googlewave.com: 例えばなんですけど、各家庭の所持している家電、使用している電気器 Mar 20 ▼
具を入力し、大体の電力消費量を計算する。それをどれだけ削ったら、これだけ節電できる。さらに言えばこの
節電分の電力数は例のポスターじゃないですけど「これだけの電力に活かされ、皆さんのお役に立ちますよ」と表示で
きるサービスは展開したいなと思います。

楽しく、具体的に節電できるというのが希望です。ご検討ください。



Hiroaki SHIBUKI: あー、それも面白いですね。保有している家電（てか電気使う物）の名前と消費電 Mar 20 ▼
力（型式などから自動で取ってこれるとらくちん）のリストを登録しておいて、チェックボックスか何かで
ON/OFF 設定したら概算の消費電力が算出される、みたいな感じですかね。



Rkyaizu@googlewave.com: そうです。先に登録しておく（また、随時有志が登録）よりスムーズ Mar 20 ▼
に計算ができますね。分からない場合は大体冷蔵庫ならこれくらい、とかをよしにしておくのもいいかも知れま
せん。

子どもが見て楽しめるような感じにできると最高です。「お母さん！これだけ節電できたよ！」とか、節電ランキング
何位だとか（笑

やりすぎて事故を起こされても困るので「ありがたいけど自分の家のために使ってね」とかの表示もあると親切かな
と。



Mito: 消費電力のリストはみんなに登録してもらう方がいいかもしれないですね。 Mar 20 ▼
SNS的な仕組みを入れるといいかもしれないです。



Hiroaki SHIBUKI: すごくいいと思います>SNS 的な要素の付加 Mar 20 ▼



Rkyaizu@googlewave.com: 賛成です。>みんなに登録してもらう方式 Mar 20 ▼



荒川 正義: 私も賛成です。 Mar 20 ▼
特に大口の企業の登録があるといいですね。

上の方で『計画停電 → 計画的経済活動によるピーク電力消費の平準化サービス』に書きましたが、
電力をどれだけ使うというのを見る化して、実際に東電からどれだけ使われたかというのがわかると、
計画停電ではなく、各企業の意志で節電できると思います。



Satoshi: Google Power Meter Mar 20 ▼
<http://www.google.com/powermeter/about/about.html>



Akitoshi.ono@googlewave.com: この話題の流れに合っているか分からないのですが、こんなサー Mar 21 ▼
ビスもあります。

<http://www.pachube.com/>

このサービスの使用例

<http://www.pachube.com/feeds/20301>

Arduino や mbed などの、小さなコンピューターから、このサイトに気象情報や、様々な情報を送信し、グラフ化する

試みも行われています。

<http://yoppa.org/bma10/1388.html>



Takao Funami: [アイディア]被災者向けの宿検索&マップ

Mar 20 ▼

じゃらの被災者向けプランのような
被災者向けの宿（有料、無料とわず）一覧を作成する。

ソースとして

じゃらん

<http://www.jalan.net/theme/shien/>

楽天トラベル

http://kw.travel.rakuten.co.jp/keyword/Search.do?f_max=30&f_query=%94%ED%8D%D0

等の旅行サイトや、各ホテル事業者の皆さんから、直接入力してもらえるような仕組みがほしい。



Gsd : Airbnbというサービスがありますが、この仕組みを利用できないでしょうか。
<http://www.airbnb.com/>

Mar 20 ▼



Tatsuya Sato: [提案] 今いる場所から近い順にソートして表示できると良さそうですね。

Mar 20 ▼



Rkyaizu@googlewave.com: 各社バラバラでやっているのを統合して把握できるサービスがあるとい
いですね。

Mar 20 ▼

あと上の方でも書きましたが、宿に限らずボランティア等の一時的な避難・宿泊先も登録管理できるとな
お良いと思います。



Yuya Kusakabe: @nifty 旅行は元々じゃらんや楽天トラベルなどの旅行サイトの横断検索サイトな
ので、被災者向けプランリストのような見せ方ができないか聞いてみます。ついでに現在地を元に
検索できる機能も作れないか聞いてみます。
<http://travel.nifty.com/>

Mar 21 ▼



Rkyaizu@googlewave.com: 期待しています！

Mar 21 ▼



Takao Funami: 観光庁のホームページに
東北地方太平洋沖地震等に関する被災者向け支援情報
が掲載されました

Mar 21 ▼

http://www.pref.niigata.lg.jp/bosai/H23touhokujishin_takenhinan.html

新潟県：http://www.pref.niigata.lg.jp/bosai/H23touhokujishin_takenhinan.html

栃木県：<http://www.pref.tochigi.lg.jp/f05/kanko/hinanbasyo.html>



Yuya Kusakabe: @nifty 旅行ですが、現在作成中とのことです。しかし、各ホテル事業者の皆さんか
ら、直接入力してもらえるような仕組みなどは別途作成する必要があるかもしれません。

Mar 22 ▼



Yuya Kusakabe:
じゃらん 東北地方太平洋沖地震＜被災者支援プラン＞API を公開しました #hack4jp

Mar 23 ▼

http://mtl.recruit.co.jp/blog/2011/03/api_hack4jp.html#more

旅くら

<http://www.tabi-kura.com/>

などを使いつつ、各ホテル事業者さんや、利用者などから情報を入力できるようにしたら良さそうです。



Tmiyamon: おお、これでスクレイピングしなくて済みますね。作りたいけど時間がきびしい・・・

Mar 24 ▼



萩原崇之: 【製作中】どんな災害でも時間が経てば忘れられてしまうので、一年後とか半年後といった単位で「ooを忘れないで」というメッセージをTwitterやFacebookに投稿するサービス Mar 20 ▼



Erdao: トレンドグラフからそういうのわかったりすると忘れないでトレンドを上げる努力をしよう、という気持ちにみんながなると良いですね。 Mar 20 ▼



萩原崇之: ですね。 Mar 20 ▼

TwitterならハッシュタグをつけておけばOKなのですが、Facebookはどうしても運任せになってしまいますね (^^;)



Tatsuya Sato: 自分も似たようなことを考えていました。地震発生時間の14時56分にリマインドすると、なお印象深くできるのではないのでしょうか。 Mar 20 ▼



Rkyaizu@googlewave.com: ~を忘れない botとしてあるといいのではないのでしょうか。 Mar 20 ▼

既に今回の地震日時に関する亜種は存在しているかと思えますので、日時だけではない有効な発言ができるbotならサービス案としてとても良いと思います。



萩原崇之: Mar 20 ▼

botではなくて、投稿許可をもらって各自のアカウントから投稿する形式です。無数にあるプライベートなリマインドと違う、パブリックなリマインドですね



荒川 正義: パブリックなリマインド、シェア出来るリマインドはいいですね。 Mar 20 ▼

私も似たようなのを『希望の見える化』というのを出しました。



Yuri: リマインドが投稿されるときに、一緒に「前はこんな状況だった」「今はこういう状況でこういう支援がまだ必要」というのが分かる/伝えられるといいですね。 Mar 20 ▼



萩原崇之: ありがとうございます。 Mar 20 ▼

最初は好きにメッセージを書いて登録してもらってそれをそのまま投げるようなイメージだったのですが、Twitter向けに短い定型フレーズ（私はooを忘れません）、もしあればハッシュタグ、詳細へリンク（そこで状況のアップデートが出来る）といった形にしたらかなりいい具合になりますね



Yusuke Fujiwara: おつかれさます。以下2点確認させてください。 Mar 23 ▼

- ・現在開発されているものは仕組み的にTwitterやFacebookのOAuth認証は必須ですか？（時期がくると自分の代わりにサービスが自動で投稿）
 - 【懸念】サービス利用のハードルが高くなる。
 - 【懸念】自動投稿だとユーザは自分の投稿に気づきにくい。
- ・Tweetされる内容は「私はooを忘れない」という感じでみんなに向けて発信するイメージですか？（過去を大切にするユーザの声や思いが集まるイメージ）

サービス特性と想定されるユーザの利用動機を理解できれば、コミュニケーション戦略をサービス設計に組み込むことができます。



萩原崇之: はい。基本的にログインを兼てOauth認証をもち、みんなに向けて配信される形になります。 Mar 23 ▼

敷居は、おそらくこれでもメールアドレスやパスワードを

忘れない、と設定した本人が思い出すかどうかは、極限すればそれほど重要ではないかな? と思っています。対象は一人でも多くの人が思い出すことが重要なものですから。

現在実装している機能はこんな感じです。画面はほぼ出てきていて、問題はログイン関係ですね

1. リマインドするテーマを設定
2. 一定の開始時間後からリマインドを決定したユーザーのアカウントからメッセージを配信

※テーマについてコメントを追加可能(被災者が復興状況を報告するような使い方を想定)

※リマインドするテーマは今回の地震のような特集(トップページに一定期間掲載)と、誰でも投稿できる一般テーマの2種類。

※メッセージ内容は、特になければテーマを設定した側が設定したデフォルトメッセージ(編集可)



Yusuke Fujiwara: コメントありがとうございます。ユーザゴールは自分へのリマインドよりも、忘れ Mar 27 ▼
ないようにみんなに呼びかけることにあるんですね。



Akitoshi.ono@googlewave.com: 現在はブレスト状態ですが、今後、短期・中期・長期にある程度わけて議論 Mar 20 ▼
をする必要があると思います。



Satoshi: 被災地支援、被災地以外での対策(節電)などのカテゴリー分けもあったほうが良いです Mar 20 ▼
ね。



Adamrocker :: [FYI]ホンダからカセットボンベで発電できる家庭用発電機が発売されています。これから恒 Mar 20 ▼
常的に続く停電に備えるという意味ではもちろん、うまく使えないかなあと模索
中。 <http://www.honda.co.jp/generator/enepo/>



Tohru HANAI: [アイデア] 全体を眺めていて、ふと、エリアアラートを実現する汎用ライブラリがあると Mar 20 ▼
いろいろ便利かな、と思いました。

[機能]

- ・情報提供者は、urlと共に位置(ピンポイント or エリア)をサービスプロバイダに登録できる
- ・情報受信者は、あらかじめエリアと情報受信手段(メールアドレス他)に登録しておく
- > エリア内に情報が登録されたら配信される

で、Person Finderなどがこれを組み込んだら、消息を知っている人にPush型で情報を尋ねられるようになったりします。
サービス実装側がエリア登録UIや配信処理をいちいち実装する手間も省けそうです。



Me: [アイデア] Mar 20 ▼
被災地で役立つ情報をまとめ、紙モノの資料を作成・配布する

政府など公からの指示は、自治体・避難所に配布されていますが、
私たちのような民での活動は伝わるようになっていないと思います。

- ・物資・食料・住居などの情報があるとして、それらにアクセスできることがまず必要
- ・インターネットに接続できない避難所等
- ・コンピュータ・電源などの設置、紙にした資料の配付

- ・アクセスできるようになったら、検索の可能性を広げる
- ・コンピュータを利用するものはここで多く議論されている
- ・紙の資料にはさまざまな制限があるため、編集を工夫する
- ・紙面を節約するためには、情報の選択が必要

(避難所などの環境・収容されている人の性状を考慮し、そこに正確に適合した情報を選択する)

(「紙面を節約する」という考えは、従来型携帯電話向けにインターネットのコンテンツを加工するということと同じ向きです))



Montego-blue: キンドルのような電子ペーパーのようなものに表示したり、fax化したりすることは 出来るのでしょうか? Mar 20 ▼

携帯端末で受けた情報をどうやって紙媒体などに変換できれば良いのですが。。

携帯から電子インクのディスプレイに情報を掲載できるとか。そういう物が有れば良いなあと思いました。



Me: 携帯電話が使える状況なら、携帯電話で済むのではないのでしょうか
電子ペーパーが良いと思われたところを、もう少し突っ込んでください Mar 20 ▼



Montego-blue: 電子ペーパーは、消費電力が少ないですし、携帯電話をなくした、または高齢者の方に対して紙がベストですが、このような電子ペーパーの拡散方法は一時的に効果があるのではないのかなと。

このデータを、被災地の避難所に"回覧板"として使うことは可能と考えています。

誰か、PCやスマートフォンなどを利用できる人がいれば、キンドルなどにダウンロードして、そこにいる人たちに回覧することが出来ます。こうすることで高齢者の方々にも情報が行き渡るような気がしました。

本当であれば大型ディスプレイでの情報掲示板がよいとおもいますが、持ち運び便利ですし、常時表示できるのではないかと考えてためです



Rkyaizu@googlewave.com: 電子ペーパー研究・開発・販売のメーカーに呼びかけた ところですよ。 Mar 20 ▼

当面はお年寄り向けで構わないので。

理想はクラウドで自治体などの最新情報がその電子ペーパーに自動更新されることですが、そうでなくても自治体・避難先に簡易設備を用意してもらい、情報更新できる場所が作ればと思います。

あ、回覧板的なものならそんな量いらないですよ！

紙にして回し続ける、刷り続けるのは現状とても大変なことだと思いますから、まずはお年寄り向けの回覧板的なものから、電子ペーパーの普及を始めていきませんか。

徐々に各世帯、クラウド化、と進化していけば、今後の復興にも、また災害以外にも大いに役立てると思います。

ご検討ください。



Yuya Kusakabe: 電子ペーパーには電源を落としても表示を維持できるものがあります からは、停電時でも表示が消えることがなく、回覧板や掲示板として有効かと思います。古いニュースですがソースはこちら→<http://pr.fujitsu.com/jp/news/2005/07/13-1.html> Mar 20 ▼



Rkyaizu@googlewave.com: 素晴らしい！電子ペーパーの回覧板、強くプッシュしたいです。 Mar 20 ▼



Kentaro YOSHIMURA: こういった災害時用に、液晶プロジェクタ単独で掲示板システムとして運用できるといいかもしれませんね。軽量OSとブラウザを内蔵させておいて。 Mar 20 ▼



萩原崇之: 軽量OSとブラウザの組み合わせといえばChrome OSですね。災害向けというのは考えていませんでしたが、確かにデバイスの共有が前提のChromeOSならばこっちにも色々生きるかもしれません Mar 20 ▼



Mito: メールの内容を受け取って自動で印刷するFAXが何かあればいいんですが。

Mar 20 ▼



今探してますがうまく見つからない・・・



Me: なるほど

Mar 20 ▼

コンピューターや携帯電話だけではなく、いろんなデバイスでの提供方法がある方がよいでしょうね



Me: 印刷するにしても印刷機、電源、配布方法の問題があるので、環境に応じたの手段の選択はなされるでしょう

Mar 20 ▼



Mito: とりあえずそれっぽいのが

Mar 20 ▼

<http://www.ntt.com/iFAX/>

NTTコミュニケーションズの「iFAX」というサービスみたいです。



Me: 情報を収集・選択し、コンパクトに編集して配布する**仕組み**が必要ですね

Mar 20 ▼

コンピューターやスマートフォンは未整形な大量の情報を扱えますが、紙や従来型の携帯電話では困難ですから



Me: 物資の定期便に乘せるフリーペーパーのようなものもあるとよいのではないのでしょうか

Mar 20 ▼

ライフライン、道路の復旧、商店や浴場の再開情報、復興への活動記録を載せるなど
(印刷物に限らず、放送やインターネットなども含む)

新聞、雑誌、放送などのコンテンツは東京から発信されるものが主です

それだけではなく、被災された方たちの共同を支援するようなメディアの存在は心強いのではないのでしょうか



Me: ウェブサイトやブログを作成できないような集団もあると思うので、
ある程度のフォーマットを決めた、始めやすいサービスの提供はどうでしょう

Mar 20 ▼



Rkyaizu@googlewave.com: これ制作・印刷費用が鍵ですが、そこがカバーできたらpixivのイラストレーターなど、全国的な協力が得られるものになると思います。何にせよペーパーは費用が鍵です。そこが解決できるアイディアは本当考えてほしいし、考えたいし、皆さんからのお知恵をお貸りしたいところです。

Mar 21 ▼



Me: そうですね

Mar 21 ▼

でも、被災地の状況によっては、ギークの好むデバイスよりも紙の方がコストがかからない場合も多いと思います

費用の件については、企業の協賛・寄付として広告をいただくとかもあると思います



Rkyaizu@googlewave.com: 企業の選別や広告の選定がかなりデリケートになってくると思います。
(被災地へ励ましが響きに変わらないよう)

Mar 21 ▼

例えば、今回受け入れ先になっている県と県の関連の企業で呼びかけるとか、元々姉妹都市の所とか、もう一步の深み・具体的な当たり先の候補を我々の段階で考えることができれば、着実に進むきっかけになれると思います。スポンサー探しはなかなか大変です。



Me: その辺りは広告のプロにお願いすることができるのではないのでしょうか
地元で密接な会社が宣伝したいということもあるでしょうね

Mar 21 ▼



Tomohiro Nishikawa: [アイデア]津波・洪水ハザードマップ

Mar 20 ▼

東日本大震災支援とは少し趣旨が異なるかもしれませんが、この度の震災で津波に対する対策が十分でない事がわかりました。

Googleマップに高低差情報があれば、津波災害時に影響を受ける可能性がある地域を知る事が出来るのではないかと思います。

[アイデア]近隣の避難所情報

旅先で避難場所を見つける事は困難だと思うので(住んでいる地域でも近くの学校に行けば良い?程度の認識ですが)携帯・スマートフォンで近隣の避難場所がすぐにわかるようなものがあれば良いと思います。



Shuichi Asai: ネット上の情報を正しくコントロールできる、モブシステムが作れたら役に立つ。様々なデマ Mar 20 ▼
が拡散したのと同じ原理で、被災地の側の要求の声が大きくなったら、世論を誘導できる。情報のコントロールは難しいと思うが。



Kentaro YOSHIMURA: [アイデア]国内ライフライン状況（水、電気）の可視化システム。被災後に停電・断 Mar 20 ▼
水している状態で最も必要だった情報は、「どこまで移動すればライフラインは生きているのか」という情報。回復状況がリアルタイムでモニターできれば、被災者の励み or 避難の目安にもなる。



Yoshitake SHIMO: [アイデア]救援物資の配送システム。 Mar 20 ▼



Soichirooooo5 soichirooooo5: そういった業務に携わる方の意見とか要望が欲しいですね。 Mar 20 ▼



Soichirooooo5 soichirooooo5: 土木関係の仕事の役立つシステムを考えた方が、結果的に復興の助けになっ Mar 20 ▼
たりして。

ユーザが見えるし、業務向けなら、使い続けてもらえるだろうし。



荒川 正義: 『交通の見える化、テレワーク実施の見える化によるテレワークの連鎖』 Mar 20 ▼

一つ前の書き込み（『計画停電 → 計画的経済活動によるピーク電力消費の平準化サービス』）関連ですが、
現在のように企業活動が9～17時で行われなくなり、夜間働く方が増えると、
今度は出勤方法が難しくなります。

そこでまず取る方法としては、
テレワークの推奨です。

自宅で勤務出来れば、交通機関にかかる負荷も減り、
自宅の消費電力は増えますが、交通手段のエネルギー消費を抑えることが出来ます。
また、往復の通勤時間にかかる時間（約2時間）を確保するが出来ます。
そのことにより、もし自由になる時間が増えれば、震災復興にボランティアで参加することも可能になると思います。

しかし、どうしても通勤する方もいます。
そこで以下のようなサービスを考えています。

自分の通勤手段と時間を登録する。
たくさんの人が同様に登録することにより、
どの時間帯にどの交通手段を必要としているかがわかるようになります。
いつ、どの路線で、どれだけの人が交通手段を求めているかなどの
移動需要が分かることにより、
それを計画的に移動手段を提供出来るようになります。
不足する箇所はタクシー会社が重点的に配車されるように補完すれば、
かなりの確率で需要と供給を一致させることが可能になるのではないのでしょうか？

また、
同時にテレワークすることも登録します。
この時間、路線での交通・電力消費を抑えられたことを見える化します。
他社がテレワークして、電量消費削減に貢献していることを知れば、
テレワークに消極的な企業にもテレワークの連鎖が広がり、
そもそもの交通需要の削減に繋がると思います。

そもそも、みなさんの仕事のうち、
どうしても出社しなければならない人はどれくらいいらっしゃるのでしょうか？
今日、メール、Twitter、Skype等、様々な情報伝達・共有手段があり、
それを積極的に使用していけば、かなりの方々は、自宅で作業ができるのではないのでしょうか？
もちろん、今まで色々な理由で実現出来なかったことです、

この危機を機会と捉えて、テレワークの仕事が通常というような社会にしていくべきではないでしょうか。



Hiroaki SHIBUKI: 路線バスなんか、ルートと時間帯によっては空っぽで走ってるのもよく目にします。 Mar 20 ▼

自分の利用予定を週単位とかで入力しておいて、それをもとに運行計画立てる、なんてのもありかもしれませんね。予定外のニーズへの対応には、1時間に1本とか30分に1本にしぼるとか。



荒川 正義: そうですね。 Mar 20 ▼
個々の予定 → 運行計画

というのが実現出来ればいいですね。

あと、マイクロバスよりも小さいワンボックスぐらいのバスもあるといいですね。

あと、相乗りタクシーもバスのように運行してくれるのもいいかも。

乗車料金の補填など必要かもしれません。



Kentaro YOSHIMURA: 『公共交通機関（主に地方バス）の臨時ダイヤ構築支援』 Mar 20 ▼

被災で鉄道が不通になった地域でも、バスは比較的早期に復旧。しかし、鉄道の代替輸送や、通行止めの迂回による特別ルートのために、通常の時刻表や停留所とは大きく異なります。運行会社側でその情報を逐一提供できればよいのですが、必ずしもそのスキルを持っているわけではありません。（普段でもバス会社のWebはあれですし）

地図情報を用いた、バス会社用の臨時ダイヤ構築支援および、利用者への情報提供が行えると、特に今回の被災地域である地方都市では有用です。



Rkyaizu@googlewave.com: Googleスプレッドシートみたいな表のオンライン共有サービスを利用し Mar 20 ▼
て、最新のダイヤ情報を協力し合いながら埋めていくのはいかがでしょうか。これが携帯で見れるとなおいいのですが。



Adamrocker :: [アイデア]Android Marketで有料アプリの売り上げを全部寄付にまわしたい場合、売り上げ Mar 20 ▼
の30%をGoogleへ献上する仕組みを排除できないでしょうか？



Yukio Andoh: ↑Android Market の30%献上する仕組みを急に Mar 20 ▼
排除するのはむずかしいと思うので、30%相当分をGoogleもしくは他の誰かが持ち出しで寄付する仕組みを作れると良いと思います。



Adamrocker :: 売り上げが販売者に入らず、指定した団体へ自動で寄付されると嬉しいですね。手数料 Mar 20 ▼
料分は別途Googleとかから寄付されるとか。寄付受付団体はいくつか選択できると良いですね。海外からも寄付
目的でアプリを買ってくれたりして寄付の受け入れ口を広げられることを期待しています。もちろんAndroid Marketだ
けに限らないのですが...



萩原崇之: どうせならばAndrpидマーケットにマッチアップの仕組みが欲しいですね。 Mar 20 ▼
日本ですとグルーポンがやっていますが、寄付金額にあわせて同額を企業が出す、というのは海外では一般的
なのだそうです。

ならば作者が募ってもいいですし、企業から何らかの指名が出来てもいいでしょうけど、いずれにせよ売り上げを全
て寄付にまわすとマッチアップ先の企業からも同額の寄付が指定された相手におこなわれる、みたいな仕組みがあれば
面白いとおもいます



萩原崇之: [アイデア]被災地からの疎開支援ワンストップサービス Mar 20 ▼

一番いいのは、インフラが完全に破壊された被災地にとどまることなく別の場所に移動することだ、という意見があり
ます。この前にでたアイデアとかぶる部分もあるのですが、その際に必要な移動手段の確保、情報収集、疎開先の紹介、マッ

チング、場合によっては職場の紹介等、必要なものはワンストップで提供するようなサービスがあればいいかと思います。

<http://towubukata.blogspot.com/>



佐々木 陽: これは欲しいですね。
京都とかに疎開してみたいです(^
沖縄疎開とかも。

Mar 20 ▼



荒川 正義:

私も上の方で、『空き家の提供と住む場所に困っている方々のマッチングサービス』というのを
しました。
移動先は空き家を利用すれば、空き家問題も解決出来るかもしれませんね。

Mar 20 ▼



萩原崇之: です。荒川さんのを含め、いままでにでたアイデアのうち、避難所を対象とし
ない支援系サービス(?)をひとまとめにして移動支援をはじめとして足りない機能が
あったら足す、みたいな感じのをイメージしました。

Mar 20 ▼



Nishioka Yuhei: [アイデアというか質問にも近い] 被災者情報のデータ統合は、現時点では、どれくらい必要
でしょうか?

Mar 20 ▼

各携帯キャリアが個別に持っている被災者情報を統合 というアイデアも出ていますが、探せていない方の現状とかが知りたいです。

システムの統合は必要ですが、データの統合となると非常に難しいです。

http://trans-aid.jp/ANPI_NLP/index.php/%E3%83%A1%E3%82%A4%E3%83%B3%E3%83%9A%E3%83%BC%E3%82%B8 のプロジェクトと関連して、

twitter などから収集した安否情報をもとに、Google Person Finder のコメントを追加する作業を我々で少しやらさせていただきました。

名前や住所などを正規化して、ある程度の精度で同一人物の候補を自動で抽出してから、最後は手作業で確認しながら登録していきました。

それでも同姓同名の問題はついてまわるし、Google Person Finder 上では「情報を探している」というステータスでも、既に見つかっているケースもあります。(=< そういう人を責めているわけではないです。)

また、個人情報、間違っただデータを統合をしてはいけないという問題もあり、非常に難しい問題です。

今、本当に安否を探している人がどれくらいいて、その人たちにとって我々はどういう貢献が出来るか知りたいです。



Teru.Shindo: NHKで避難者名簿の検索サービス始まったようです。被災地からほかの市町村に避難された方
の検索も可能とのことですが、県から上がってくる情報ベースのようです。これってGoogle Person Finderとの連携は
しているんですって?

Mar 20 ▼

NHK ネットで避難者の名簿 NHKニュース <http://www3.nhk.or.jp/news/html/20110320/k10014794671000.html>

東北関東大震災・避難者名簿検索 | NHK <http://www3.nhk.or.jp/toppage/hinan/index.html>



Teru.Shindo: 連携済みだそうです。失礼しました。

Mar 21 ▼



佐々木 陽: [燃料投下]

Mar 20 ▼

放射性物質 WebAPI (NST Labsの久田さん開発: 会津若松の会社)

<http://t.co/vEkhQWp>

GAEなので、自由につかっていいそうです。負荷分散は完璧です。ガンガンアクセスしてください。

グラフ

<http://radiation-measurement.appspot.com/>



佐々木 陽: がつつ石松がバナナ1本食べると0.1マイクロシーベルト被爆するそうなので、時間ある人、マッシュアップつくってみてください(^^; ガッツ石松 放射能グラフとかとか。

Mar 20 ▼

今、会津若松はガッツ石松が4本バナナ食べた量です。



Tatsuya Sato: 数値とよくわからない単位で見せられると、どう評価していいかわからず不安になりそうですが、こうやって面白く「この程度だよ」と表現してあげれば、安心感を与えられそうですね。被曝量に限らず、買い占め問題にも応用させたいですね。

Mar 20 ▼



Tatsuya Sato: 単位換算するアプリも面白く安全性を伝えられそうですね。1 μS = ∞ ガッツ石松が ∞ 本バナナ食べた被曝量 (単位: ガッツ)

Mar 20 ▼



Tatsuya Sato:

Mar 20 ▼



佐々木 陽: いいですね。それ(^^ 今会津若松は、4ガッツです。

Mar 20 ▼



Kobaxx@googlewave.com: 放射線の単位はわかりにくいので、分かりやすい単位があるといいですね。枝野さんも一年あびてCTスキャンN回分という表現をしていますし。

Mar 20 ▼



佐々木 陽: そうなんですよ。ガッツ石松は20本/1日はバナナ食べているので、20ガッツまでなら、ガッツ以下です(^^

Mar 20 ▼



佐々木 陽: 東京だと、0.1ガッツぐらいですよ。バナナ1本を10等分して、1個食べた量ぐらいですね。

Mar 20 ▼



Tatsuya Sato: とりあえず、作ってみようかと思います。

Mar 20 ▼



佐々木 陽: おお! 期待しています(^^; うんこ原発に続くヒット作になる予感

Mar 20 ▼



Tatsuya Sato: とりあえず、叩き台になるようなものを作りました。 <http://gut-banana.appspot.com/>

Mar 20 ▼



佐々木 陽: これめっちゃくちゃいいですね! 子供にも理解できる。

Mar 20 ▼

うんこ原発に続くヒット作ですよ!



佐々木 陽: いいですね! 値のリソースを証明するURLなどもつけてはいかがでしょうか?

Mar 20 ▼



佐々木 陽: リソースです。 http://dnaimg.com/2011/03/20/radiation-chart/radiation_jp.png

Mar 20 ▼



Tatsuya Sato: ありがとうございます。加えておきます。

Mar 20 ▼



佐々木 陽: これはすごいですよ!
風評被害をこれで防げます!

Mar 20 ▼

公開するタイミングになったら教えてください💬



Makoto_inoue@infoseek.jp inoue: バナナも含めた色々な放射能接種量の変換チャットのよ
うなものがありました <http://xkcd.com/radiation/> Mar 21 ▼



佐々木 陽: JSON版もできたそうです。

Mar 20 ▼

<http://t.co/i85OThr>



荒川 正義: 『希望の見える化』

Mar 20 ▼

今回、震災を考慮して、中止・延期されたイベントがかなりあります。
それを登録し、一言『震災復興後、必ずやるぞ!』と付けくわえます。
震災復興後、実際にイベントを再開できたら、『完!』の印を付けます。

おそらく、
以上のように見える化されていなければ、
震災復興後もイベントを再開する機会を失い、
後々、「自分は震災のせいで卒業式が出来なかったよ」
などと言われるのではないのでしょうか。

イベントの再開を希望の象徴として、
見える化することにより、
みんなの震災復興の励みとなり、
震災復興の過程を共有出来るのではないのでしょうか。



Tatsuya Sato: 楽天市場に出店しているいくつかの店舗が主体的に今回の震災への義援金やチャリティー活
動を実施しています。そういった助けたいという思いが沢山あることを被災地の方々に見えるようにすること、そして、
被災していない人々でも普段の買い物でも出来ることはあるということを知らせるために、GAEのアプリを作りました。
<http://tohoku-shien.appspot.com/> Mar 20 ▼

とりあえずザッと作って、今、CPUクォータを超えてしまっていて見れませんが、見せ方や機能要望などご意見いただければ幸いです。
宜しくお願いします。



坂本千恵: [アイデア]WEB上で被災した方にむけて寄せ書きを書く。
それを被災した方に見てもらって、少しでも元気になってもらえないかと思います。
イメージとしては中村勇吾さんの「エコトノハ」みたいな感じを想像しています。 Mar 20 ▼



Tatsuya Sato: 元気になると思います。先日、テレビで被災者の方が、「Twitterなどで沢山の応援の
言葉を頂いて、励みになった」と泣きながら感謝を述べていました。そういった思いを被災地にちゃんと伝えら
れるシステム、意義あります。 Mar 20 ▼



Rkyaisu@googlewave.com: 既にあるかも知れませんが、携帯のムービーメールで一言応援メッセー
ジを送り、それがまとまってUstやYouTubeを通して被災地の方々に届くといいかもしれませんね。そういうサー
ビスサイトは大事かと思います。(各自の判断やバラバラじゃなくてね) Mar 20 ▼



Akiyoshi Sakaguchi: いいですね。こういった人々を元気にするものがいいですね。ぜひ実現 したいですね。 Mar 20 ▼



Akitoshi.ono@googlewave.com: ここの趣旨である「より役に立つ災害情報サイト／サービスを提供」とは ちゃんとズレるのですが、コールセンターなどの建設を東北の方でして頂くと、建設・通信インフラ・雇用などの面で大きな貢献になると思います。ここをごらんになっている方で、社の方で今後コールセンターなどの設置を検討されている社の方がいらっしゃいましたら、他の場所に作るより困難で、大変だとは思いますが、ご一考頂ければと思います。



Me: 被害が大きくてこの活動に参加できていない地域の人の声をきくことができるとよいですね Mar 20 ▼



Satoshi: 食べ物や飲み物が無い状況の人は他のことを考える余裕は無いと思いますが、衣食住が足り ている人は知人の安否情報を含めて正しい情報を迅速に知りたいのではないですかね。電気がある場所ではTwitterなどへのinputもあるようですが、それをうまく集める仕組みが無いですね。



荒川 正義: 『東北・北関東産、消費しているぜい!』 Mar 20 ▼

水・食料・燃料を送ることも重要ですが、被災地地域の産業を助ける意味で、東北・北関東産の食品等を積極的に消費していくのが、震災復興に役立つのではないのでしょうか。取り敢えず、避難所から戻ったのに、被災地の食品等は避けられてしまし、働く場がない状態は良くないとおもいます。

そのため、自分が東北・北関東産のものを消費したら、写真にとり、写真共有サイトにアップすることで、震災復興に貢献できるのではないでしょう。消費してくれていることが見える化されていれば、復興の励みにもなると思います。



Rkyaizu@googlewave.com: 大手ショッピングサイトに、東北・北関東産をプッシュしてもらうよう 頼むのも一つですね。 Mar 20 ▼

あとは首相に福島産のほうれん草を（略

共有サイトが見やすく整理されていて、みんながブログ感覚で写真と感想を言い合い、また東北・北関東産のグルメレシピを紹介していったりとすると活気づくかもしれません。



荒川 正義: みんなで、東北・北関東産プッシュ、いいですね。 普通のスーパーとかでもやって欲しいですね。 レシピ紹介、楽天レシピとかでやったらいいかもしれないですね。 Mar 20 ▼



Akitoshi.ono@googlewave.com: [アイディア] 被災した子供に対する任天堂DSの寄付（中古でもOK、但し 充電アダプター必須）。手元で眠っているDSを集め（出来ればソフト付きで）、公的なリストを元に被災した子供に対して配布する。 Mar 20 ▼



Tatsuya Sato: livlis とうまく組み合わせられると良さそうですね。 <http://www.livlis.com/> Mar 20 ▼



Akitoshi.ono@googlewave.com: お恥ずかしながら、livlis 知りませんでした。なるほど。 仕組みとしてはこれもいいですね。ただ「便乗ちょうだい」が頻発するのもイヤなので、何らかの公的リストか

ら優先して配布できる仕組みがあればOKだと思います。



Rkyaizu@googlewave.com: 横からですが早速livis紹介させていただきました。
まずこれだけでも浸透してほしいと思います。

Mar 20 ▼



Mito: 「3DSに乗り換えるから古いDSを寄付するぜ」キャンペーンとかやるといいかもしれないです
ね。

Mar 20 ▼



Akitoshi.ono@googlewave.com: いいですね！そのキャンペーンは多分任天堂がやると最も効果は
高いのですが、3DSを売るための売名、と取られる恐れがあるので、我々のようなレベルでした方がい
れません。
どこかに集約して、被災者リストから送付先を決定する仕組みがあれば実現できるかな？

Mar 20 ▼



Mito: おっしゃるとおり、任天堂の人がやるのは難しそうなので、DSやおもちゃなどの受け入れを行
うとかの体制ができてきたらキャンペーンとして発信するのがいいかなと思います。

Mar 20 ▼



Musashimon@googlewave.com: 横から失礼します。あと、トランプとかかるたも良いかと思いま
す。特にトランプはルールがわかれば大人も楽しめますし、52枚のカードがあるだけで遊びのバリエーションが
広がるので。紙なので他のアイデアでもありましたけど、データ化して、現地でプリントアウトしたり、FAXでも提
供できそう。

Mar 20 ▼



荒川 正義: 電力を使わない遊び道具いいと思います。
将棋とか囲碁とか。

年齢問わず遊べるのはいいですね。

少しの時間でも、災害をわすれて遊びに熱中するのは、心理的にもいいかもしれないですね。

Mar 20 ▼



Rkyaizu@googlewave.com: 横からですが、すれ違い通信って既に活かしたサービスあります？なけ
れば自分の枠で提案書いてみます。

Mar 20 ▼



Akitoshi.ono@googlewave.com: 子供が笑顔になるサービスは絶対に必要だと思います！も
ちろん、実用的なサービスも！ちょっと勉強不足で恐縮なのですが、DSi ウェアなら無料から、カート
リッジを介さずに提供できるのですか？であれば、非常にいい考えだと思います。

Mar 20 ▼



Musashimon@googlewave.com: すれ違い通信使うの、凄いいと思います！wifi環境がどこ
まで使えるかにもよるとは思いますが。

Mar 20 ▼



Daisuke Nakamura: DSが情報端末としてケータイやPCよりも敷居が低いなら、以下のソフトを使う
と、被災地での広報活動に使いそうです。

<http://www.nintendo.co.jp/ds/dsiware/kg3j/what/index.html>

- ・DSi用の無料ソフト
- ・写真や音声、手書きのコンテンツを作れる
- ・DSダウンロードプレイで、作ったコンテンツを閲覧ソフトごとばらまける
- ・ネット接続は（このソフトのインストールさえ済ませれば）不要

Mar 20 ▼



Rkyaizu@googlewave.com: 情報ありがとうございます。
ぜひフル活用できるよう、呼びかけていきましょう。
呼び掛けや使い方支援サービスがあるとよりいいですね。

Mar 20 ▼



Tatsuya Sato:

Mar 20 ▼



Akitoshi.ono@googlewave.com: [アイディア]眠っているPCを簡単に再セットアップできるDVDの作成。 Mar 20 ▼
既に県もしくは市のレベルで導入実績のある Linux デストリビューションをベースに、簡単に眠っているPCを再生するためのインストール用DVDの作成。県などで実績のあるデストリビューションをベースにするのは、役所などで使用されることを前提に、横の連絡や承認（役所は実績を元に評価する傾向がある）をスムーズにさせるため。
ここで大切なのは多分マニュアルの充実。我々の思っている「簡単」と、普通の人の「簡単」は大分差がある。なので、出来るだけ多くの人に使って貰うには、マニュアルの充実などが必要とおられる。
多分最新の機種はあまり集まらないと思われるので、ust などの動画対応は厳しいかも知れないが、役に立ちそうなソフト（Skypeとか）は標準でインストールできるようにする。

※マイクロソフトも、期間限定で無償援助している模様ではあるけど、非営利法人などが対象なので、無制限に使える物を用意したい。



Katsuaki.s@googlewave.com: 無料のSIPサーバとiPhone/Androidアプリ、位置情報付きのディレク Mar 20 ▼
トリサービスもあるといいですね。



Rkyaizu@googlewave.com: セットアップ済みの、Akitoshiさんもお書きになっている軽量Linuxベアー Mar 20 ▼
スPCを送ろうサービス（キャンペーン）もあっていいと思います。「眠っているPC」は被災地以外にも訴えられるキーワードですね。
仲介業者が初期化→再セットアップして発送、というのもいいかもしれません。



Akitoshi.ono@googlewave.com: そうですね、強力な業者が入ってくると、こういった対応は早 Mar 20 ▼
くできると思います。
それに加えて、現場の職員や、ボランティアが簡単にセットアップできる仕組みがあった方がいいと考えています。
後、早いタイミングで可能な限り標準化しておけば、バージョンやインストール済みのアプリなどで混乱する事も避けられると思います。



Katsuaki.s@googlewave.com: [アイディア]原発関連の科学的なデータ、記事、うわさに対するレピュテー Mar 20 ▼
ション。集めた情報やリンクに対して、有用か有用でないか、信頼出来るかを投票して優先度をつけて表示。



近藤俊彦: [アイデア]jibeみたいな各種SNSをまとめたアプリで安否情報を一斉にアップデート出来るア Mar 20 ▼
プリ。ガラケー・スマホ関係無しに使えると良いですね。



Tmiyamon: Mar 20 ▼



Junpei Tajima: そろそろ何か実現してみたい（してほしい）。 Mar 20 ▼



Mirut over: [アイディア] Picasaのコメント欄検索って出来ますか？ 避難所名簿の画像から、コメント欄にそ Mar 20 ▼
の名前を書き出している人達がいるんですが、あれから検索出来ればいいなと。実は普通にできる？



Ayse.oblivion@googlewave.com: まとめwikiにツールがあります。 Mar 20 ▼



Mirut over: おお、そうだったんですね。情報ありがとうございますー Mar 20 ▼



Ayse.oblivion@googlewave.com: Mar 20 ▼



Xoxdesign.net@googlewave.com: [アイディア]募金家計簿アプリ Mar 20 ▼
禁煙アプリで吸わなかったタバコの本数を記録するように、じぶんが募金した金額を記録したりシェアできたりすると続くんじゃないかなと思いました。
家計簿ソフトのように、立ち上げると募金した金額を入力できて、登録すると専用のタグ付きでTweetされると

か、Facebookのウォールに投稿されとか。

募金した金額で「なにか」が「どれくらい」購入できるのかアイコンやグラフで視覚的にわかれると楽しいかもしれません。たとえば500円寄付したら、うまい棒何本分とか、ガリガリ君何本分とか。

レディ・ガガさんなんか、何本買えるかわかりませんよ。



Rkyaizu@googlewave.com: いいですね。上でも書きましたが、節電や献血アプリと、楽しくできるセットが今回流行ってくれるととても面白いと思います。世の中のためになりますし、いいことづくしです。 Mar 20 ▼



Xoxdesign.net@googlewave.com: 節電、献血アプリとのセット、いいですねー。一過性の物にしたくないですね。 Mar 20 ▼



Kadoppe: [アイディア] Twitterのタイムラインから被災者の要望・希望に関するつぶやきをピックアップしてまとめて表示するWebアプリケーション。 Mar 20 ▼

つぶやきの文章を形態素解析し、「希望」の意味で助詞の「たい」が使われているつぶやきだけをPublic Timelineからピックアップ。Webサイト上でリスト表示 & 地図上にマッピング。つぶやき抽出の精度をあげるために、他にも仕組みが必要かも。



Kadoppe: Mar 20 ▼



Rkyaizu@googlewave.com: 関連して提案を。 Mar 20 ▼

公式RTはプラス的なものと捉えております。ヤフオクの「よくない！」評価じゃないですが、マイナス（人を不快にさせた、デマを流布した）評価を「あくまで機械的に」選別し（人が行くと別の視点で大問題になりそうなので）、その方からの緊急すぎる要望は待たがかるようなものにできるとありがたいかなと思います。



Morishita Hiromitsu: Mar 20 ▼



Tetsuro: Mar 20 ▼



佐々木 陽: [燃料投下] Mar 20 ▼

災害救助法

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r98520000015jy4-img/2r98520000015jzl.pdf>

この法律に基づき、支援がおこなわれている模様です。

国負担で、いろいろな救済措置を展開中。



BeMarble: 賛同者それぞれがどのような技術を持っているかをまとめてある箇所はありますか？もしあれ Mar 20 ▼

ば、事前に技術的な問題が解決できていれば
開発にかかる時間の短縮が可能だと思いました。



Rkyaizu@googlewave.com: 賛成です。今後の展開や明日のhackathonだけに頼るのではなく、ここにいる各自が協力して実現できそう、力が貸せそうな案件があれば、今日別れてしまうのではなく進めていくのはとても有意義なことだと思います。 Mar 20 ▼

僕は開発担当ではなく案を出す、また人と人を繋げる役割の人間ですが、昨日のディスカッション、及び今日のディスカッションの僕の発言を見ていただいた上でもし力になれそうなことがあれば、ぜひで相談、ご連絡ください。

上にも書きましたが連絡先は [Hack For Japan \(hack4jp\) 2日目 Wave](#)にまとめてあります。



BeMarble: GoogleDeveloperDay2010で使用されていたDebeloper Linkというサービスはそれぞれが Mar 20 ▼

持っている技術を書くようなプロフィールサービスだったのですが、調べてみたらすでに終了していたようです。



Tmiyamon: 個々が持つスキルをまとめたスプレッドシートがあればいいんですね Mar 20 ▼



Misa Kondo: 後ろから失礼します。必要なスキルを持つ人を探せる&その人が抱えているタスクが見えるといいですね。 Mar 20 ▼



近藤俊彦: スプレッド作りました皆様どうぞ！ Mar 20 ▼
<https://spreadsheets.google.com/cc?key=0AvkfOcYjZWapdFICU0h0aHFaeMjPelhDeHdvMed2MFE&hl=ja>



BeMarble: ありがとうございます。活用させていただきます。 Mar 20 ▼



近藤俊彦: 頑張りましょう！ Mar 20 ▼



Tmiyamon: ありがとうございます。技術情報は横にカラムを区切ったほうが集計しやすいかもしれませんね。ただ何があるか予測出来ないのが難しいか・・・。 Mar 20 ▼



近藤俊彦: それ悩みましたが今の状態になりました Mar 20 ▼



Tmiyamon: なるほどー。とりあえずフォームを作りました。<https://spreadsheets.google.com/viewform?formkey=dFICU0h0aHFaeMjPelhDeHdvMed2MFE6MQ&ifq> Mar 20 ▼



Rkyaizu@googlewave.com: 書き込みましたー。 Mar 20 ▼



BeMarble: 参加者の方はこちらに登録していただくと、開発時に利用開発な技術の目安にはなると思 Mar 21 ▼
います。 <https://spreadsheets.google.com/viewform?formkey=dFICU0h0aHFaeMjPelhDeHdvMed2MFE6MQ&ifq>



Luna.tky@googlewave.com: 避難場所のリアル掲示板をWebに登録して閲覧で、すでにできているで Mar 20 ▼
しょうか？人探しとかDB化できると思います。



Satoshi Kumano: 運送業の方が福島に近づくのに抵抗をもたれているというような報道がありましたが、移 Mar 20 ▼
動ルートと日時から推定被爆量・どのくらいの影響を出すことはできないですかね。実際長時間の移動ですし、漠然と大丈夫といわれても不安になるのではないかと思います。



佐々木 陽: それはあると助かると思います！ Mar 20 ▼

トラックには、無線が完備されているので、無線とうまく連携させて、放射性物質をリアルタイムに告知するシステムとかいいかもですね。

今一番の問題は、東電の放射性物質のリソースの開示が、5時間単位なんです。

<http://www.tepco.co.jp/nu/monitoring/index-j.html>

今いわきに近づけない不安は、有事があっても数時間後に開示されるという点です。

もし、リアルタイムに伝達できれば、車の方が風より早く走れるので、放射性物質から逃げる事が可能なはずです。

福島県は、1時間に1回です。

<http://www.pref.fukushima.jp/j/sokuteichi122.pdf>

被爆量がどれくらいというのがわかるというのは、運転手的に助かると思います。

それと同時に、有事があった時に、放射性物質から逃げるルートをナビするとかもありかなと思います。



Mito: リアルタイム観測といえばウェザーニュースが花粉のリアルタイム観測をやってますね。 Mar 20 ▼

ガイガーカウンターをいろんな地域に配って観測してもらうというのはアリかもしれません。
特に西日本など関係ない地域の数値もあれば、東北地方でも意外と数値が高くない
ということも分かるかもしれませんし。



Yuichi inoue: [http://maps.google.co.jp/maps/ms?](http://maps.google.co.jp/maps/ms?hl=ja&ie=UTF8&brcurrent=3,0x34674e0fd77f192f:0xf54275d47c665244,0&msa=0&msid=208563616382231148377)

Mar 20 ▼

[hl=ja&ie=UTF8&brcurrent=3,0x34674e0fd77f192f:0xf54275d47c665244,0&msa=0&msid=208563616382231148377](http://maps.google.co.jp/maps/ms?hl=ja&ie=UTF8&brcurrent=3,0x34674e0fd77f192f:0xf54275d47c665244,0&msa=0&msid=208563616382231148377)

ガイゲーマップはあるみたいです。ただ可視化されてませんので数値確認は手間です。
改良出来ればいいのですが。



Mito: ありがとうございます。観測地点が結構たくさんありますね。

Mar 20 ▼

あと、自己レスですが、こんなことをやってる方が
<http://jsdo.it/motoishmz/rdC2>



Satoshi Kumano: 走るルートは限られているから、運転手さんに協力してもらって、車内の放射線をガイガーカウンターで観測してもらう、というのもありかも。 Mar 20 ▼



佐々木 陽: そうなんですよね。誰かガイガーカウンター作れないですかね？

Mar 20 ▼

海外では、手作りガイガーカウンターのプロジェクトが立ち上がっているみたいです。
それを吸い上げるWebAPIなどあるとおもしろいですよね。

ちなみに、原発はこれから3ヶ月ぐらい、放射能封じ込め作業が続くと思います。
その間は、福島県は放射性物質の飛散の恐怖との戦いです。

東京は、安全なので、大丈夫ですが、福島はこれから長い戦いですね。



近藤俊彦: ガイガーカウンターアキバでキット売ってますよ

Mar 20 ▼



佐々木 陽: ソーラーパネルと、ガイガーカウンターと、Androidスマホで、遠隔計測器とか
あったら、めっちゃ需要ありますよ。
福島は、もう放射性物質飛散しまくりなので、今はモニタリングが一番重要です。 Mar 20 ▼



Mito: アキバは品切れってニュースでみた気がします。

Mar 20 ▼

ネットでも高騰してるそうな・・・
と思ったらキットでしたか。そういうのもあるんですね。



近藤俊彦: 確か記憶合ってれば秋月電子で売ってたような気がします

Mar 20 ▼



Mito: でんじろう先生！

Mar 20 ▼

<http://www.ngk.co.jp/site/no18/content.htm>

10年以上前にやってくれていたとは・・・



Akitoshi.ono@googlewave.com: こんな記事もありました。

Mar 20 ▼

<http://einstlab.web.fc2.com/geiger/geiger.html>



Mito: これは本格的ですね。
これならPCとかにつないで何かできそうです。

Mar 20 ▼



佐々木 陽: おおおお!
すごい、ほんとの手作りだ!

Mar 20 ▼



Cai.0407@googlewave.com: (化学系の大学院生です。放射線業務従事者として学内講習・実習を受けてルクセルバッジで被曝線量を管理されている身です)

Mar 21 ▼

既製品のサーベイメーターやシンチレーションカウンターでの線量(nGy/hやμSv/h)ならともかく、校正もしていないガイガーカウンターでの数値(CPM)からの概算で求めた線量の信頼性は極めて低いです。手作りなら尚更。現状では、バックグラウンドでの補正はまず不可能です。

あと、実際の累積被曝量を計るのであればルクセルバッジのような物が必要です

下の方が仰っているように、最低でも何らかの規格化は必要と思われます。

もう一つ、高い値が出たときに、それが有意に高いのか、それとも異常値(ノイズ、測定ミス、ハード/ソフトのエラーなど)として無視するべきものなのか判断材料がないまま数字だけが独り歩きすると、パニックを誘発することになるのではないかと心配します。



Snowdrop0082: (上の方と言いたいことはほぼ同じですが) 一昨日のWaveで、放射線関係の話題に上がっていた、放射線計測器の精度が気になります。

Mar 21 ▼

被曝量が分かると良いとのことですが、計測器の精度が悪い(誤差が大きい)と、誤差が蓄積されて、本来の被曝量と、かけ離れてしまうかもしれません。それでは結局のところ不安の解消にはならないのでは?

また、私が数日前調べたところ、計測対象の放射線の種類に合わせて、計測方式(つまり機器そのもの)が異なっているという事です。これでは、身体に影響のある放射線全てを観測できるわけではないのでは?

てことは、もし、不特定多数の方にモニタリングしてもらうなら、放射線計測機器の精度や方式を専門家に決めてもらう(計測機器のスペックをある程度規格化する)必要があると思うんですが・・・皆さんどう思いますか?



Mito: お二人の意見、よく分かりました。
精度や誤差の問題と、そして値をどう判定するか、
いずれも専門家やメーカーなどの意見を踏まえないと、
人の健康にかかわる問題ですし、「安全です」という情報を出すのは難しそうですね。

Mar 21 ▼

あと、気になってるのは被災地やその周辺と、被災地から遠くはなれた地域で

どれくらい値の差が出るのか、ということがあります。

数字は高いけど実際に人体に影響が出るレベルではないにもかかわらず、

近くに行くと何か病気になるってしまうのではないかな?

と過度に不安を持っている人も多いように思います。

こういった過度な不安を和らげるような情報が出せないものか、

思っていたりします。



Satoshi Kumano: おそらく運送業者さんが実際に被爆する量はかなり少ないはず(でなければ政府がなんらかの規制をするはず)なので、既存の計測データの利用や、理論的な近似で十分のような気がしますね。

Mar 21 ▼



Teru.Shindo: ガイガーカウンターではありませんが、気象庁のデータについてはこちらのスレッドも参考になるかもしれません。

Mar 21 ▼

風向き情報の取得方法をご存知の方おられましたら情報提供をお願いします - 日本Androidの会 | Google Groups - <http://goo.gl/zs9GF>

地域防災計画データベース - 日本Androidの会 | Google Groups - <http://goo.gl/TJo28>

防災情報XMLフォーマットの配信開始が延期になったのは痛いですね(地震が原因なので仕方がないですが)。



Satoshi Kumano: リプライありがとうございます。30Km圏外で深刻な汚染は起こらないことを 祈ってますが、それでも近づいかなければならない人の不安を少しでも取り除けるといいかなと。後総量がわかれると、ローテーションも組みやすいかと



佐々木 陽: そうですね。不安を取り除くというのと、30km近辺では130マイクロサーベルト/h程度の放射性物質が計測されているので、被爆した場合の被害をいかに最小限にするかというのも、欲しいところですね。



Satoshi Kumano: 記録に対して、どういう対処が必要かもわかるようにするといいいのか。



佐々木 陽: そうですね!
自分の被爆量がわかれば、その後の対処も迅速にできます。

被爆した量がわからないと、その後のストレスでやられちゃう可能性もありますし。



Yuichi inoue: 今日の19時ぐらいにこの取り組みを知りました新参者です。
被災者に利用頂くサービスは色々出ていたので、支援者が使えるサービスを考えてみました。

■義援金ソーシャル

[twitter名]に、[基金名][日時][金額]を結びつけてメモ出来て同じ[基金]で繋がる。
作りこめれば、[基金名]自体を(コミュニティ)にして、[内容]を統一して明確にするとか。

【考えた理由】

自分も一通り義援金や個人的にお見舞金を渡しましたが、
まだまだ足りなさそうな所でもう一度振り返って義援金が出る仕組みがあれば
来月、再来月と出来る努力が続くと思います。

【用途】

自分の金額を登録する。
友人の義援金を確認する。
正しい義援金サイトを探す。(※広告無しに)

【話題性】

サービスは作るだけで無く、利用される事も大事です。
⇒企業や有名人含めてランキングを提供する。

【不正対策効果】

基金自体も、誰が利用しているか分かれると信用度が上がっていくと思います。⇒義援金の拡大。

【ユーザー効果】

義援金ソーシャル参加するには、少なくともどこかの義援金に参加する必要があります。
それを一つステータスにして、輪を広げる事が出来ればと思っています。フォロワーで自分だけ義援金してない日が来るかも??

twitterアカウントでソーシャルということで、参加者の嘘情報は減ればと思っています。
※本当に善意の人もあるので、金額は公開、フレンド、非公開の機能は必要かもしれません。

【大きな希望】

twitterを中心に義援金ソーシャルの輪が大きくなればその分義援金が大きくなると思います。

以上です。

【制作者募集について】

本件の立案者ですが、制作においては私は細かい打ち合わせとディレクションが出来るだけです。初期データは入力します。

ボランティアでphp+DBのプログラム打てる方、システム運用が出来る方が居ましたらご連絡頂けると。
その他にも、コミュニティである【基金】データを収集出来る方、友人に教えていただける方も。



Rkyaizu@googlewave.com: 義援金ソーシャルは素晴らしいし応援したいです。

Mar 20 ▼

が、bmr.jp など、Twitter上の義援金関係の呼び掛けは目的を履き違えたものが存在するのが実態です。

(bmr.jp の履き違えは、個人的に <http://twitter.com/#!/rk manga/status/48906648110104576> で書き込みました。) 明確なビジョン・目的と誰から見ても信頼できるものにまとめられるよう頑張ってください。勢いだけではなく。応援しています。



萩原崇之: [製作中]首都圏鉄道混雑情報検知サービス(仮)

Mar 20 ▼

H a c k4jpが始まる前から作っていたものです。Twitterのつぶやきを分析して、首都圏の鉄道網の混雑や混乱を最悪でも数分程度の遅れで検知します。従来の情報掲示板と違い、わざわざ書き込んでもらわなくても混乱に遭遇した人がTwitterで呟いてくれるだけで拾えるので、迅速で重要ポイントの取りこぼしが少ないのが特徴です。

今回に限らず、様々な機会ので使えるサービスを目指しています。



中村比加児: [アイディア]従業員受け入れ可能な企業と廃業または従業員を解雇せざるを得ない企業のマッチングサイト

Mar 20 ▼

企業の代表同士で職を失った方の受け入れについて話し合える場があればと考えます。

個人が少しずつ動くよりも企業間で話をして、従業員に一斉で案内できれば復旧も早まると思います。

また被災によって職を失った方を受け入れる企業側にも国から助成が出るようになれば促進に役立つのでそちらもアプローチしてみたいと考えてます。

※現状では、失業手当の対象を震災の影響による休業者を含めるというほか制度が出来ていません。(厚労省サイト参照)

工場の従業員などは期間工の需要がある今はマッチング出来るのでは、という思いもあります。

地元の企業同士でもこういった問題を話し合える場があれば有意義かもしれません。



Tohru HANAI: [アイデア]遺失物の発見報告システムって、すでにどこかで作成されていませんか？

Mar 20 ▼

今回の津波では家や車なども数キロ、数十キロ離れたところで発見されると聞きます。

すでに他の災害その他のケースでも活躍しましたが、クラウドの力で発見物を片っ端からサイトに登録し、持ち主など関係者に情報が届く仕組みは必要だと思います。

特に今回は被害範囲が広いので、警察ではカバーしきれないので望まれるサービスかと思います。



Tohru HANAI: 登録として位置情報が大事です。

Mar 20 ▼

が、報告を受けて現地へ行った人がGPS機器なしで目的地へたどり着ける仕組みも必要かと思います。

地域ごと壊滅していたり、年配の方はGPS機能を持っていなかったりで、せっかくの位置報告が無駄になりかねません。

なにかしらの方法で臨時の位置情報を地面や移動しないオブジェクトに埋め込む・貼り付けるなどし、自力もしくは地域の案内人の助けで確実にたどり着けるような仕組みがあればよいのでしょうか。



Rkyaizu@googlewave.com: 警察の遺失物取り扱いを経験したことがありますか？写真に取り、情報

Mar 20 ▼

報・場所・状況・届け人を遺失物データベースに登録しています。これをオンラインで行えばサービスになります。探し人からの情報も同時にデータベースにできるとなといいですね。

モノと周囲の写真を撮影し、アップロード→モノの情報、拾った日時と場所、コメントの書き込み(閲覧者もコメントの書き込み可能に)→探し人リストの中からマッチング→マッチングしない場合、持ち主もしくは持ち主を知っている人が「見つかった！」情報を登録→持ち主の現住所・連絡先、本人もしくは代理が取りに行けるかどうかを確認→取りに行けない場合は、受け渡しボランティア希望登録をするか、配送→届く。

こういう流れになるかと思います。時間の締めが近付いているので荒っぽいところあるかもです。

ご検討ください。また、お知恵をお貸しください。



はじめまして、先ほど参加表明をさせていただいたたかさんです。

Hack4Jが始まる前から開発を行っていました。東京電力の停止時間をWebAPIで検索し、json、xml、yaml、phpのserialize、jsonpで取得できるように開発しました。副産物として、WebAPIをデータから自動生成できるようになりましたので、様々な所でHackasonがフォークサイトを作りつつ、データを中心に集めるような運用を行いたい場合には、どんなデータでも構いませんので、データとセットでこのデータをWebAPIにしたいとご連絡いただければと思います。

東京電力停止時間検索WebAPI
<http://saigai-info.jp/teiden/api.html>

要望のリクエストは <http://twitter.com/#!/nyatakasan> までつぶやいていただけるか、http://twitter.com/#!/search/%23jishin_power までご連絡いただければと思います。



Mitsuaki Ishimoto:

Mar 20 ▼



Mitsuaki Ishimoto:

Mar 20 ▼

緊急地震速報のChrome拡張機能を開発してます (<http://goo.gl/ON751>)

【仕様】

■サーバ (2台)
node.js (websocket-server)

■クライアント
WebSocket(+ audio API)

【要望】

- ・ node.jsでのサービス運用経験がある方
- ・ ネットワークに詳しい方
- ・ 支援していただける企業様

完全に個人運営でしていますので
今後を考えるとチームもしくは法人で運営するのが好ましいのかと考えてます。
そこで開発に協力していただける方や支援していただける企業などありましたら是非ともご連絡ください。

twitter : @mitsuaki_i

よろしくお願い致します。
※使い勝手がよくわかっておらずすみません。



中村比加児: 市区町村ごとのGoogleカレンダーを用意し情報提供に使えないでしょうか

Mar 20 ▼

各市区町村のHPは繋がらなくなったり、見づらかったりと十分に機能出来ていません。
特に住民同士での連絡や呼びかけなどは掲示板がない、使いづらいことが理由で難しい状況です。
※自治体サイトのWebインフラの脆さは顕著に現れていました

そこでGoogleカレンダーで各日付ごとに情報を整理して発信したり、
住民同士が呼びかけを行える環境づくりが出来ないかと考えました。

市区町村公式の発信情報と一般からの声は区別して見れるようにすれば、
オフィシャル性も確保出来、現行のものよりよほど機能するように思います。

自分で一からHPを作成できない個人商店でも気軽に、開店状況など発信できれば不足しがちな物資の提供も可能ですし、支援物資の到達状況まで管理できれば個人ボランティアの方も何日にどこへ物資を届けるという事前アナウンスも可能でこれなら避難所以外の方にも広く情報周知が出来ると思います。

Googleカレンダーなら使い勝手、サーバの強さを見て非常に有用性があると感じています。



Rkyaizu@googlewave.com: こういった提案を自治体に行うのはとても有意義だと思います。 Mar 20 ▼

ただし「一般と同じサービス」に「足並みを揃えて」、「区切りを設けるとはいえ、一般と同じ扱いで（フリー状態で）書き込まれる」という条件が揃っていても、おそらく自治体側は前向きに捉えないかと危惧しております。最終的な形はGoogleカレンダーでなくなるかもしれません。妥協案を考えた方がいいです。また、他のGoogleMap連動の所でもありましたが、これはGoogleへの提案になりますけど自治体・及び自治体公認のボランティアを上位アカウントとして設定し、信頼・安心できる情報を収集できるということが必要不可欠になるかと思っています。

お店が情報を登録するのは、そうした所を仲介した方が現状はよいかと。または一般的な情報は切り離すかですね。本当は携帯で見やすいものであり、クラウドでまとめられればと思いますが...

改めて言いますが提案はとても有意義だと思いますので、プッシュします。



中村比加児: 個人の動きだと行政への呼びかけはえらく骨を折りそうです。 Mar 20 ▼

Googleの中の方からそういうサービスが持ちかけられないか、と思います。検討できないでしょうか？

確かにモバイル端末での利用は前提に入れないとなりませんね。

個人とオフィシャル情報の切り分け方は、各アカウントを設け、ユーザが各アカウントからの情報を取得するかどうか選択できればいいかもしれません。

オンラインには、オフラインを上手く取り込んで結び付ける役割を期待します。



中村比加児: [アイディア]市区町村公式の臨時webサイト構築（サーバダウン時の代替サイト） Mar 21 ▼

各市区町村のwebサーバが落ちて機能しない問題を解決するため、下記をまとめたwebサイトの構築を考えています。

- ・サーバが落ちている旨の表示
- ・各市区町村サイトのGoogleキャッシュ
- ・役場向け臨時広報用掲示板（オフィシャル性の確保については要検討）
- ・避難所一覧
- ・避難者名簿のweb入力フォーム（person finder連動）
- ↳ <https://picasaweb.google.com/tohoku.anpi> への投稿フォームも？
- ・避難所ごとの避難者一覧
- ・避難所からの発信情報（物資援助依頼など）

これらは市区町村ごとにページを設けます。

PCだけでなく携帯端末で確認できることも前提とします。

person finderと連動するにあたり、名前や住所の入力だけでなく住所から近隣避難所のリストを自動取得して避難所も登録させるなど避難所一覧もデータベース化して情報の取得や提供を一元管理できると有用性が増す様に思います。

一般の情報（tweetなど）も取得して防災広報スピーカーの案内を得るのもいいかもしれませんがごちゃごちゃするような微妙なところですよ。

現在は復旧している地区が多く需要は減っていますが、今後のことを考えて今整備しておく必要があると思います。

協力者の方がいらっしゃいましたら、
twitterアカウント @akagamiman か
hikaru.nakamura.com@gmail.com まで連絡頂ければと思います。



佐藤久明: はじめまして
自分も何かしたくて参加したく思っております。

Mar 20 ▼

[アイデア]

既にボランティアとして活動している現地の被災者がいらっしゃると聞いています。
また、これから全国から有志のボランティアが現地入りしてくると思いますが、
経験がそんなないボランティアが相談やノウハウを検索できたり、
近くのボランティアなどに助けを求めることができるポータル的なサイトがあるとこれから役立つのではないのでしょうか？



Rkyaizu@googlewave.com: 既存のものだとYahooボランティア <http://volunteer.yahoo.co.jp/> が条件 合うものと思います。 Mar 20 ▼

これをご覧になった上で、足りない点、もっとこうあったらいいのに、という点が浮かんできてまとめることができれば、実用的なサービスになると思います。応援していますので、ぜひ思いの丈を案としてぶつけてみてください。相談は気軽に受け付けますよ！（連絡先は上のスプレッドシートに書いてます）



Masafumi terazono: やっといろいろ片付いた、遅れて参加です。夜子まます。

Mar 20 ▼

僕は現在、「炊き出したん」という被災者向けのサービスをしているのですが、これをやっているといろいろ問題点がでていたのでそれを解消する方法をここで考えてよくできたらなあとおもっているのですが。いまさらかんでしょうか。。



Teru.Shindo: むしろ問題点を事前に把握できる利点があるので、それをガシガシ書きこんでいただくのがよいかと。 Mar 20 ▼



Masafumi terazono: それじゃ、書いてみます。

Mar 20 ▼

炊き出したんは、GoogleMapのマイマップに登録された「炊き出し情報」の更新情報をTwitterのタイムラインにつぶやいて、またメンションで住所を教えもらうとその住所の周辺の炊き出し情報をメンションで返事するサービスです。非常に簡単なサービスだし、使い方もシンプルなので初心者の人でもとつきやすいとおもっています。だけど、実際にサービスをはじめていくつかの問題点がでてきました。

- ・TwitterというシステムはAPI制限があるので、その部分をクリアするために工夫をしないといけないこと。現在複数のアカウントをつかって制限を緩和していますが、大規模なアクセスには耐えられないでしょう。
 - ・有志による情報はたしかによいのですが、なかには正しくない情報や、また古い情報もあるのでどこかでそれをチェックしないと逆に情報の暴力になりうるということ
 - ・情報はとても価値が高いです。ときどき、ボット宛に炊き出し情報をもらったり、どこどこが物資がないので炊き出しをしてくれないかという要望があったりします。これをなんとか拾う仕組みをいれるとなおよいとおもっています。
- こんなところ です。

炊き出したんの仕様書 <http://takidasibot.appspot.com/>

炊き出したんのTwitter <http://twitter.com/takidashitan>



Rkyaizu@googlewave.com: 技術面の課題はありますが、

Mar 20 ▼

・公式サイトを、意義と合わせてしっかりした、取っ付き易いデザインのものを作る。（今協力者呼びかければ手を上げる人は多いはず）

- ・公式サイトで情報提供先や問い合わせ先を明示する
- ・協力ボランティアを呼び掛け、ある程度まとまればその団体にマップへの登録をお願いする（自分の参加してる在宅ボランティアも、早い者勝ち状態になってます。誰でも書き込めるサービスになると、こういう弊害が起こります）→信頼した情報の徹底

・同時に、Twitter関連のシステムに強いプログラマを呼びかける

この辺をクリアすればしっかりしたサービスになると思います。
まずは公式サイトです。



Masafumi terazono: 公式サイトっていうのは、いまマイマップで誰でもアクセスできるようにする
のではなく、きちんとした手続きで確かな情報を登録できるようなサイトをつくるべき。ということでしょう
か？ Mar 20 ▼



Rkyaizu@googlewave.com: というか、このサービスの公式サイトです。～.com みたいなものをイ
メージして頂ければ。 Mar 20 ▼

仕様書は仕様書です。これだと意義は薄く、情報窓口としても不足しています。
このサービスは多くの方の協力を頂ければ大きな発展が見込めます。ですから窓口と看板はしっかりしたものにしてく
ださいませ。



Mito: 炊き出したんが正しく使えるように炊き出したん自身が時々つぶやくってのはどうですか？ Mar 20 ▼



Rkyaizu@googlewave.com: ナイスアイデア（笑 Mar 20 ▼



Masafumi terazono: それいいですね。はじめてフォローしてきた人にだけメンションでなげるよう
にすればスパムにもなりにくそうです Mar 20 ▼



Mito: 【炊き出したんからのお願い】って書き出しとかで、
炊き出しマップへの誘導なんかできればと Mar 20 ▼



Masafumi terazono: 明日のハッカソンで公式サイトの作成という形で募集してもいいのですか？ Mar 20 ▼



Rkyaizu@googlewave.com: いやハッカソンはそういう場ではない気が...（違ってたらすいません
今注目を浴びているサービスでしたら、炊き出したん製作者が呼びかければ協力者が集まる気はしています。 Mar 20 ▼



Masafumi terazono: 僕もそうおもいます、、だけど、僕はいまこのサービスをもっとよくしたいん
ですよね。公式サイトはいつでもいいけど Mar 20 ▼



Rkyaizu@googlewave.com: Masafumiさんはサービス向上に集中して、もう一人信頼できるディレ
クターというか、そういう方を味方につけられませんか？ Mar 20 ▼



Mito: このページの一番上の書き込みに現在進行中、作成予定のプロジェクト一覧があるみたいなの
でそこに書き込んではどうですか？ Mar 20 ▼



Masafumi terazono: ありがとうございます、じゃお言葉にあまえて、誰もいなければ一人でもくも
くやりますw Mar 20 ▼



Rkyaizu@googlewave.com: よければこちらのスプレッドシートにもご記入ください。 Mar 20 ▼
<https://spreadsheets.google.com/viewform?formkey=dFICU0h0aHFaeMjpelhDeHdvMEd2MFE6MQ&ifq> 可能であ
ればこちらからも協力者呼び掛けますので。



Masafumi terazono: 登録だん、これで僕は明日京都に行かないといけなくなった。。（ごめん>家
族） Mar 21 ▼



Rkyaizu@googlewave.com: がんばってください、応援してます！！協力者僕の方からも呼び掛けま
したので、元気出してください（笑 Mar 21 ▼



Masafumi terazono: はいw、明日は楽しみにしています Mar 21 ▼



Yusuke Fujiwara: [アイデア]Action for Japan. Mar 20 ▼

はじめまして、この企画を知った時間が遅く、こんな時間ですが書き込みさせていただきます。

▼概要

今回の地震を受けて、個々が感じたことや今後の目標をメールやTwitterで投稿すると、大切なことを忘れないように定期的にメールやTwitterでリマインドしてくれるサービス。

▼当方のスキル

デザイン及びフロント設計はできますが、開発ができません。

▼ベースになると思われる技術

メルマガ配信サービス

→より簡単かつ、Twitterとメールに対応したい。まずはどちらか一方からでもOK。

▼背景

今回の地震は多くの人の心に爪痕を残しました。

そして今までの生活を振り返り人生観が変わった人も多いと思います。

ただし、今回の地震で学んだ大切なことや決意を忘れてしまったり、徐々に薄れていってしまう人は多いのではないかと思います。

また、東北を長期的に応援していく必要がありますが、募金はおそらく一過性のものになってしまいます。

そこで、次に必要なのは個々が成長し、日本を支え、東北を支えていくことではないかと考えました。

みなさまいかがでしょうか？

シンプルな仕組みなので、協力していただけるエンジニアの方がいらっしゃいましたら、

皆の記憶が鮮明な内に作りたいと思っています。



Rkyazu@googlewave.com: 「地震の日を忘れない」リマインドとその関連でしたら上に書いてあります。 Mar 20 ▼
ぜひ一度ご覧になってみてください。既にご覧になった上での提案であつたらすみません。



萩原崇之: 今 **Forget Me Not** という「地震の日を忘れない」リマインドサービス(対象は地震だけではなく Mar 21 ▼
せんが)を作成しているものです。コンセプト的にはほぼ同じで、ただ、メールがなくて代わりにFacebookの投稿機能があります。これはオープンな場所に投稿することで機運を再び盛り上げるというのが一つと、メールだと個人情報保護法の関係があつてめんどくさいからです (^^;)



Yusuke Fujiwara: 萩原さん、Rkyazuさん、コメントありがとうございます。 Mar 21 ▼
先ほどこの企画を知り、ざっと探した時に「アイデア」という見出しを参考にしたので投稿に気づきませんでした。ぜひjoinさせてください！ビジョンは同じです



萩原崇之: ありがとうございます。とりあえずなるはやでプロトタイプ作りますので、ご意見等お聞か Mar 21 ▼
せください。よろしくお願いします



Yusuke Fujiwara: はい、よろしくお願いします！ Mar 21 ▼



Akitoshi.ono@googlewave.com: [アイデア] 各拠点（避難所や役所単位）で稼働する、作業依頼システ Mar 21 ▼
ム。

具体的には、半日～1日程度の作業をして欲しい人と、その作業が出来る人のマッチングを行う。受付はその拠点の担当者が電話で受け付け、入力を代行する（いちいち登録に来られない高齢者対策）。これによって、避難所や役所は、それら個別の問題点や困っていることの把握も可能。

各拠点単位で稼働する理由（ネットワーク化しない理由）は、複数拠点をまたいで作業に従事出来る人がどの程度いるのか不明な点と、ネットワークのない環境でも稼働できるから。

予想される稼働期間は1年。理由は、ボランティアの帰還や、作業内容の固定化（＝業者や行政による作業）により、本システムの実稼働は落ちていくと予想されるが、短期的には役立つと考える。



Rkyazu@googlewave.com: 電話からの入力代行なら、連動すれば在宅ボランティアでも可能にでき Mar 21 ▼
そうですね。

現在も #99japan など在宅ボランティアが自治体の信頼を受けながら分担し活動していますので、この発展形として煮詰めてサービス化すれば実用的かつお互いの負担の少ないものが実現できると思います。信用面のクリアが鍵ですね。

（現在活動中のボランティアと組めれば近道）



Akitoshi.ono@googlewave.com: なるほど。

Mar 21 ▼

ボランティア団体からの聞き取りをして、出ているアイディアとのギャップを埋める事ができれば、より良い物ができますね。別スレ (2:13am Urimaro さん) の発言で気付かされましたが、現地の要求をちゃんと理解してスタートしないと明後日の方向の物を作っちゃう恐れがありますね。



Urimaro@googlewave.com: 難しいことだとは思いますが、被災者の方から何らかの意見・要望を伺えていいのではないでしょうか？



Hisaki Ohara: 昨日の可視化の議論のなかでGoogleのPublic Data Explorerによるデータの可視化に感銘を受けました。とりあえず文科省が公開している放射能のモニタリングデータを試しに時系列データとして作成してみました。このように様々なデータを可視化することが可能だと思います。スクリプトに興味ある方はいらっしゃいますか？
<http://bit.ly/e40P0h>



Rkyazu@googlewave.com: あれ？リンクがうまく表示されない...
可視化案とスクリプトは大変興味がありますし、応援したい案件です！！

Mar 21 ▼



Hisaki Ohara: どうもありがとうございます。次のURLはどうでしょうか？ <http://bit.ly/e40P0h>

Mar 21 ▼



Rkyazu@googlewave.com: バッチリです！本当これ分かりやすくていいですね。
明日のハッカソンで急速に詰めてもらいたいです。自動化・連携できるといいですね。

Mar 21 ▼



Hisaki Ohara: PDFからCSVへの自動変換は間違いを防ぐためにも必要ですね。あと、1日より細かい単位(hour)だと入力出来るのですが時系列のアニメーションとして表示できなくなってしまいます。今回は23時から0時のデータを代表点としてあります。スクリプトは <http://bit.ly/eHay2z> に置きました。簡単なのですぐに変更できると思います。

Mar 21 ▼



Hisaki Ohara: スクリプトは<http://www.google.com/publicdata/admin> の"Upload Dataset"にZIPのままアップロードするだけです。これ本当によくできている。

Mar 21 ▼



Takeshi Kondo:

Mar 21 ▼



弘智 松浦 o3: [アイディア] クジラ打ち上げ監視：科学的根拠は解明されてないようですが、ニュージーランド地震、東日本大地震の数日前にゴンドウクジラ(小型のクジラ、イルカに似ている)の仲間が数十〜100頭ほど、震源から数百キロ以内の浜辺(今回の日本の場合は茨城県の鹿嶋灘)に打ち上げられる、という現象がありました。念のためこういう現象をまとめるサイトがあるといいと思います。



弘智 松浦 o3: ...とか書いてたらこんな記事が2日前に <http://is.gd/q9hFDv> オーストラリア・タスマニア島0

Mar 21 ▼



弘智 松浦 o3: [アイディア] 地震から今日3/21で10日、でももう「次」の地震へのカウントダウンが始まっているかもしれません。特に今回の東日本大地震と間をおかずに「次」が来られると、同じ地域で起これば2次災害に、東日本以外であれば救援体制が手薄になっている、など自治体の独立した予想が及ばない、想定外の状況になるかもしれません。3/11以降何日後にどこの地域で地震が起こると、こういう予期せぬことが起こるかも、という複合的な・地域横断的な備えが必要かも、と思いました。

Mar 21 ▼



Makoto_inoue@infoseek.jp inoue:

Mar 21 ▼



Atsuto Suyama: ここで聞いてよいか分からないのですが、最新の災害関連のハッシュタグのリスト(説明なども)が返ってくるAPIってありますか？位置情報をつぶやくiPhoneアプリに組み込んで簡単にユーザが入れれたらよ

Mar 21 ▼

いなと思います。なければ作りたいのですが。

Tags: [important](#) [hack4jp](#) 

Next wave 